

ImageMixerTM 3 SE

Ver.3

取扱説明書

目次

はじめに 8

本取扱説明書について..... 9

本取扱説明書で使用しているマークについて 9

商標について 10

ご使用の前に 11

動作環境..... 11

対応 OS / 対応機種 11

1. すべての機能を使用する場合に必要な環境（AVCHD 規格の映像の再生・編集などを行う場合） 12

2. AVCHD ディスクの作成、パソコンへの保存、カメラに書き戻す場合に必要な環境 13

使用上のご注意 14

使用できるデータについて 14

制限事項..... 15

扱えるファイルについて..... 17

読み込み 17

書き出し 18

準備する 19

インストールとアンインストール 20

インストール方法 20

アンインストール方法..... 25

Windows XP の場合 25

Windows Vista の場合 27

起動と終了 29

起動方法..... 29

終了方法..... 29

ビデオカメラの接続と取り外し	30
ビデオカメラの接続	30
ビデオカメラの取り外し	30
はじめよう	31
<hr/>	
こんなことができます	32
映像を見る	32
映像を取り込んで管理する	32
映像を編集する	33
映像を保存する	33
ImageMixer 3 をはじめよう	34
ImageMixer 3 ランチャー	34
ImageMixer 3 SE Player	36
映像を取り込む	37
<hr/>	
映像をパソコンに取り込む	38
ビデオカメラの映像をパソコンに取り込む	38
パソコンに保存するときの画面	41
映像を見る	42
<hr/>	
ImageMixer 3 SE Player で再生する	43
再生方法	43
プレーヤー画面	45

映像を取り込んで管理する（ライブラリ）..... 47

ライブラリについて 48

ライブラリでできること 48

ライブラリとアルバム 49

画面について 50

基本画面 50

ビデオカメラを選択したときの画面 55

ファイル情報パネル 56

環境設定画面 58

映像をライブラリに追加する 59

ビデオカメラの映像を追加する 59

パソコン内のファイルを追加する 59

ライブラリの映像を再生する 61

再生方法 61

プレビュー画面 62

ライブラリの映像を整理する 64

アルバムとスマートアルバムの違い 64

 アルバム 64

 スマートアルバム 64

好きな映像を集めてアルバムを作成する 65

条件を指定して映像を自動でまとめる（スマートアルバム作成） 67

映像を削除する	69
ライブラリ内のファイルを削除する	69
アルバム／リスト内のファイルを削除する	71
アルバム／スマートアルバム／各リストを削除する	73

いろいろな使い方 74

映像ファイルを並べ替える	74
項目名で昇順／降順に並べ替える	74
ドラッグ&ドロップで並べ替える	74
タイトル名を変更する	75
映像の一場面を静止画として保存する	77
映像ファイルを別のフォーマットで保存する	79

映像を編集する 82

画面について 83

基本画面	83
画面各部	84

編集する 90

動画編集の準備をする	90
クリップを追加／削除する	93
クリップを追加する	93
クリップを削除する	94
再生の順番を並べ替える	95
不要な場면을カットする（トリミング）	96
1 つのファイルから 1 シーンだけを抜き出す	96
1 つのファイルから複数のシーンを抜き出す	98

場面の切り替えに効果をつける（トランジション）	102
映像に文字を加える（タイトラー）	106
映像に音楽を加える（BGM）	112
映像に音声を加える（アフレコ）	114
映像の音量を調節する（フェードイン／フェードアウト）	117
編集の途中で保存する	121
編集した映像を 1 つのファイルに書き出す	122
編集した映像を保存する	122

映像を保存する 124

映像をディスクに保存する（ディスクの作成）	125
使用できるディスクと再生機器	125
ビデオカメラから直接ディスクを作成する	126
ライブラリから映像を選んでディスクを作成する	131
映像ファイルのチャプターを設定する	139
ビデオカメラに書き戻す	144
書き戻す前に	144
ビデオカメラへの書き戻し	145

困ったときは 149

よくある質問	150
準備する	150
パソコンに保存する	152
映像を見る	153

映像を取り込んで管理する（ライブラリ）.....	154
映像を編集する	155
映像を保存する	156
その他.....	158
ImageMixer 3 についてのお問い合わせ先.....	159
株式会社ピクセラユーザーサポートセンター	159
ホームページ	159

はじめに

この章では、「ImageMixer 3 SE」を使うために必要な情報や事前知識について説明しています。お使いの前にこちらの内容をご確認ください。あわせて、ビデオカメラの使用説明書も参考にしてください。



本取扱説明書について

本取扱説明書（以下、本書）は「ImageMixer 3 SE Ver.3」（以下「ImageMixer 3」）および「ImageMixer 3 SE Player Ver.3」（以下「ImageMixer 3 SE Player」）の取り扱い方を説明した取扱説明マニュアルです。

- 本書には Windows の基本的な操作については記載しておりません。メニューの選択やウィンドウ操作などは基本的に Windows の一般的な操作手順に準拠しております。
- 本書内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点などがございましたら弊社ユーザーサポートセンターへご連絡ください。
- 本書で使用しているアプリケーション画面の画像は、製品開発中の画面であり実際とは異なる場合があります。

本取扱説明書で使用しているマークについて

本取扱説明書では以下のマークを使用しております。



このマークは、参照していただきたい関連項目や内容について記述しています。



このマークは、気を付けていただきたい内容について記述しています。



このマークは、参考にしていただきたい内容について記述しています。

商標について

- ImageMixer™ は、株式会社ピクセラの商標です。
- Windows(R) は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft(R) Windows(R) Operating System です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- iPod、iTunes は、Apple Inc. の商標です
- AVCHD および AVCHD ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray™ は Blu-ray Disc Association の商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では (R) および TM などの商標マークは省略させていただいております。

使用の前に

本製品をご利用いただくためには以下の環境が必要です。

- ※ 以下の動作環境を満たしている場合でも、すべての動作を保証するものではありません。
- ※ ご利用の環境、コンテンツ数や容量などにより、推奨以上の環境が必要になる場合があります。

動作環境

対応 OS / 対応機種

◆ Microsoft Windows XP Service Pack 2

◆ Microsoft Windows XP Service Pack 3

- Home Edition
- Professional

◆ Microsoft Windows Vista

◆ Microsoft Windows Vista Service Pack 1

- Home Basic
- Home Premium
- Ultimate
- Business
- Enterprise

上記 OS の各日本語版

- ※ 上記 OS は 32bit のみ対応しております。
- ※ 本ソフトウェアのご利用には管理者権限 (Administrator) でログインしている必要があります。
- ※ Microsoft Windows XP では Windows XP Service Pack 2 または 3 を適用する必要があります。

◆ 対応機種

上記 OS がプリインストールされた IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機)

- ※ 自作パソコンを除く

1. すべての機能を使用する場合に必要な環境（AVCHD 規格の映像の再生・編集などを行う場合）

◆ CPU

- Microsoft Windows XP / Microsoft Windows Vista

Intel Pentium D / 3.0GHz 以上、Intel Core 2 Duo / 2.13GHz 以上

MXP モード（録画モード）：Intel Core 2 Duo / 2.33GHz 以上

※ CPU をオーバークロックなどでご使用の場合は動作保証外になります。

◆ メモリ

Microsoft Windows XP：1 GB 以上

Microsoft Windows Vista：2GB 以上

◆ ハードディスク

- 300MB 以上の空き容量（アプリケーションのインストールに必要）
- ディスク作成時は、作成するディスクの 2 倍以上の空き容量が必要

◆ ディスプレイ

- 1280x1024 ピクセル以上、32bit 以上、Intel G965（オンボードの VGA）以上

◆ サウンド

- DirectSound 対応のサウンドカード

◆ ドライブ

- DVD の書き込みが可能な標準搭載のディスクドライブ
- Blu-ray の書き込みが可能なディスクドライブ

◆ その他

- 標準搭載の USB 2.0 対応ポート
- DirectX 9.0c が正常に動作する環境
- インターネットにアクセスできること（アプリケーションのインストール時に必要）

2. AVCHD ディスクの作成、パソコンへの保存、カメラに書き戻す場合に必要な環境

※ MXP モード（録画モード）で記録した映像を AVCHD 規格のディスクに保存する場合は、P12 の環境で行ってください。

◆ CPU

- Microsoft Windows XP

Intel Pentium 4 / 1.49GHz 以上

Intel Celeron / 1.7GHz 以上

- Microsoft Windows Vista

Intel Pentium 4 / 2.4GHz 以上

Intel Celeron D / 3.0GHz 以上

※ CPU をオーバークロックなどでご使用の場合は動作保証外になります。

◆ メモリ

Microsoft Windows XP : 512MB 以上

Microsoft Windows Vista : 512MB 以上

◆ ハードディスク

- 300MB 以上の空き容量 (アプリケーションのインストールに必要)
- ディスク作成時は、作成するディスクの 2 倍以上の空き容量が必要

◆ ディスプレイ

- 1024x768 ピクセル以上、16bit (High Color) 以上

◆ サウンド

- DirectSound 対応のサウンドカード

◆ ドライブ

- DVD の書き込みが可能な標準搭載のディスクドライブ

◆ その他

- 標準搭載の USB 2.0 対応ポート
- DirectX 9.0c が正常に動作する環境
- インターネットにアクセスできること (アプリケーションのインストール時に必要)

使用上のご注意

- 撮影された映像や編集した映像などに第三者の著作物が含まれている場合、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- ノートパソコンで使用する場合は、パソコンの電源に AC アダプターを使用してください。
- ビデオカメラの電源にはコンパクトパワーアダプターを使用してください。
- ビデオカメラは USB ケーブルで直接パソコンに接続してください。USB ハブを経由した接続では正常に動作しない場合があります。
- ビデオカメラの接続中はパソコンをスタンバイ状態にしないでください。
- データの読み込みやコピーが禁止・プロテクトされているディスクは読み込みできません。
- 記録済みの DVD-R、DVD-R DL、BD-R、BD-R DL へは書き込みできません。書き換え可能ディスクの場合、「ImageMixer 3」で記録済みデータを消去してから書き込みする必要があります。
- ディスクへの書き込み中には他のアプリケーションでの動作や作業は行わないでください。
- SD メモリーカードがロックされている場合、SD カードへの書き戻しはできません。

使用できるデータについて

"ImageMixer 3" では以下の映像やディスクを扱えます。

1. 「ImageMixer 3」が付属しているキヤノン製ビデオカメラで撮影した映像
2. 上記 1 の映像を「ImageMixer 3」で編集・オーサリングしたディスク

※ 静止画ファイルを扱うことはできません。

※ 動画編集での音声取り込みを除いて、音声ファイルは扱うことはできません。

制限事項

- "ImageMixer 3" は Unicode には対応していません。
- サポートしているファイルフォーマットでも、映像や音声の記録方法によりコンテンツとしてご利用いただけない場合があります。
- 2 台以上のビデオカメラまたはカメラをパソコンに接続している場合は、「ImageMixer 3」を使用できません。
- 「ImageMixer 3 SE Player」と「ImageMixer 3」は同時に使用できません。
- 「ImageMixer 3 SE Player」でディスクを再生する場合、早送りや早戻しがスムーズにされません。
- ライブラリの保存先やファイル書き出し時の保存先に C:\ などのシステムフォルダや Windows フォルダ、光学ドライブを指定することはできません。
※ ライブラリについては、P48 をご参照ください。
- Windows エクスプローラ画面のリムーバブルディスクから「ImageMixer 3」のライブラリへファイルをドラッグ&ドロップすることでの登録はできません。
※ ライブラリについては、P48 をご参照ください。
- 「ImageMixer 3」でファイルを書き出すと、画質が元の動画より低下します。
- 動画編集のトリミングは、1 つのクリップに対して最大 20 個まで設定できます。
- お使いのパソコンの性能によっては、動画編集のプレビュー画面の映像がスムーズに再生されない場合があります。
- お使いのパソコンにより、動画編集のプレビュー画面でタイトラーの文字が乱れる場合がありますが、保存結果には影響ありません。
- 「ImageMixer 3」で作成したディスクは、すべての再生機器での再生を保証するものではありません。
- タイトルの再生時にチャプターのつなぎ目などがスムーズに再生できない場合があります。動画編集で作業エリアにクリップを並べて、1 つの映像ファイルとして書き出した映像をディスクに保存することで、スムーズに再生できるようになります。なお、動画編集で書き出したファイルは、編集前のファイルとは別のファイルになります。編集前のファイルは削除せずに残しておくことをおすすめします。
- Windows のファイルシステムが FAT32 の場合、ディスクへの書き出しはできません。

- 「ImageMixer 3」でのディスクライティングにおいて、他社製のディスクライティングソフトウェアがインストールされている場合に、正常に動作しない場合があります。この場合は同時使用されないことを推奨します。
- ご使用のドライブによっては、書き換え可能ディスクの消去時のプログレスバーが正しく表示されない場合があります。
- ビデオカメラの映像フォーマットやビデオ形式と異なる映像は書き戻せません。ビデオカメラの故障の原因になる場合があります。
- 「ImageMixer 3」からビデオカメラに書き戻した映像を再び「ImageMixer 3」に取り込むと、最初に取り込んだファイルとファイルサイズが異なる場合がありますが、画質等が変更されることはありません。
- 制限事項に関する最新情報は下記ホームページをご覧ください。
<http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/>

扱えるファイルについて

読み込み

◆ 記録規格

- AVCHD 規格
- BD-R 2.0 規格
- BD-RE 3.0 規格

◆ ファイルフォーマット（拡張子）

- H.264/AVCHD (.mts、.m2ts)
- WAVE (.wav)
- MPEG-1 Audio Layer-3 (.mp3)

◆ ディスクの種類

- DVD-R
- DVD-R DL
- DVD-RW
- BD-R
- BD-R DL
- BD-RE
- BD-RE DL

※ 8cm ディスクには対応していません。

◆ 記録規格

- DVD-Video 規格
- AVCHD 規格
- BD-R 2.0 規格
- BD-RE 3.0 規格

◆ ファイルフォーマット（拡張子）

- 動画編集：H.264(.m2ts)
- 静止画：JPEG (.jpg)
- ファイルの書き出し（パソコン用／動画共有サイト用）：MPEG-2 (.mpg)
- ファイルの書き出し（iTunes 用）：MOV (.mov)

◆ ディスクの種類

- DVD-R
- DVD-R DL
- DVD-RW
- BD-R
- BD-R DL
- BD-RE
- BD-RE DL

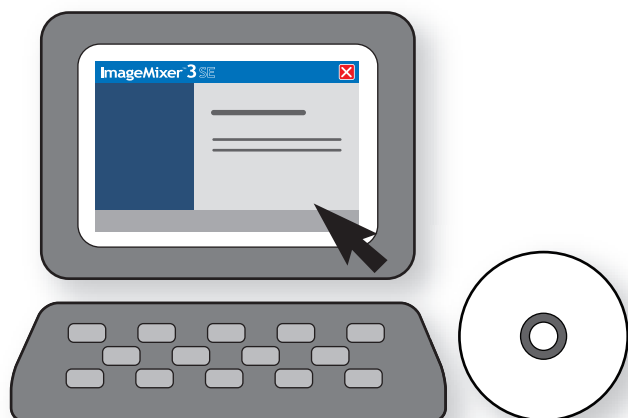
※ 8cm ディスクには対応していません。

※ 記録済みの書き換え可能ディスクには書き込みできません。

※ 書き換え可能ディスクの場合、「ImageMixer 3」で記録済みデータを消去してから書き込みする必要があります。

準備する

この章では、「ImageMixer 3」をはじめるまでの準備について説明します。



インストールとアンインストール

インストール方法

1. インターネット環境の確認

インストールでは、インターネット経由によるソフトウェアの認証が行われます。インターネットに接続できる環境をお持ちの場合は、パソコンがインターネットに接続されている状態でインストールを開始してください。

! インターネット環境がない場合

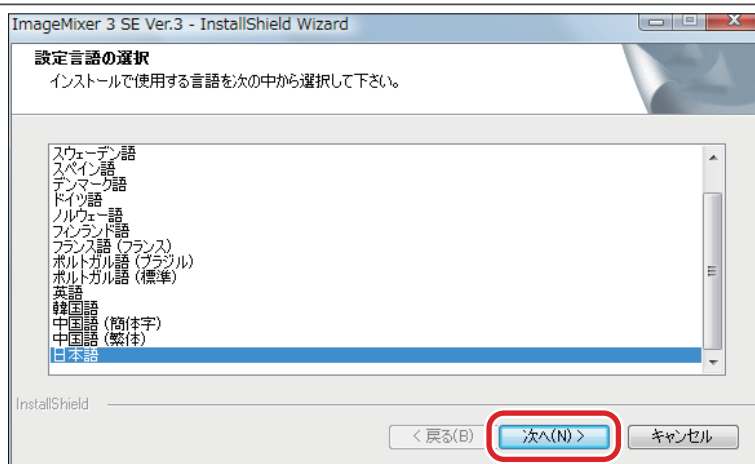
インターネットに接続できない場合は、ユーザーサポートセンター（P159）にお電話のうえ、認証コードを取得してください。

2. ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

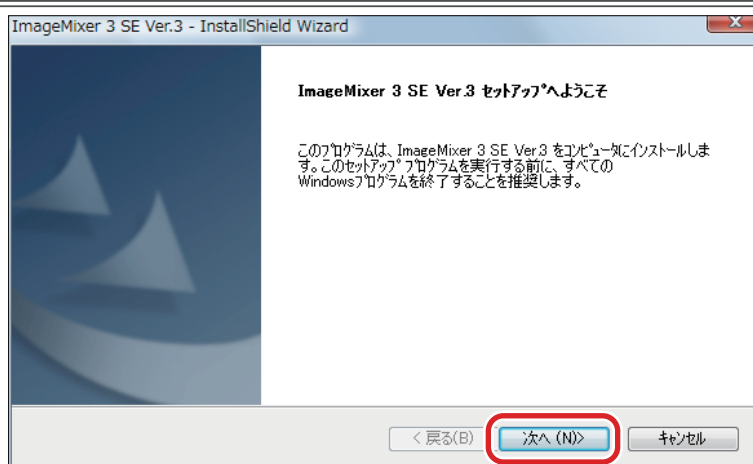
➡ インストール画面が表示されます。

※ Windows Vista の場合、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので、[続行] をクリックします。

3. 言語を選択して、[次へ] をクリックする



4. [次へ] をクリックする

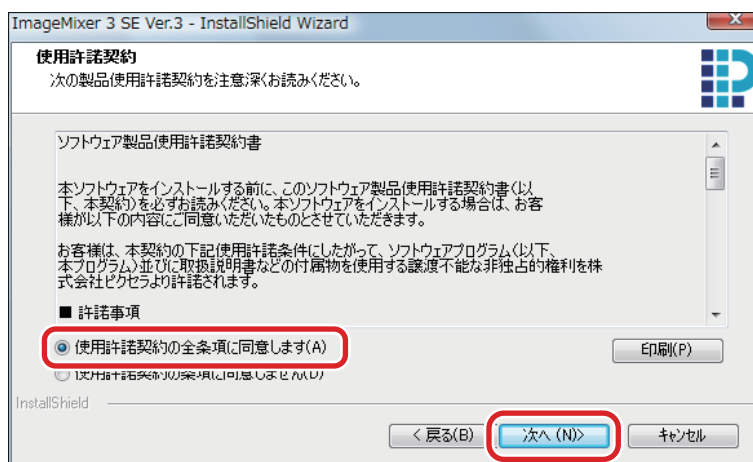


5. 使用許諾契約を確認する

- ① [使用許諾契約の全条項に同意します] をクリックする

※ クリックする前に許諾契約の内容をご確認ください。

- ② [次へ] をクリックする

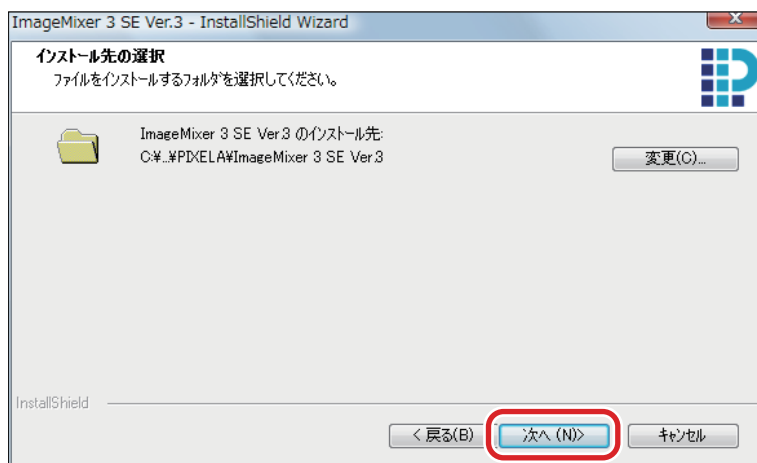


6. インストール先を決定する

初期設定では、C:\Program Files\PIXELA\ImageMixer 3 SE Ver.3 に保存されます。インストール先を変更しない場合は、[次へ] をクリックして手順 7 に進みます。

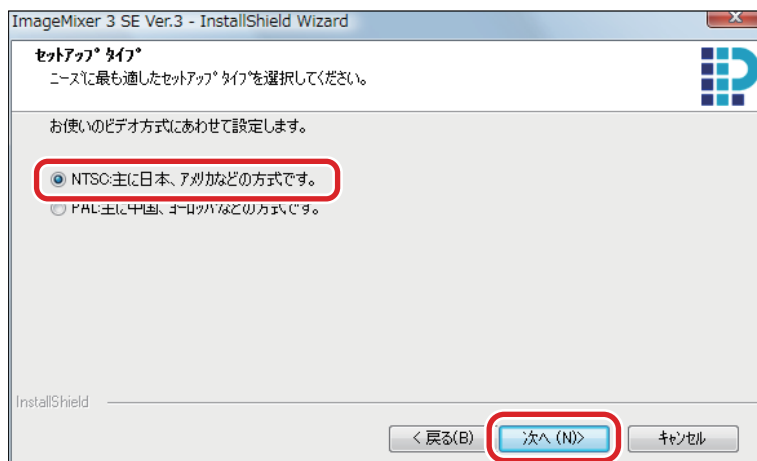
インストール先を変更する場合は、以下の手順で変更します。

- ① [変更] ボタンをクリックします。
- ② インストール先を選択して [OK] ボタンをクリックします。



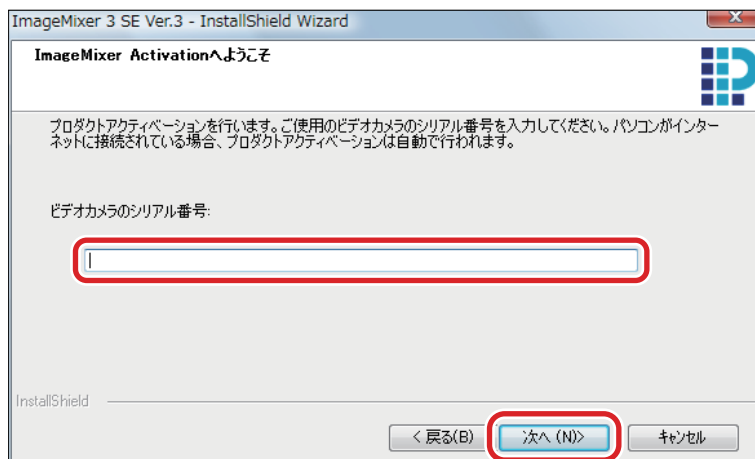
7. ビデオ方式を選択して、[次へ] をクリックする

※ インストール後にビデオ方式を変更する場合は、「環境設定画面」(P58)で行います。



8. ビデオカメラのシリアル番号を入力して、[次へ]をクリックする

- ➡ 入力されたシリアル番号がインターネット経由で送信されます。正しいシリアル番号が入力されると、認証コードが登録されて、"ImageMixer 3" の認証（プロダクトアクティベーション）が完了します。この手続きの後、インストールを続行できます。
- ※ シリアル番号については、ビデオカメラの使用説明書をご参照ください。
- ※ プロダクトアクティベーションによって、個人を特定するような情報が収集されることはありません。

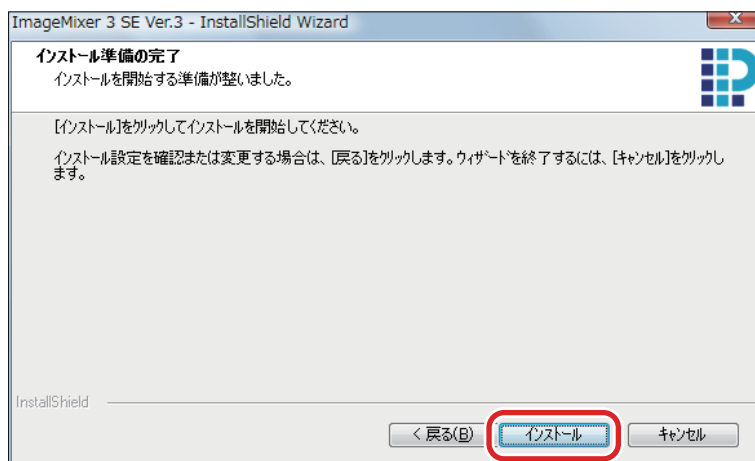


! 認証コードの入力画面が表示された場合

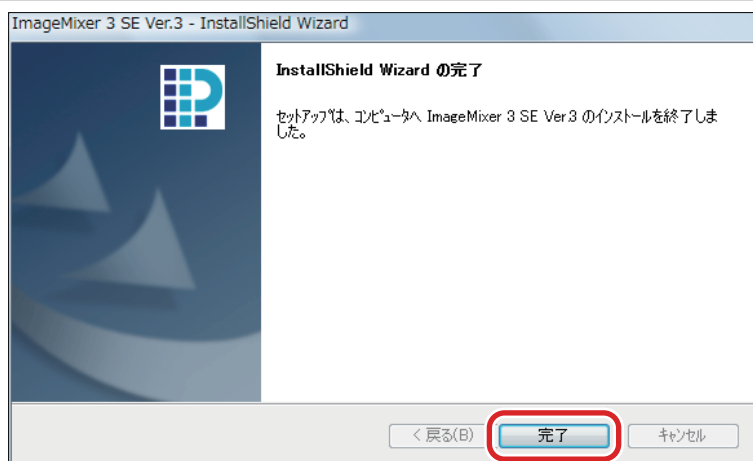
お使いのパソコンがインターネットに接続されていない場合、認証コードの入力画面が表示されます。パソコンをインターネットに接続してください。インターネットに接続できる環境がない場合は、ユーザーサポートセンターにお電話のうえ、取得した認証コードを入力して、[次へ]をクリックしてください。

9. [インストール]をクリックする

- ➡ インストールが開始されます。

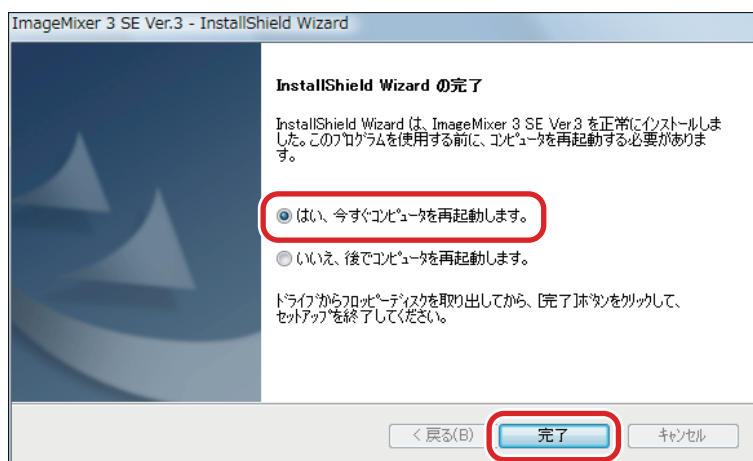


10. [完了] をクリックする



11. 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れて、[完了] をクリックする

➡ パソコンが再起動されます



アンインストール方法

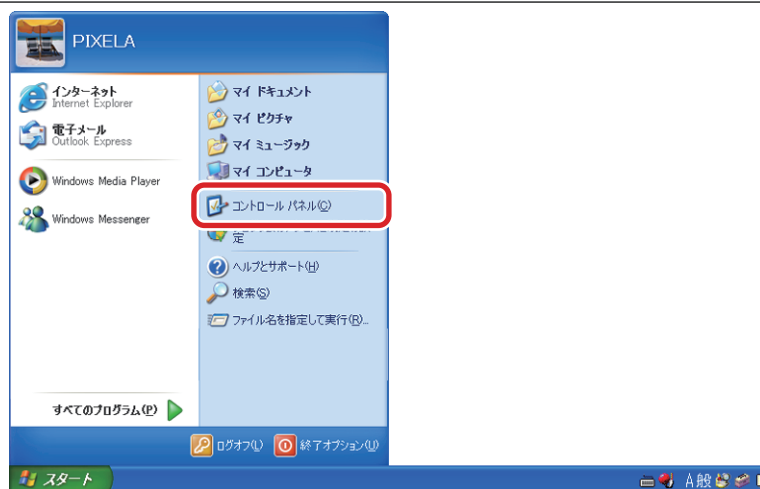
アンインストールは「ImageMixer 3」および「ImageMixer 3 SE Player」を終了させてから行ってください。

Windows XP の場合

1. [スタート] メニューをクリックする



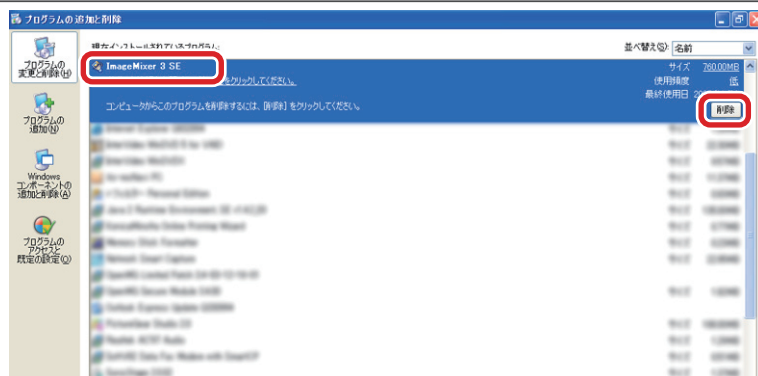
2. [コントロールパネル] をクリックする



3. [プログラムの追加と削除] クリックする

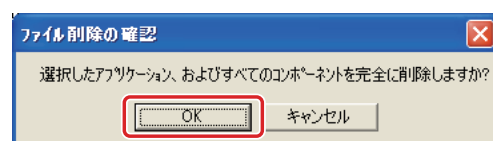


4. [ImageMixer 3 SE Ver.3] を選択して、[削除] をクリックする



5. [OK] をクリックする

➡ アンインストールが開始されます。

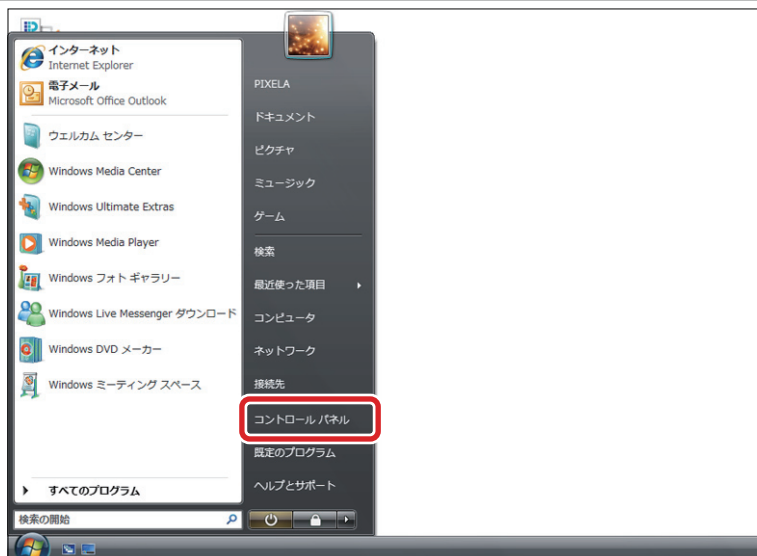


Windows Vista の場合

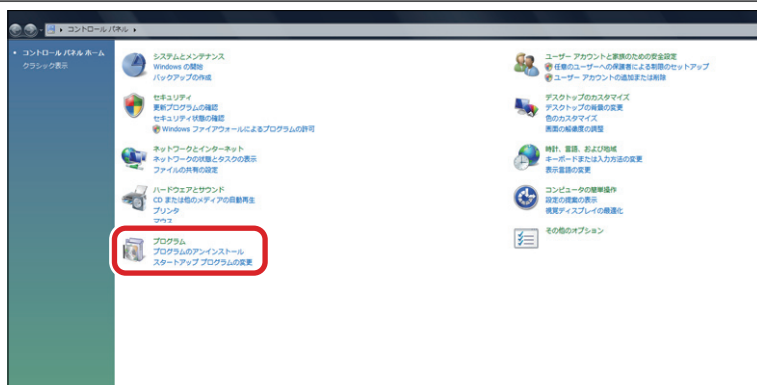
1. [スタート] メニューをクリックする



2. [コントロールパネル] をクリックする



3. [プログラムのアンインストール] クリックする



起動方法

「ImageMixer 3」の起動には以下の方法があります。

- ビデオカメラを接続する

ビデオカメラを接続すると、自動的に起動します。

- ショートカットアイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。



- スタートメニューから起動する

[スタート]メニュー-[すべてのプログラム]-[PIXELA]-[ImageMixer 3 SE Ver.3]-[ImageMixer 3 SE Ver.3]を選択します。

➡ 「ImageMixer 3 ランチャー」画面が表示されます。



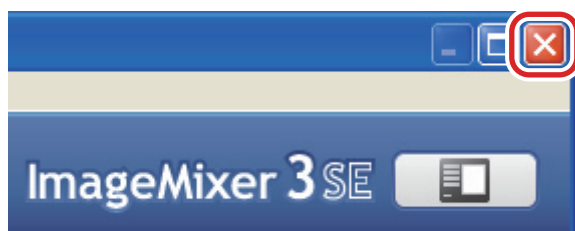
「ImageMixer 3 ランチャー」画面についての詳細は P34 をご参照ください。

終了方法

ウィンドウ右上の [X] / [X] ボタンをクリックすると終了します。

※ ダイアログや設定画面が表示されている場合は、それらを閉じてから終了してください。

Windows XP





Windows Vista



ビデオカメラの接続と取り外し

「ImageMixer 3」使用中にビデオカメラとパソコンの接続が解除されると、ビデオカメラに保存されている映像ファイルが破損するおそれがあります。パソコンとビデオカメラの接続や取り外しは以下の事項をお守りください。

- ビデオカメラの電源はコンパクトパワーアダプターを使用する。
- ビデオカメラは USB ケーブルで直接パソコンに接続する。(USB ハブを経由した接続では正常に動作しない場合があります)
- USB ケーブルを外すときは、Windows の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン ( (XP) /  (Vista)) をクリックして、ビデオカメラの接続を解除する。

ビデオカメラの接続

1. ビデオカメラをコンパクトパワーアダプターでコンセントに接続する


2. ビデオカメラの電源を入れ、動画再生モードにする

3. ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続する

➡ ビデオカメラの液晶画面に選択画面が表示されます。

4. ビデオカメラのジョイスティックでパソコンへの接続を選択する

➡ [ImageMixer 3 ランチャー] 画面がパソコンに表示されます。

 ビデオカメラ上での操作については、ビデオカメラの取扱説明書をご参照ください。

ビデオカメラの取り外し

1. タスクトレイの [] (XP) / [] (Vista) アイコンをクリックする

2. [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:)] をクリックする

※ 「ドライブ (X:)」のアルファベットは、お使いのパソコンによって異なります。

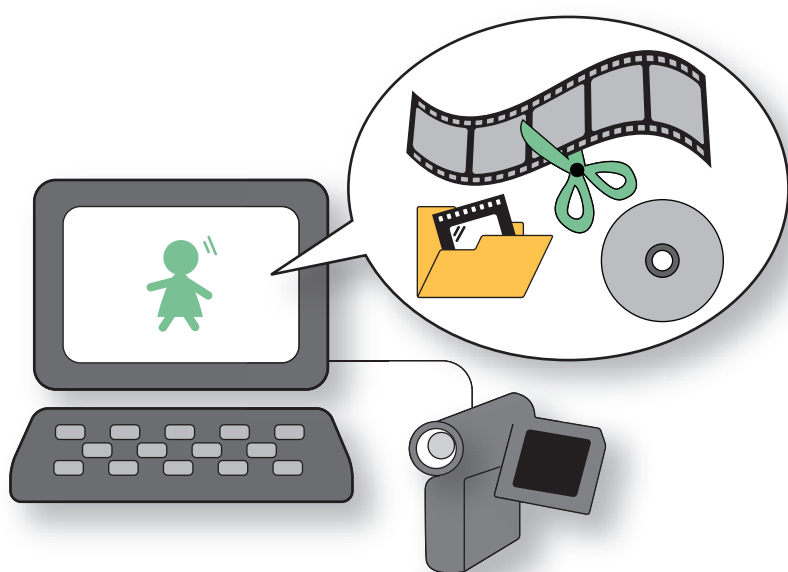
※ 複数表示される場合は、ビデオカメラに該当する項目を選択します。

➡ 取り外し可能のメッセージが表示されます。

3. ビデオカメラを取り外す

はじめよう

この章では、「ImageMixer 3」でできることの概要と「ImageMixer 3」を起動してから最初に行う操作について説明します。



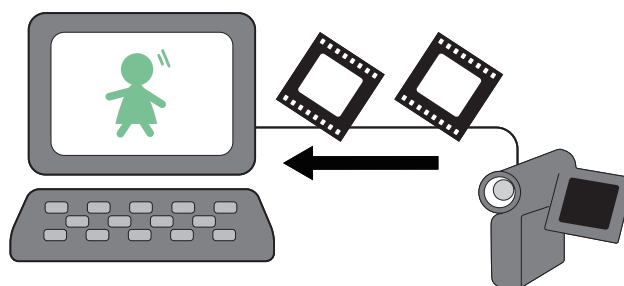
映像を見る

- ビデオカメラの映像を再生する

ビデオカメラをパソコンに接続して、ビデオカメラに保存されている映像を再生できます。

- パソコン内の映像ファイルを再生する

パソコンに保存されている映像ファイルを再生できます。



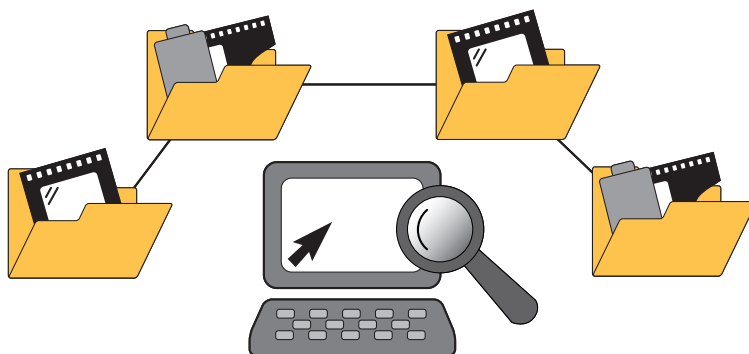
映像を取り込んで管理する

- 映像をパソコンに保存する

ビデオカメラ内の映像をパソコンに保存できます。

- 映像を整理する

「ImageMixer 3」のライブラリ画面で、映像を撮影日や種類ごとに分類したり、再生する順番を入れ換えたりできます。



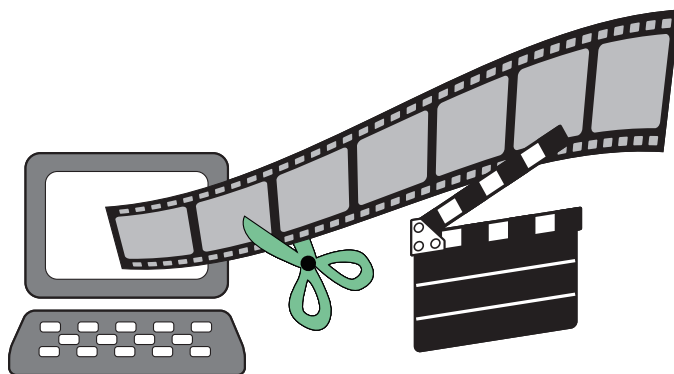
映像を編集する

- 映像に効果をつける

映像に文字を載せたり、場面の切り換え時に効果をつけることができます。また、映像の音量を調節することや、後からナレーションやBGMを付け加えることもできます。

- 複数の映像を1つの映像として保存する


映像の不要な部分をカットしたり、複数の映像を編集した結果を1つの映像ファイルとして保存できます。



映像を保存する

- ビデオカメラで撮った映像のディスクを作成する

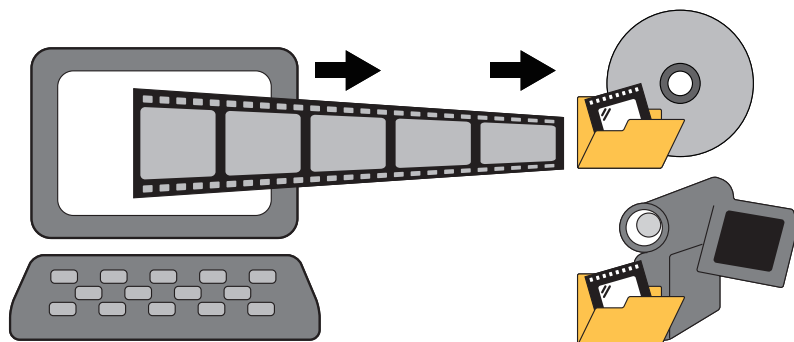
ビデオカメラ内の映像をそのままディスクに書き込んだり、書き込む映像を選択して、メニュー付きDVDやBDを作成することができます。

 作成できるディスクの種類や再生機器についてはP125をご参照ください。

- 映像をビデオカメラに書き戻す

再生順を入れ換えてビデオカメラに書き戻すことができます。

※ ビデオカメラへの書き戻しは、「ImageMixer 3」が付属しているビデオカメラからパソコンへ保存した映像、およびそれらを「ImageMixer 3」で編集した映像のみできます。



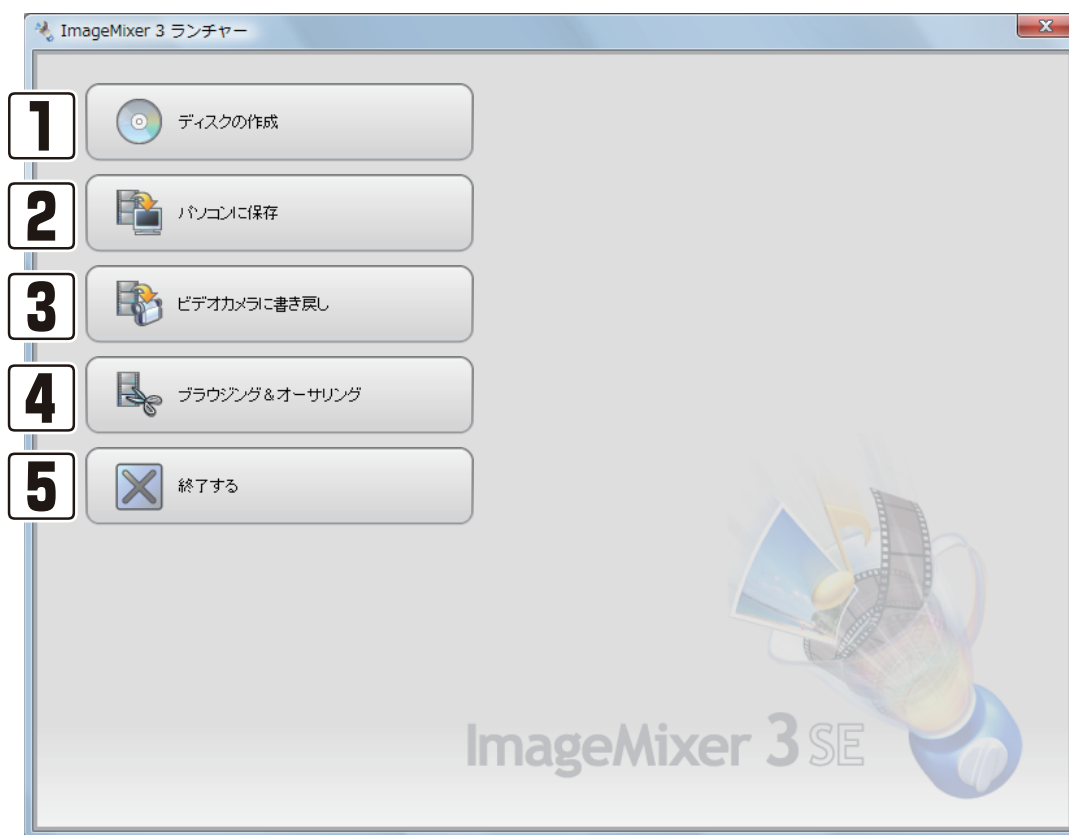
ImageMixer 3をはじめよう

ImageMixer 3 ランチャー

「ImageMixer 3」を起動すると、以下の画面が表示されます。この画面から作業したい項目を選びます。

! Windows Vista で「ImageMixer 3」をはじめて起動する場合

はじめて起動するときなどに「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示される場合があります。[続行] をクリックして続行してください。



1 ディスクの作成 (P126)

ビデオカメラ内の映像をディスクに保存します。

2 パソコンに保存 (P38)

ビデオカメラ内の映像をパソコンに保存します。

3 ビデオカメラに書き戻し (P144)

「ImageMixer 3」で読み込んだ映像をビデオカメラに書き戻します。

4 ブラウジング&オーサリング (P48)

映像を分類したり、編集したりします。また、それらの映像をディスクに残します。

5 終了する

「ImageMixer 3」を終了します。

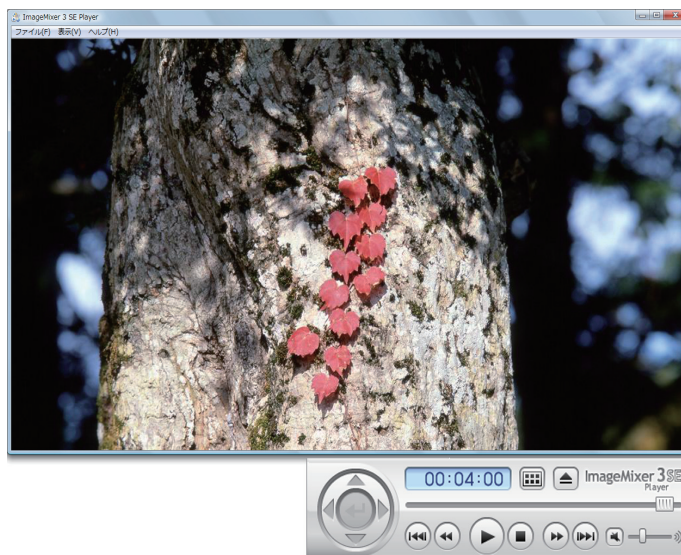
! [インフォメーション読み込み中] ダイアログについて

[ディスクの作成]、[パソコンに保存]、または[ブラウジング&オーサリング]を選択した場合は、ビデオカメラのファイル情報が読み込まれてから操作画面が表示されます。読み込みが完了するまでは、[インフォメーション読み込み中] ダイアログが表示されます。

※ ビデオカメラ内のファイル数が多い場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。


ImageMixer 3 SE Player

「ImageMixer 3」をインストールすると、映像ファイルを再生する「ImageMixer 3 SE Player」もインストールされます。



映像ファイルおよびディスクを見るときは、「ImageMixer 3 SE Player」を起動します。

※ 「ImageMixer 3 SE Player」と「ImageMixer 3」は同時に使用できません。すでに「ImageMixer 3」が起動している場合は終了させてください。

 詳しい操作方法については、P43 をご参照ください。

ImageMixer 3 SE Player の起動方法

- ショートカットアイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。

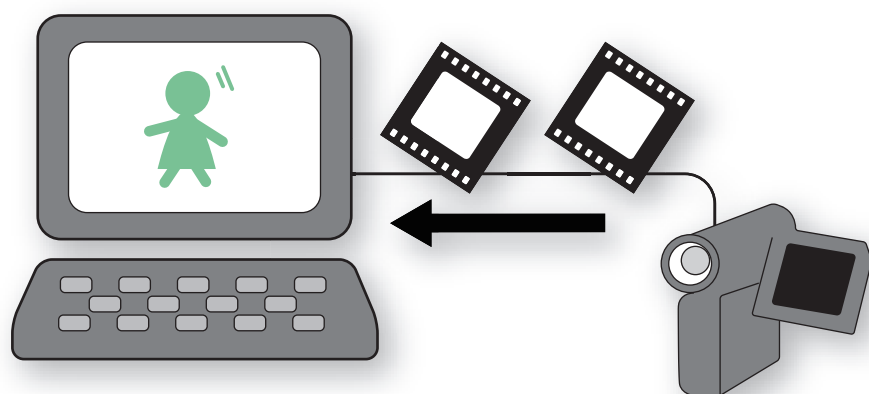


- スタートメニューから起動する

[スタート]メニュー-[すべてのプログラム]-[PIXELA]-[ImageMixer 3 SE Ver.3]-[ImageMixer 3 SE Player Ver.3]を選択します。

映像を取り込む

この章では、ビデオカメラで撮影した映像を「ImageMixer 3」でパソコンに取り込む方法を説明しています。



映像をパソコンに取り込む

ビデオカメラの映像をパソコンに取り込む

1. ビデオカメラの電源を入れ、動画再生モードにする

2. ビデオカメラとパソコンを接続する

➡ 接続方法については、P30 をご参照ください。

➡ [ImageMixer 3 ランチャー] 画面がパソコンに表示されます。

! ビデオカメラの接続について

ビデオカメラの接続時は以下の点にご注意ください。

- ビデオカメラの電源にはコンパクトパワーアダプターを使用してください。
- ビデオカメラは USB ケーブルで直接パソコンに接続してください。USB ハブを経由した接続では正常に動作しない場合があります。
- ビデオカメラの接続中はパソコンをスタンバイ状態にしないでください。

3. [ImageMixer 3 ランチャー] 画面の [パソコンに保存] をクリックする

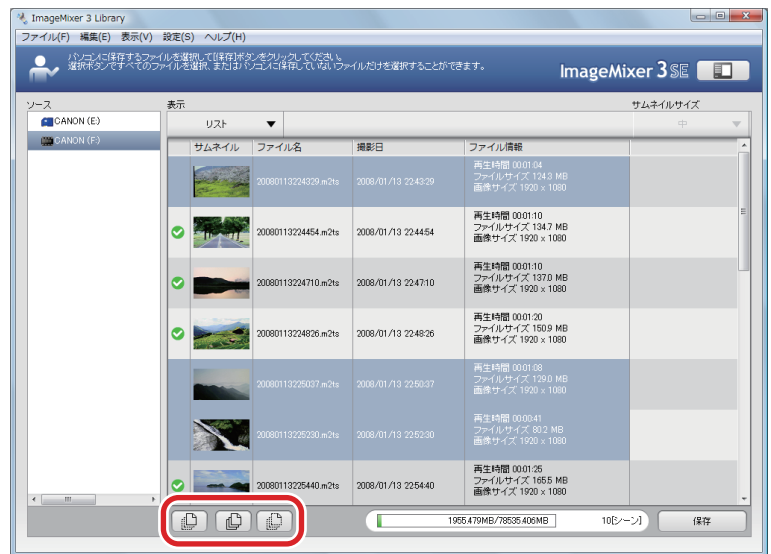
➡ パソコンへの保存画面が表示されます。



4. 保存する映像を選択する

[] (差分選択) ボタンや [] (全選択) ボタンを使うか、個別に映像を選択します。

 ボタンについての詳細は P41 をご参照ください。



5. [保存] ボタンをクリックする

➡ 確認ダイアログが表示されます。

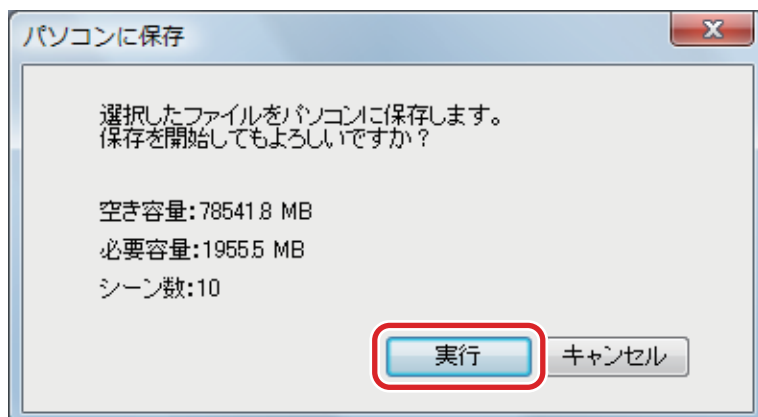


保存先について

取り込んだ映像は、[マイビデオ] / [ビデオ] (ない場合は、[マイ ドキュメント] / [ドキュメント]) 内の [IMxLibrary] フォルダに保存されます。保存先を変更するには、[設定] メニューの [環境設定] で保存先を指定します。

6. [実行] ボタンをクリックする

- ➡ 保存が開始されます。保存された映像は自動的に「ImageMixer 3」のライブラリに追加され、ソース・ペイン（P51）に撮影日ごとのアルバムが作成されます。



ファイルの状態マーク

パソコンに保存された映像ファイルには、（取り込み済みマーク）が表示されます。このマークはビデオカメラの中にある映像ファイルのうち、これまでパソコンに取り込まれたことのあるファイルに表示されます。

パソコンに保存するときの画面



1 ソース・ペイン

パソコン接続されているビデオカメラが表示されます。

ソース・ペインの詳細については P51 をご参照ください。

2 ブラウザー・ペイン

ソース・ペインで選択しているビデオカメラの内容が一覧で表示されます。

ブラウザー・ペインの詳細については P53 をご参照ください。

3 差分選択ボタン

これまでにパソコンに取り込まれたことのないビデオカメラ内の映像を選択します。

4 全選択ボタン

ブラウザー・ペインに表示されているすべての映像を選択します。

5 選択解除ボタン

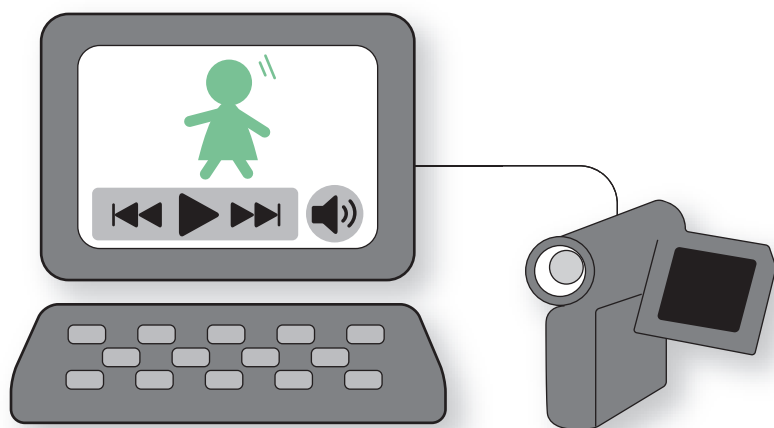
映像の選択を解除します。

6 [保存] ボタン

ブラウザー・ペインで選択している映像をパソコンに保存します。

映像を見る

この章では、ビデオカメラで撮影した映像を「ImageMixer 3」で再生する方法を説明しています。



ImageMixer 3 SE Player で再生する

再生方法

「ImageMixer 3 SE Player」と「ImageMixer 3」は同時に使用できません。すでに「ImageMixer 3」が起動している場合は終了させてください。

ImageMixer 3 SE Player で再生できる映像

- H.264 ファイル
- 「ImageMixer 3」の「AVCHD 作成リスト」から作成されたディスク
- 「ImageMixer 3」の「Blu-ray 作成リスト」から作成されたディスク
- 「ImageMixer 3」の「DataDisc 作成リスト」から作成されたディスク

1. ImageMixer 3 SE Player を起動する

「ImageMixer 3 SE Player」のショートカットアイコンをダブルクリックします。

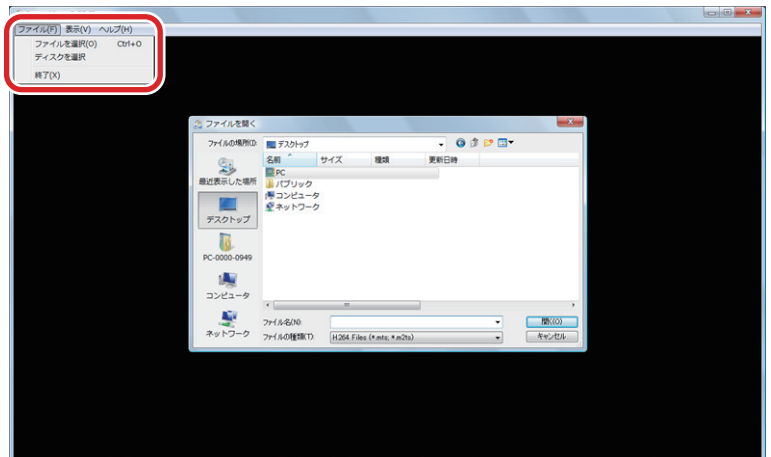


※ [スタート]メニュー - [すべてのプログラム] - [PIXELA] - [ImageMixer 3 SE Ver.3] - [ImageMixer 3 SE Player Ver.3] でも起動できます。

➡ プレーヤー画面が表示されます。

2. ファイル／ディスクを選択して再生する

- ① [ファイル]メニューをクリックします
- ② ファイルを再生の場合は[ファイルを選択]、ディスクを再生の場合は[ディスクを選択]をクリックします。
- ③ 再生するファイル／ディスクを選択します。
➡ 選択した映像が再生されます。

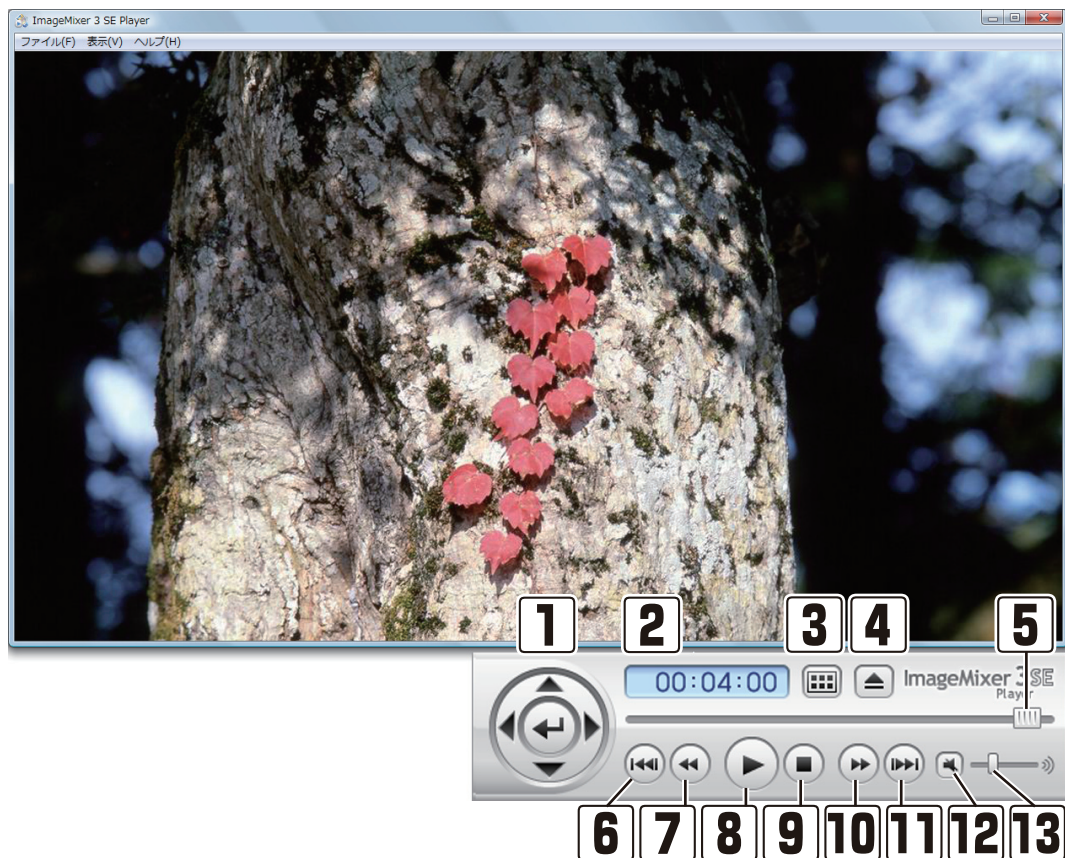


! チャプターのつなぎ目などがスムーズに再生できないとき

動画編集で作業エリアにクリップを並べて、1つの映像ファイルとして書き出した映像をディスクに保存することで、スムーズに再生できるようになります。なお、動画編集で書き出したファイルは、編集前のファイルとは別のファイルになります。編集前のファイルは削除せずに残しておくことをおすすめします。

プレーヤー画面

※ 下図は説明用の画面です。同時には表示できない項目があります。



1 ナビゲーションボタン

ディスク再生時にメニュー画面の操作をします。

2 経過時間

再生位置の時間です。

3 メニューボタン

ディスク再生時にメニュー画面に戻ります。

4 取り出しボタン

現在再生しているディスクを取り出します。

5 再生スライダー

再生位置を表示します。また、スライダーをドラッグすることにより、再生開始位置を指定できます。

6 前にスキップボタン

前のチャプターにジャンプします。

7 早戻しボタン

映像を早戻しします。クリックするたびに、倍速が× 5、× 10、× 30、× 60、× 5...の順で変化します。

8 再生ボタン

再生／再生一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。

9 停止ボタン

再生を停止します。

10 早送りボタン

映像を早送りします。クリックするたびに、倍速が× 5、× 10、× 30、× 60、× 5...の順で変化します。

11 次にスキップボタン

次のチャプターにジャンプします。

12 消音ボタン

消音／消音解除します。

13 音量レベル

音量を調節します。

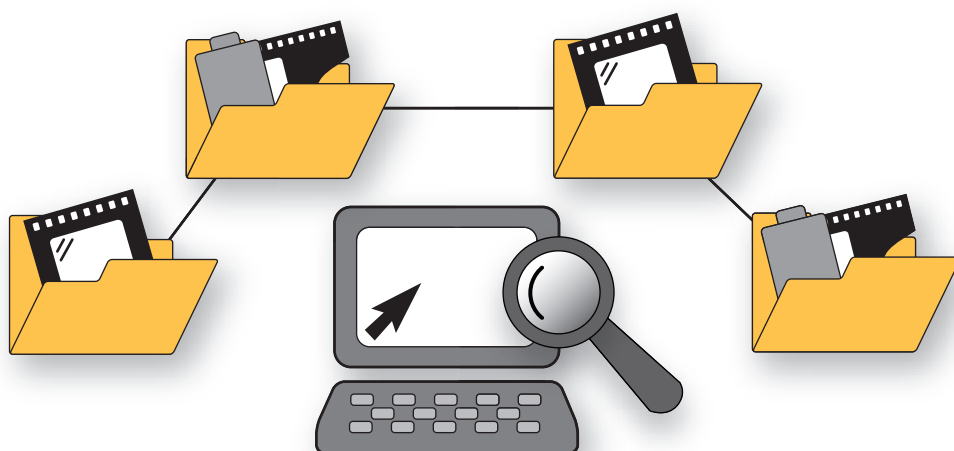


再生画面のサイズを変更するには

再生画面のサイズを変更したい場合は、プレーヤー画面の[表示]メニューからサイズを選択するか、ウィンドウの端をドラッグします。

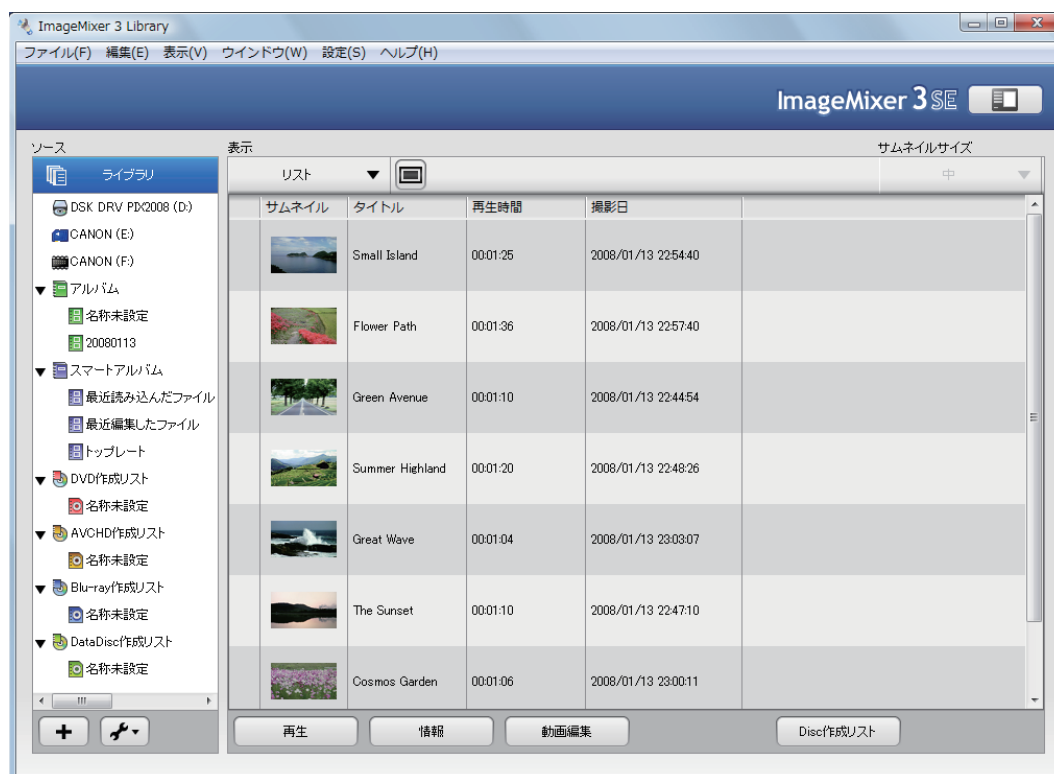
映像を取り込んで管理する (ライブラリ)

この章では、「ImageMixer 3」に読み込んだ映像を閲覧したり、整理することのできるライブラリ機能についてを説明します。



ライブラリでできること

「ImageMixer 3」では、ビデオカメラやパソコンに保存されている映像を、一度「ライブラリ」に追加してから使用します。ライブラリとは、「ImageMixer 3」で利用するすべての映像ファイルが保管されている書庫のようなものです。



ライブラリでは、以下の作業ができます。

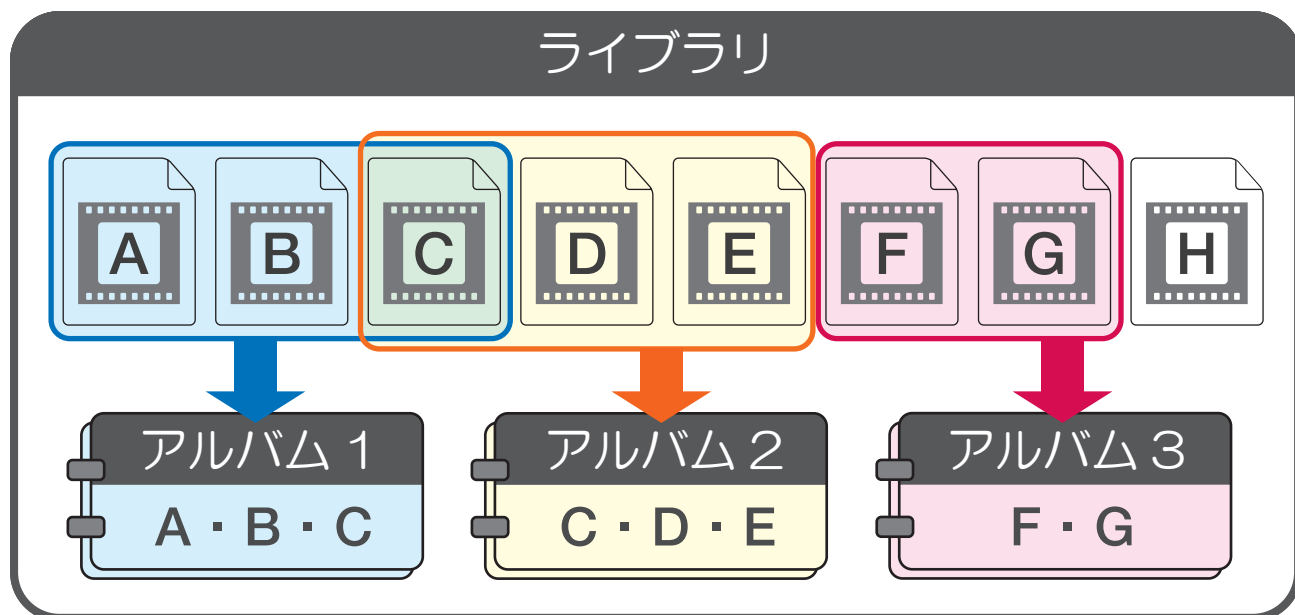
- 映像の読み込み (P59)
- 映像の再生 (P61)
- 映像ファイルの詳細情報表示 (P56)
- ライブラリ内のファイル整理 (P64)
- アルバムの作成 (P65)
- スマートアルバムの作成 (P67)

- DVD-Video 規格のディスク作成 (P131)
- AVCHD 規格のディスク作成 (P131)
- Blu-ray 規格のディスク作成 (P131)
- データ保存用のディスク作成 (P131)
- 動画編集への移行 (P90)
- 動画から静止画の書き出し (P77)
- 映像を別のフォーマットで保存 (P79)
- チャプターの設定 (P139)

ライブラリとアルバム

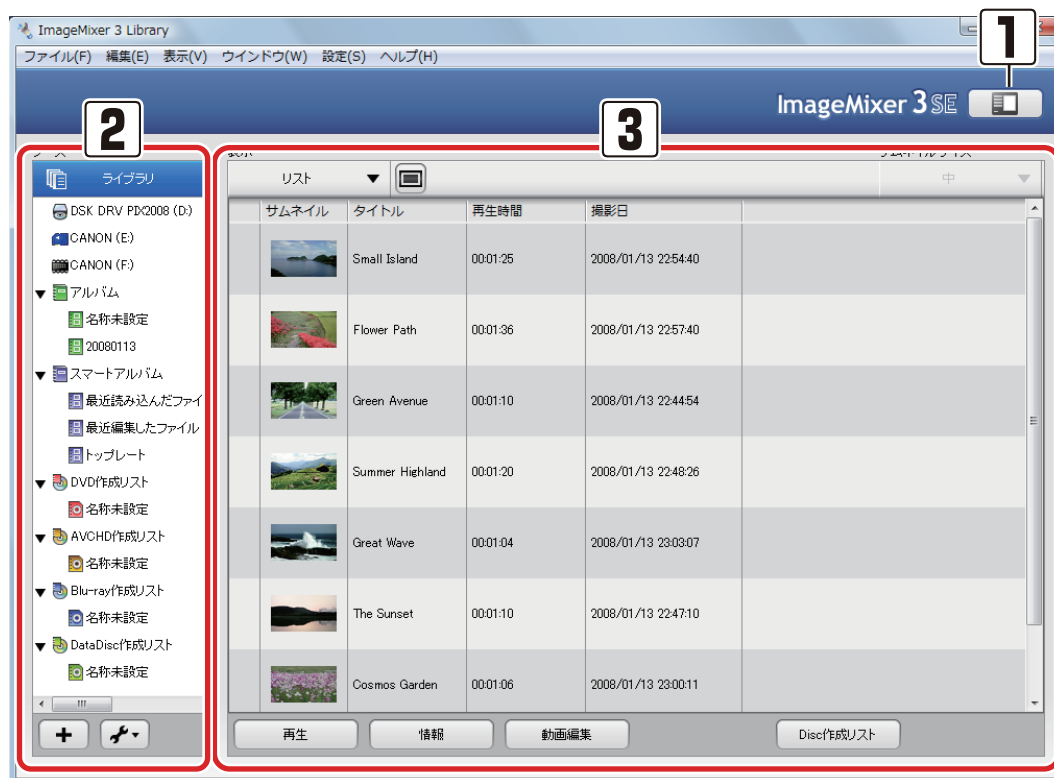
「ImageMixer 3」で利用するすべての映像ファイルを保管している場所をライブラリと呼びます。ライブラリの中にある映像を、テーマにそってグループにまとめたものが「アルバム」です。アルバムは複数作成することができ、ライブラリの映像を目的に応じて仕分けすることができます。

アルバムに仕分けされた映像は実際にアルバムに移動するわけではなく、常にライブラリに属しています。つまりアルバムとは、ライブラリ内の映像を一定のテーマに沿って集められた映像のリストを表示するためのものです。



基本画面

ライブラリ画面は以下の3つの部分から構成されています。詳細については、各部の画面説明をご参照ください。



1 ImageMixer 3 ランチャーボタン

クリックすると、[ImageMixer 3 ランチャー] 画面に戻ります。

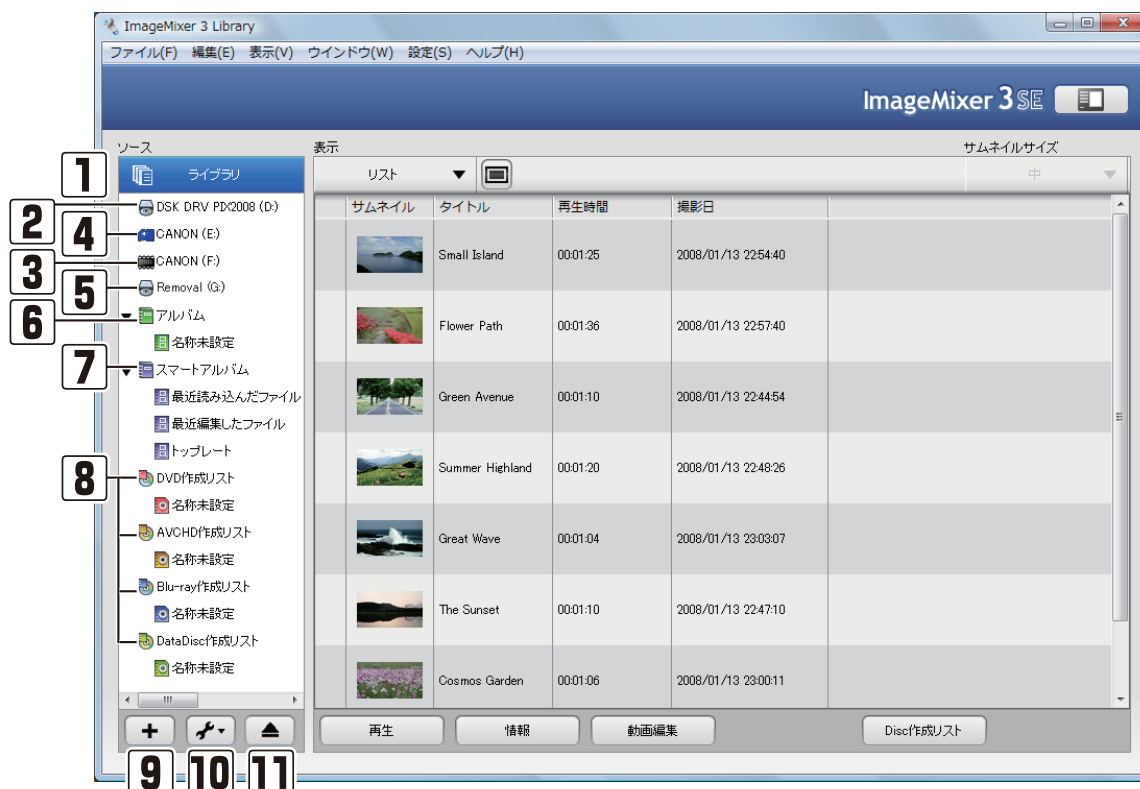
2 ソース・ペイン

映像ファイルがある場所です。

3 ブラウザー・ペイン

ソース・ペインで選択した場所にある映像ファイルが表示されます。

◇ ソース・ペイン ◇



1 ライブラリ

「ImageMixer 3」で利用する映像ファイルが保管されている、書庫のようなものです。

2 ディスクドライブ

接続されているドライブです。ドライブにセットしたディスクの映像ファイルを一覧表示できます。

3 ビデオカメラ

メモリまたはハードディスクを内蔵したビデオカメラを接続したときに表示されます。ビデオカメラに保存されている映像ファイルを一覧表示できます。

4 SD メモリーカード

ビデオカメラに挿入されている SD メモリーカードの映像ファイルを一覧表示できます。

※ SD メモリーカードが挿入されているときとされていないときで表示が異なります。

5 リムーバブルディスク

パソコンに接続されている外付けの記憶媒体に保存されている映像ファイルを表示します。

6 アルバム

ライブラリに保管されている映像の中から、任意で集めた映像集です。

7 スマートアルバム

ライブラリに保管されている映像の中から、指定の条件にしたがって集めた映像集です。

8 ディスク作成リスト

ディスク作成用に、ライブラリから任意で集める映像集です。リストの種類によって、書き込むための規格やディスクの種類が異なります。



作成できるディスクの種類や再生機器については P125 をご参照ください。

- DVD 作成リスト

DVD-Video 規格の DVD ディスク作成用リストです。

- AVCHD 作成リスト

AVCHD 規格の DVD ディスク作成用リストです。作成されるディスクは、ビットレートが最大 18Mbps に制限されます。

- Blu-ray 作成リスト

BD ディスク作成用リストです。

- DataDisc 作成リスト

保存用の DVD ディスク作成用リストです。作成されるディスクは、ビデオカメラで撮影した映像をそのままの品質で保存します。

※ DataDisc 作成リストから作られたディスクは市販の DVD プレーヤーで再生できません。



ビットレート (Mbps) とは

映像や音声を送るデータの量を指し、1 秒間に転送されるデータ量を「Mbps」で表します。Mbps の数値が高いほど、映像・音声の品質が良くなります。

9 アルバム追加ボタン

クリックすると、アルバムが追加されます。

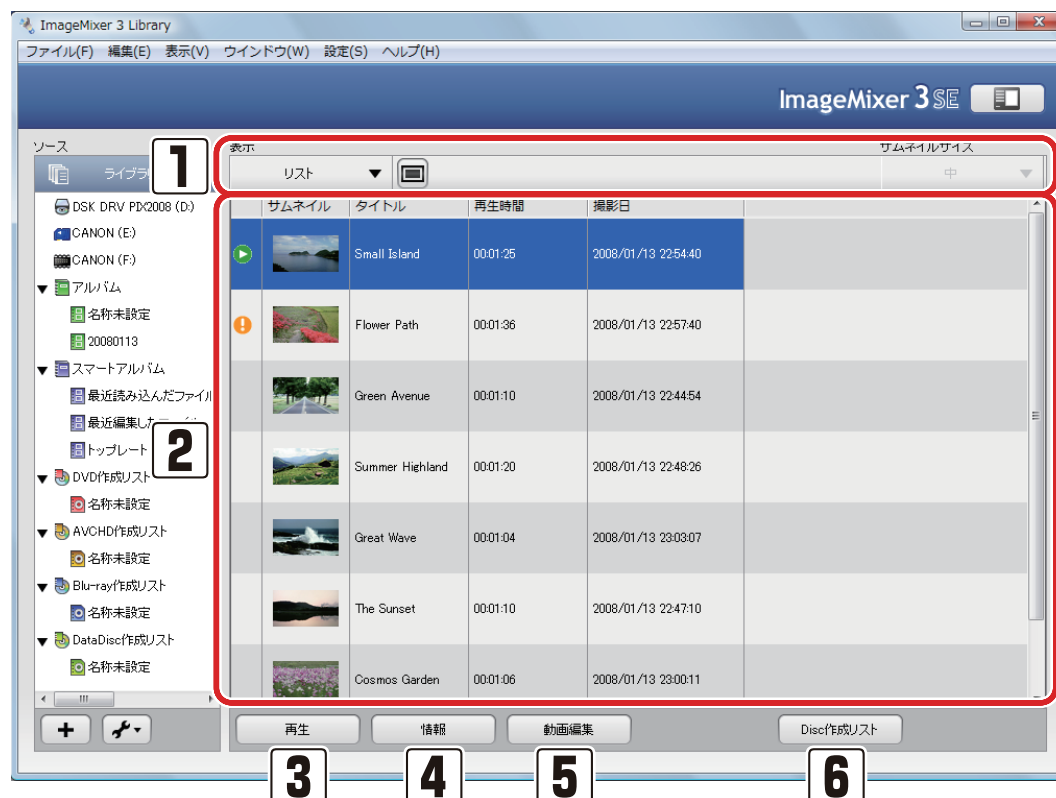
10 ユーティリティーメニューボタン

アルバムの追加、スマートアルバムの追加、その他、ソースで選択している項目に応じて、メニューが表示されます。

11 取り出しボタン

ディスクドライブ選択時に表示されます。クリックするとディスクが排出されます。

◇ ブラウザー・ペイン ◇



1 表示フィルタ

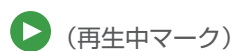
サムネイルの表示／非表示や表示サイズを変更します。

2 ブラウザー・ペイン

ソース・ペインで選択した場所にある映像ファイルが表示されます。各映像ファイルについて、下記の項目が表示できます。

ファイルの状態 / サムネイル / タイトル / ビデオ形式 / 音声形式 / 画像サイズ / システムビットレート / アスペクト比 / 再生時間 / ファイルサイズ / 撮影日 / 追加日 / 変更日 / 動画編集日 / マイレート / 再生回数

📁 ファイルの状態マーク



(再生中マーク)

再生中のファイルに表示されます。



(ファイルが見つからないマーク)

以前ライブラリに追加されたファイルで、そのファイルが移動・削除されるなどして、現在は見つからない場合に 표시됩니다。



(移動不可マーク)

ライブラリのファイルをドラッグ&ドロップするときに、ファイルを移動できない場所の上で表示されます。

各映像ファイルの表示項目を選ぶには

表示する項目は、[ウィンドウ] メニューから [表示オプションを表示 ...] を選択して、表示されるオプションウィンドウで変更できます。

※ ただし、ファイルの状態、およびタイトルは非表示にできません。

サムネイルのサイズを変更するには

ブラウザーペイン上部の項目名 [サムネイル] と [タイトル] の仕切り線を左右にドラッグすることでサムネイルのサイズを変更できます。

3 [再生] ボタン

選択した映像を再生します。

4 [情報] ボタン

画面下部に情報パネルを表示し、選択した映像の詳細情報を表示します。表示される情報パネルでコメントやマイレートをつけることもできます。

5 [動画編集] ボタン

動画編集画面を起動します。

6 [Disc 作成リスト] ボタン

DVD 作成リスト、AVCHD 作成リスト、Blu-ray 作成リスト、または DataDisc 作成リストを新規作成します。

ビデオカメラを選択したときの画面

ソース・ペインでビデオカメラを選択したときは、基本画面から以下の項目が変更されます。



1 ブラウザー・ペイン

ビデオカメラ内の映像ファイルについての情報が表示されます。

ファイルの状態マーク

(取り込み済みマーク)

ビデオカメラに保存されている映像ファイルで、これまでパソコンに取り込まれたことのあるファイルに表示されます。

2 [再生] ボタン

選択した映像を再生します。

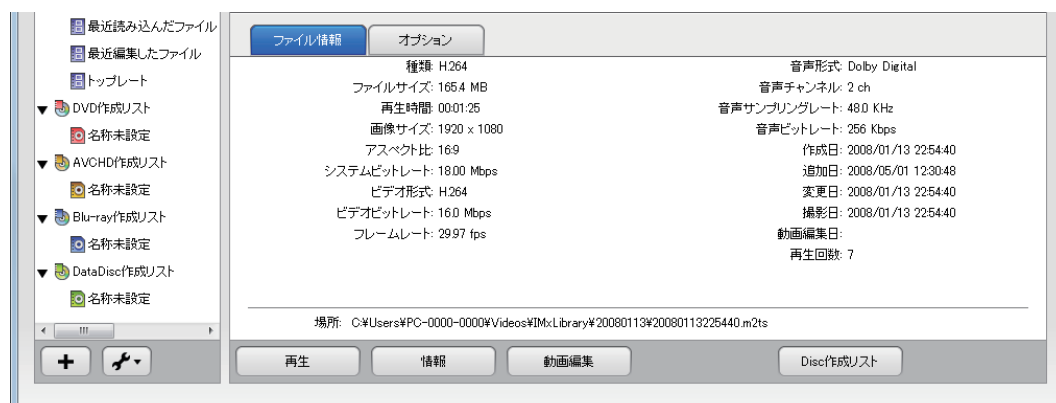
3 [読み込み] ボタン

選択した映像をライブラリに読み込みます。

ファイル情報パネル

映像ファイルを選択して、[情報] ボタンをクリックすると、選択したファイルの詳細情報が表示されます。もう一度、クリックすると情報パネルを閉じます。

◇ ファイル情報タブ ◇



※ [システムビットレート] および [ビデオビットレート] は、ビデオカメラのビットレートと異なる場合があります。

◇ オプションタブ ◇



オプションタブのマイレートとコメントには、任意で情報を入力できます。スマートアルバムを作成したりするときにご利用できます。

1 タイトル

ライブラリ内の映像のタイトル名を変更できます。作成したディスクのメニュー画面には、ここで変更した名称が表示されます。

2 サムネイル

映像のサムネイルが表示されます。スライダーをドラッグすることで、サムネイル画像を変更できます。

※ サムネイルを変更した場合でも、作成したディスクのメニュー画面 (P138) には先頭の画面がサムネイルとして表示されます。

3 マイレート

好きな映像ファイルにランクをつけることができます。スマートアルバムの条件などに活用できます。星の上をクリックまたはドラッグして、星の数を増やしたり減らしたりできます。

マイレートの星をゼロにするとき

星の上を左端までドラッグするとゼロになります。

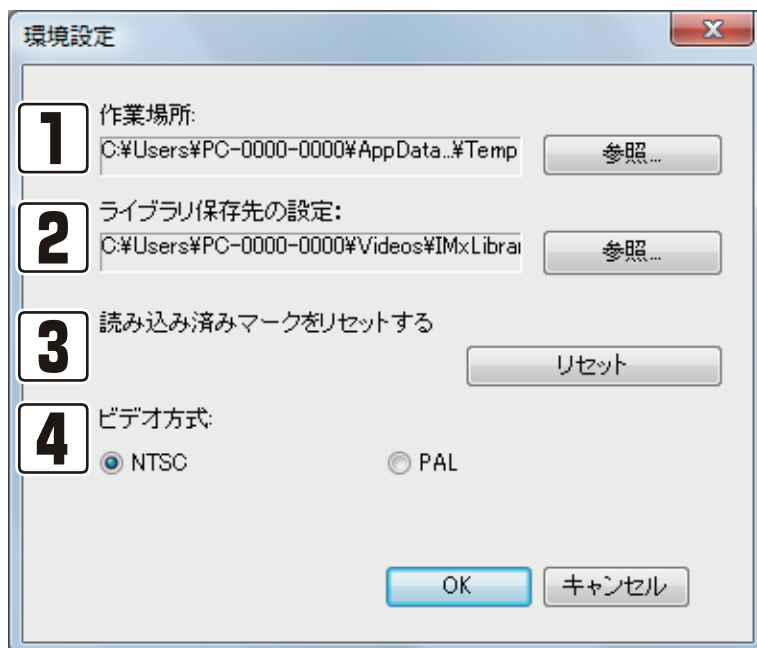
4 コメント

映像に関するコメントを入力できます。

環境設定画面

[設定] メニューから [環境設定 ...] を選択すると、画面が表示されます。

※ 下記はライブラリ画面での環境設定です。ディスクの作成、パソコンへの保存、ビデオカメラへの書き戻し時には、表示されない項目があります。



1 作業場所

動画編集の保存時やディスク作成時に使用する作業領域を指定できます。デフォルトではシステムボリュームが指定されています。書き込みできないボリュームは表示されません。

2 ライブラリ保存先の設定

ライブラリの内容を保存する場所を指定できます。初期設定では [マイビデオ] / [ビデオ] (ない場合は、[マイ ドキュメント] / [ドキュメント]) 内の [IMxLibrary] フォルダが指定されています。

※ ライブラリの保存先を変更しても、元の保存先のフォルダは削除しないでください。新しい保存先には、これからライブラリに追加されるファイルだけが保存されます。

3 読み込み済みマークをリセットする

取り込み済みマーク (P55) をリセットしたいときに [リセット] ボタンをクリックします。

4 ビデオ方式

ディスク作成時や別のファイルフォーマットでの保存時のビデオ方式を指定できます。

※ ファイルの書き出しで [パソコン用] を選択した場合は、記録したビデオカメラのビデオ方式になります。

映像をライブラリに追加する

ビデオカメラの映像を追加する

➡ ビデオカメラの映像をライブラリに追加する方法については P38 をご参照ください。

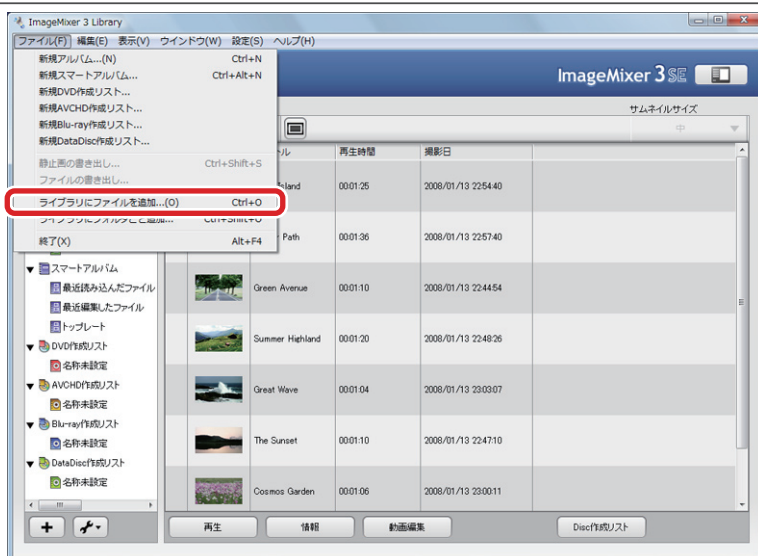
パソコン内のファイルを追加する

1. [ImageMixer 3 ランチャー] 画面の [ブラウジング&オーサリング] をクリックする

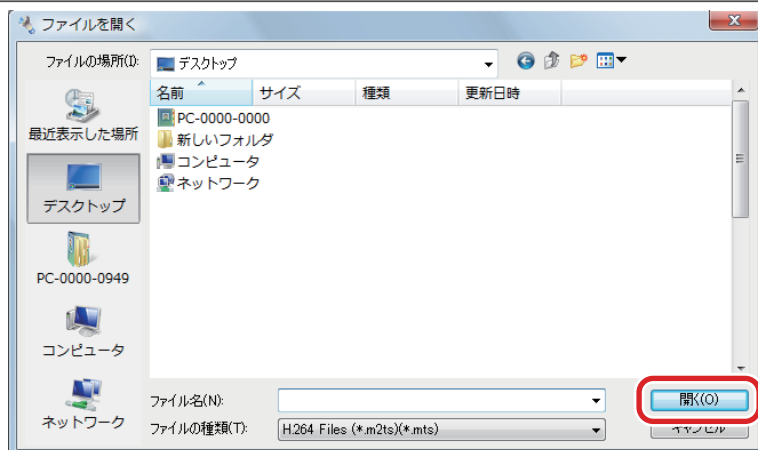
➡ ライブラリ画面が表示されます。



2. [ファイル] メニューをクリックして、[ライブラリにファイルを追加 ...] を選択する



3. 追加したいファイルを選択して [開く] をクリックする



ドラッグ&ドロップで追加する

エクスプローラなどで、追加したい映像ファイルやフォルダを表示させて、「ImageMixer 3」の画面にドラッグ&ドロップしても、ライブラリに追加できます。

※ リムーバブルディスクからのドラッグ&ドロップは除きます。

ライブラリに追加したファイルの取り扱いについて

パソコン内から映像ファイルをライブラリへ追加した後に、エクスプローラでファイルを削除した場合などは、「ImageMixer 3」がファイルを見つけられなくなります。「ImageMixer 3」で使用する映像ファイルは、移動や削除を行わないようにしてください。USB メモリなどのリムーバブルメディアをご使用の場合は、一度パソコン内に保存してから、ライブラリに追加してください。

ビデオカメラ内のファイルについて

ファイル選択画面でビデオカメラ内のファイルを選択した場合、ファイルのリンク情報だけが登録され、パソコンにファイルはコピーされません。ビデオカメラの接続を解除したり、ビデオカメラの初期化を行うと、追加したファイルは使用できなくなります。ビデオカメラ内の映像ファイルをライブラリに追加する場合は、「ImageMixer 3 ランチャー」画面の「パソコンに保存」で行ってください。

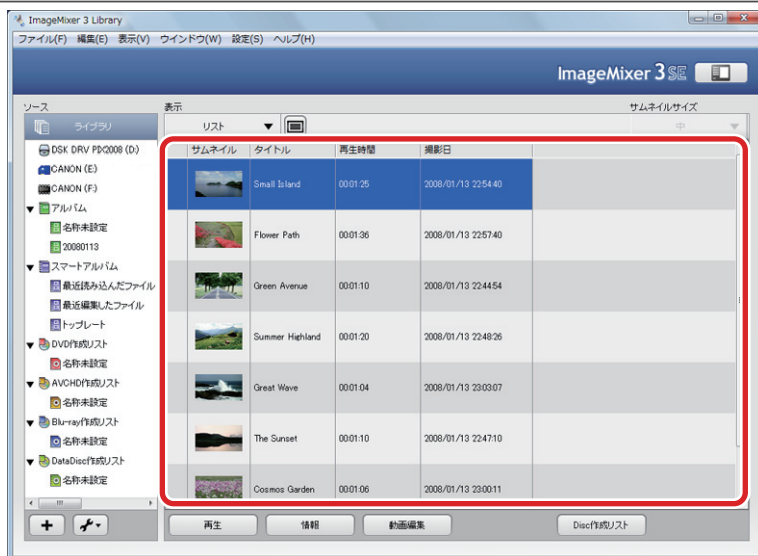
ライブラリの映像を再生する



ビデオカメラ以外の映像は、ライブラリに映像を追加しておく必要があります。ライブラリへの追加の方法は P59 をご参照ください。

再生方法

1. 再生したい映像ファイルを選択する

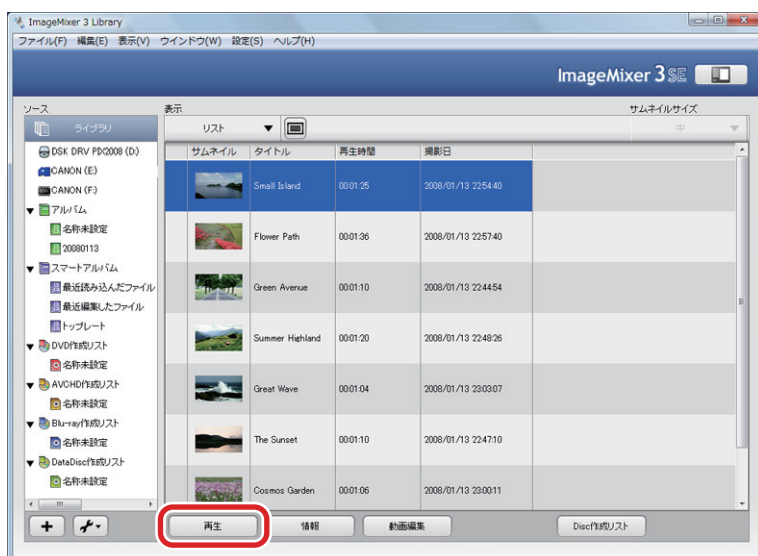


2. [再生] ボタンをクリックする

➡ プレビュー画面が表示され、選択した映像が再生されます。

! ビデオカメラ内の映像を再生する場合

ビデオカメラ内の映像を再生する場合、映像によっては USB の転送速度の関係上、スムーズに再生できない場合があります。



プレビュー画面



1 経過時間

再生位置の時間です。

2 再生スライダー

再生位置を表示します。また、スライダーをドラッグすることにより、再生開始位置を指定できます。

3 残り時間 / 全体時間

再生中に残り時間を表示します。クリックすることで、ファイルの全体時間に切り換わります。

4 前にスキップボタン

再生中の映像ファイルの先頭にジャンプします。再生位置が先頭の場合は、前の映像ファイルの先頭にジャンプします。

5 再生ボタン

再生／再生一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。

6 次にスキップボタン

次の映像ファイルの先頭にジャンプします。

7 消音

消音／消音解除します。

8 音量レベル

再生中の音量を調節します。

再生画面のサイズを変更するには

再生画面のサイズを変更したい場合は、プレーヤー画面の[表示]メニューからサイズを選択するか、ウィンドウの端をドラッグします。

ライブラリの映像を整理する

「ImageMixer 3」で使用する映像ファイルが増えて、管理が大変になってきたときに、テーマなどに沿ってアルバムを作成するとファイルを整理できます。ImageMixer で作成できるアルバムには、通常のアルバムとスマートアルバムの2種類あります。

アルバムとスマートアルバムの違い

アルバム

アルバムとは、写真アルバムのように、好きな映像を選択して、ひとつにまとめることができる機能です。

例えば、「誕生日パーティー」というアルバムを作って、誕生日パーティーに撮影した映像を手動で選択して、アルバムを作成していきます。「誕生日パーティーの映像が見たい!」と思ったときにすぐにまとめて再生できます。

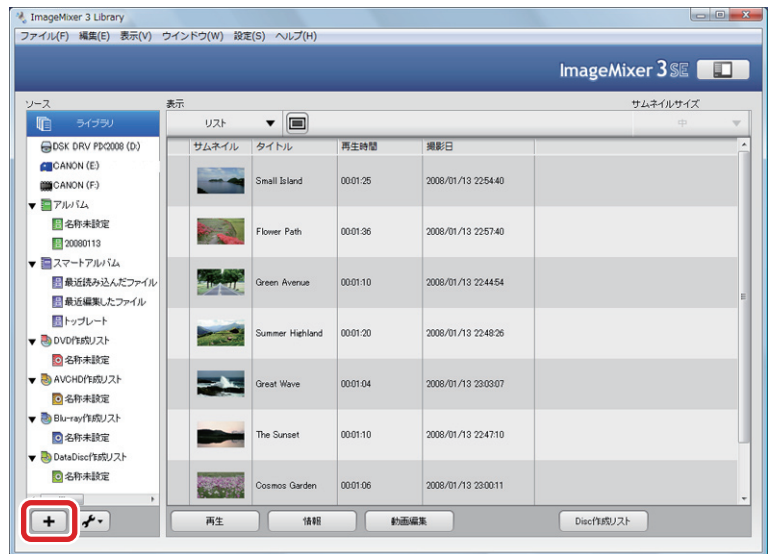
スマートアルバム

スマートアルバムとは、電子データの特性を生かして、自動で映像を集める機能です。条件を指定すると、その条件を満たす映像ファイルが自動で集められます。

例えば、「2008 年 4 月に撮影した映像」という条件を指定した「2008 年 4 月」というスマートアルバムを作成すると、指定した撮影日に撮影した映像が自動で追加されます。

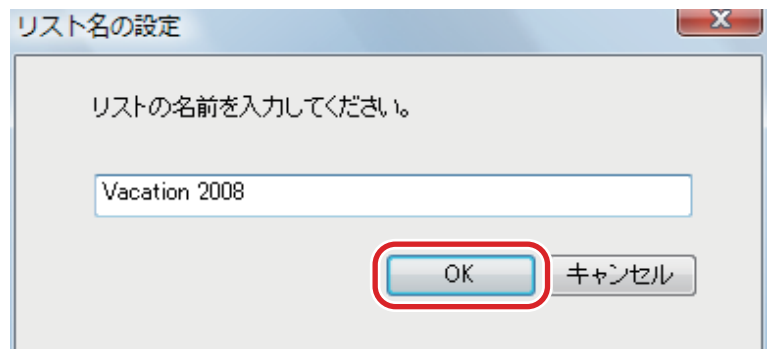
好きな映像を集めてアルバムを作成する

1. [+] ボタンをクリックする

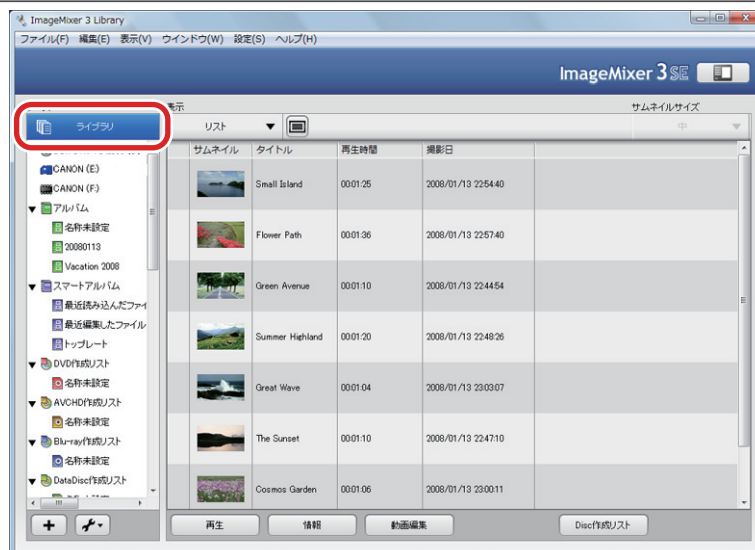


2. アルバム名を入力して、[OK] ボタンをクリックする

➡ 新しいアルバムがソース・ペインに追加されます。



3. [ライブラリ] をクリックする



4. アルバムに追加したい映像を選択する手順2で作成したアルバムへドラッグ&ドロップする

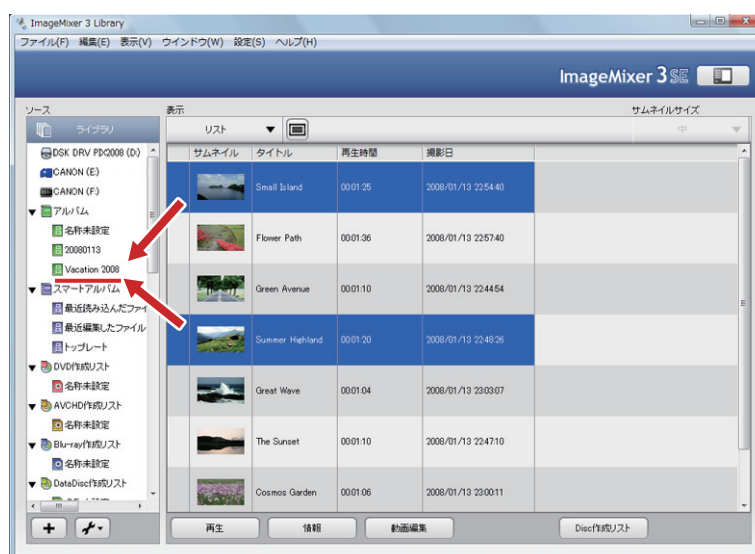
➡ 選択した映像ファイルがアルバムに追加されます。

📌 複数ファイルの選択

連続したファイルを選択するときは [Shift] キー、非連続のファイルを選択するときは [Ctrl] キーを押しながら選択できます。

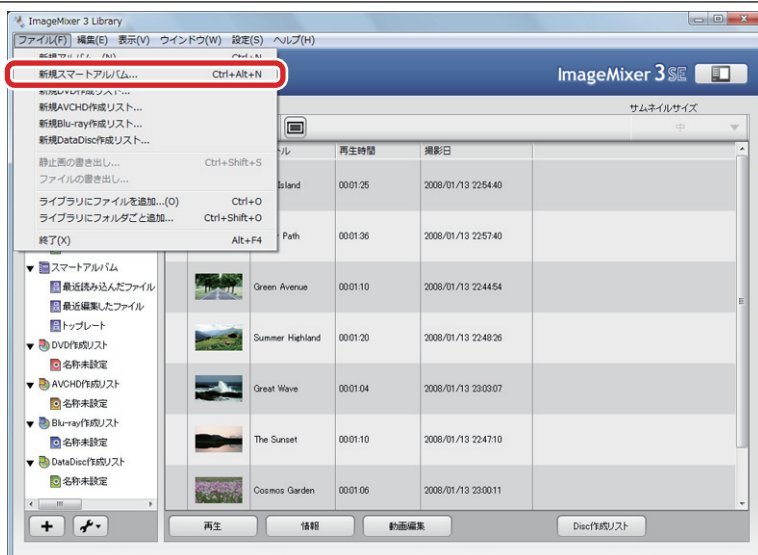
📌 アルバム内の映像を並べ替える

項目名をクリックしたり、映像ファイルのドラッグ&ドロップすることで並べ替えられます。



条件を指定して映像を自動でまとめる（スマートアルバム作成）

1. [ファイル] メニューから [新規スマートアルバム ...] を選択する



2. 条件を指定して、[OK] ボタンをクリックする

条件を追加したい場合は、条件の右にある [+] ボタンをクリックし、条件を選択します。複数の条件を指定した後、不要な条件がある場合には、条件の右にある [-] ボタンをクリックすると、条件が削除されます。

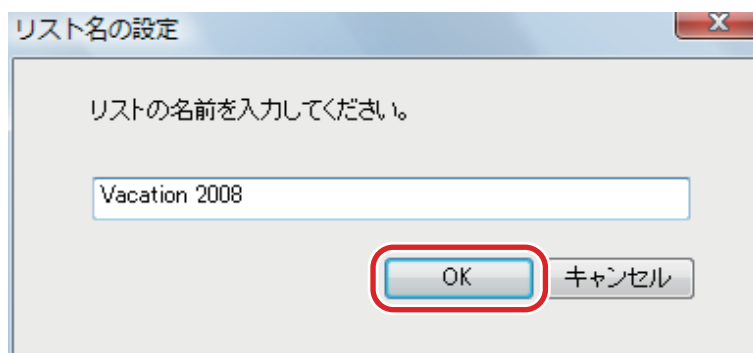


スマートアルバムの条件設定について

ひとつのスマートアルバムには、最大 10 項目の条件を設定できます。

3. アルバム名を入力して、[OK] ボタンをクリックする

➡ 設定した条件にあう映像ファイルが、自動的にスマートアルバムに追加されていきます。



! アルバム内の映像の並べ替え

スマートアルバムでは項目名をクリックすることでのみ並べ替えができます。

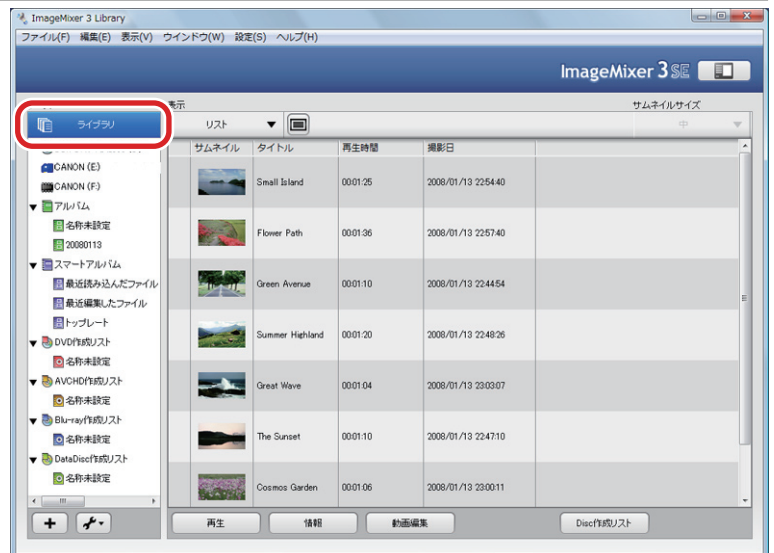
📝 条件を変更する場合

一度作成したスマートアルバムの条件を変更したい場合は、ソース・ペインで変更したいスマートアルバムを選択、右クリックして表示されるメニューから [スマートアルバムを編集 ...] を選択します。

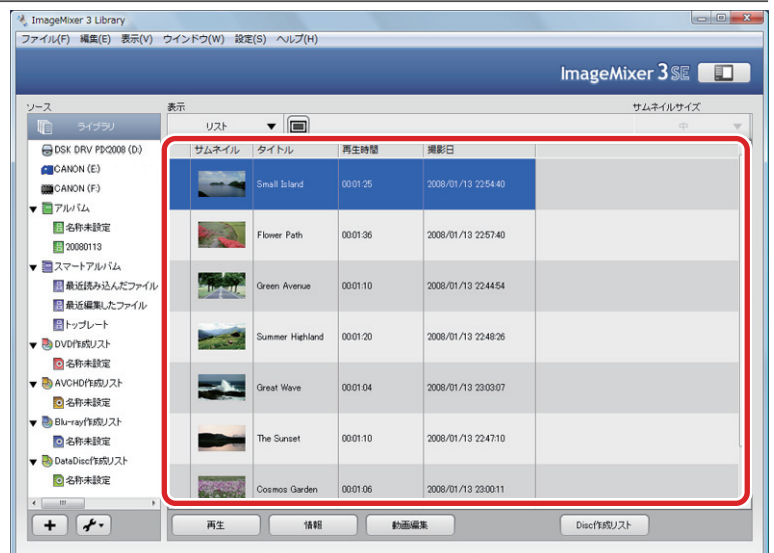
映像を削除する

ライブラリ内のファイルを削除する

1. [ライブラリ] をクリックする

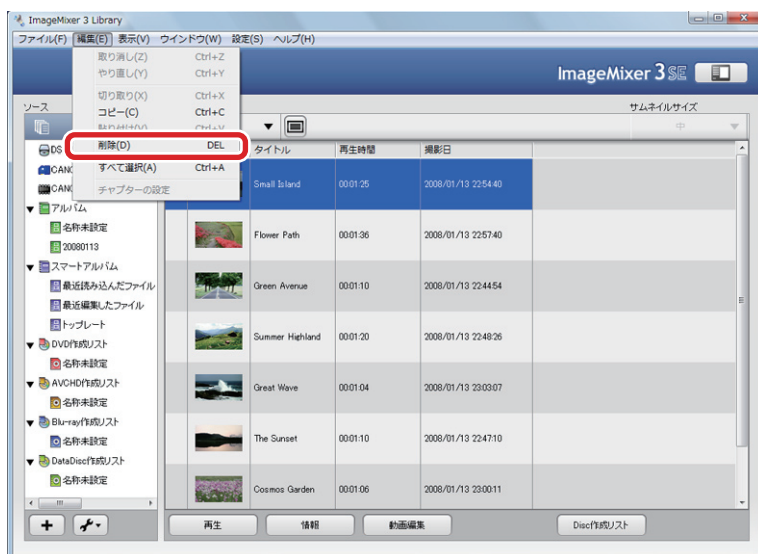


2. 削除したいファイルを選択する



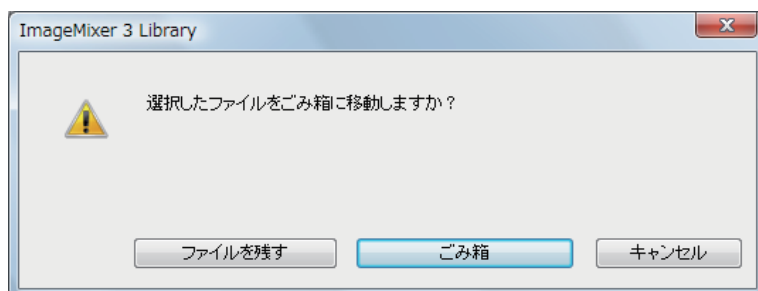
3. [編集]メニューから[削除]を選択する

➡ 確認ダイアログが表示されます。



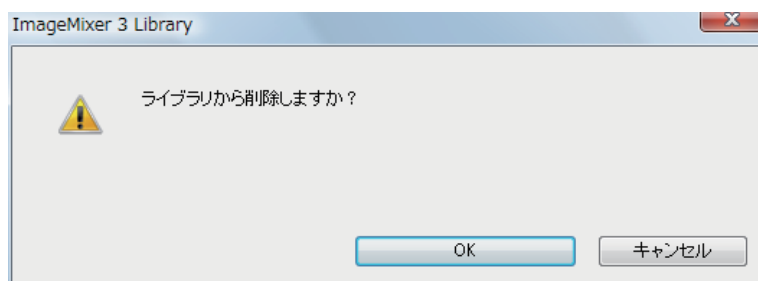
4. 削除の方法を選択する

ファイルをパソコンから削除したい場合は、[ごみ箱]を選択します。ファイルをライブラリに表示しないようにするだけの場合は、[ファイルを残す]を選択します。



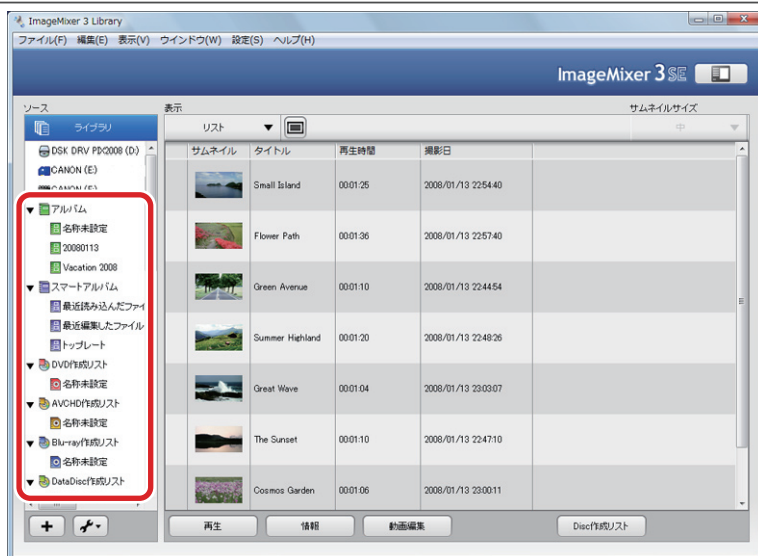
リンク情報だけのファイル

ライブラリのファイル選択画面でビデオカメラの映像を選択した場合などは、ファイルがパソコンにコピーされないで、リンク情報だけがライブラリ登録されます。このようなファイルを削除する場合は以下のダイアログが表示されます。

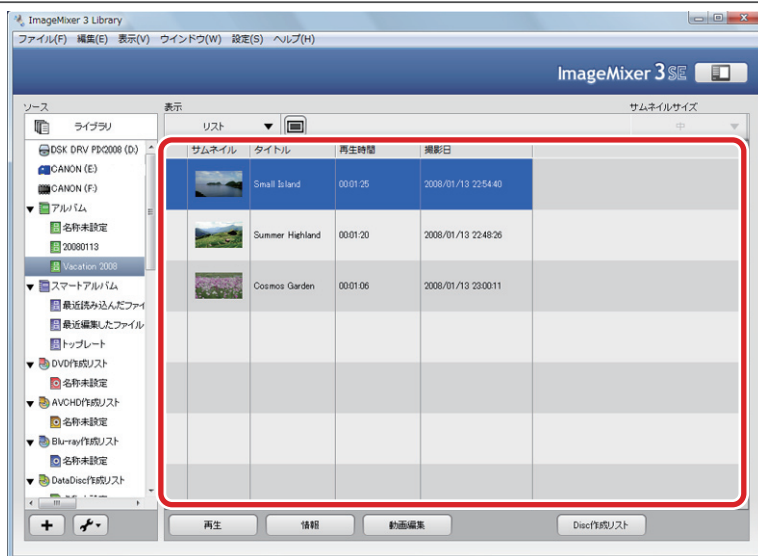


アルバム／リスト内のファイルを削除する

1. ソース・ペインのアルバム／リストをクリックする

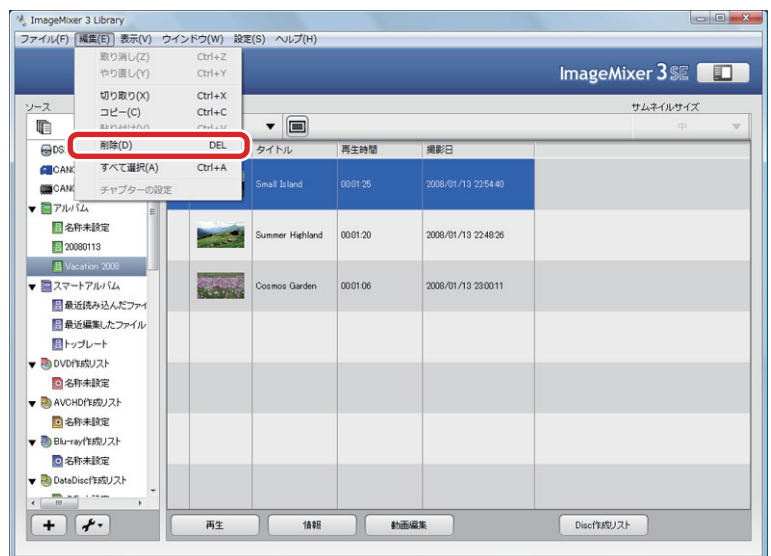


2. 削除したい映像ファイルを選択する



3. [編集]メニューから[削除]を選択する

➡ アルバム／リストから映像ファイルが削除されます。

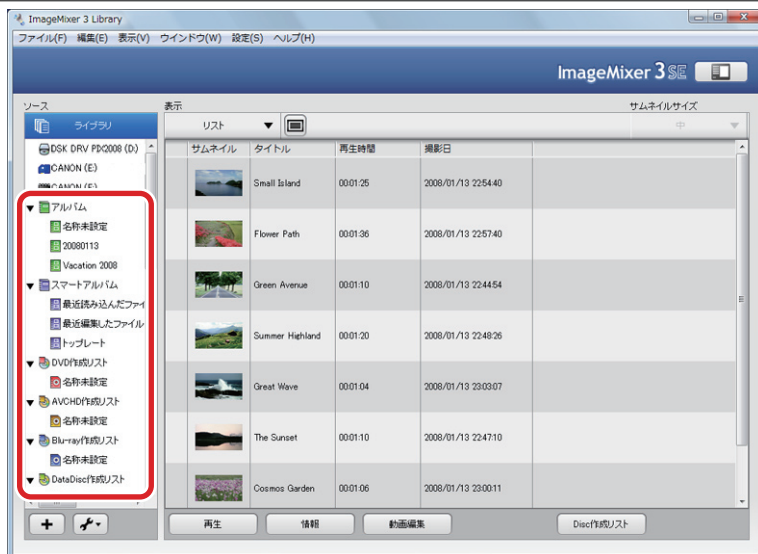


アルバム／リストから映像ファイルを削除すると ...

アルバム／リストにファイルは表示されなくなりますが、ライブラリには表示されます。スマートアルバムからファイルは削除できません。

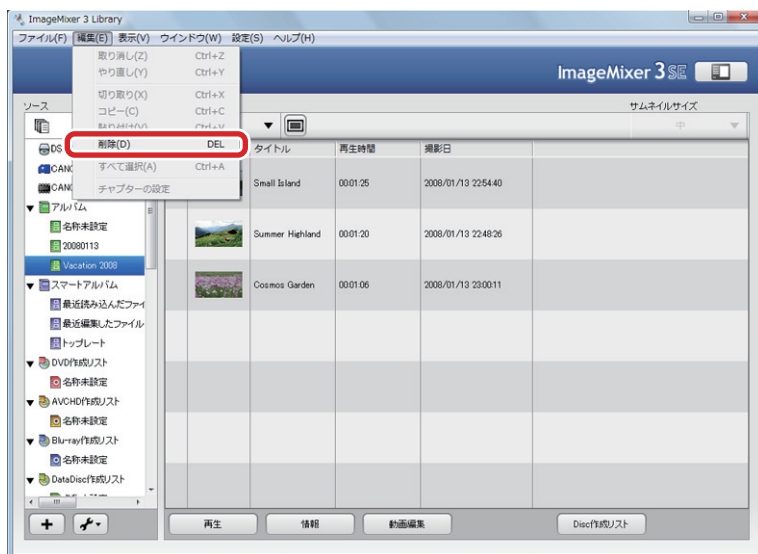
アルバム／スマートアルバム／各リストを削除する

1. 削除したいアルバム／リストを選択する



2. [編集]メニューから[削除]を選択する

➡ アルバム／リスト内にファイルがある場合は、確認ダイアログが表示されます。



 アルバム／スマートアルバム／各リストを削除すると ...

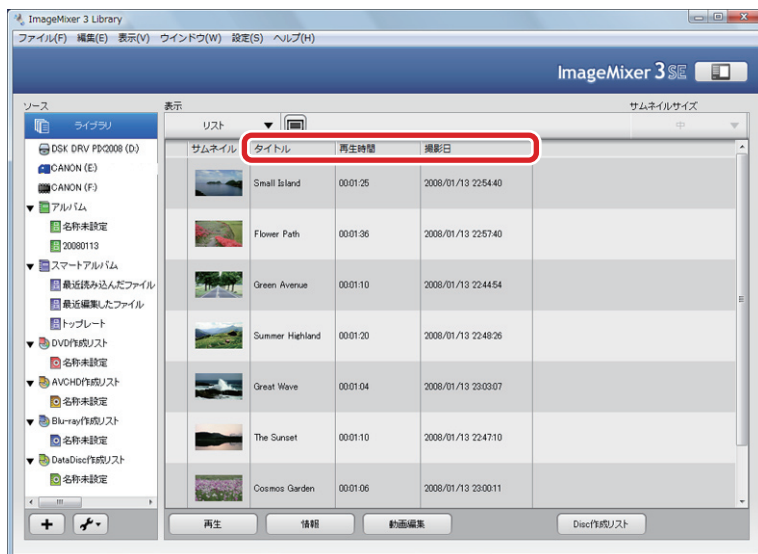
アルバム／リストは削除されますが、映像ファイルはライブラリに残ります。

いろいろな使い方

映像ファイルを並べ替える

項目名で昇順／降順に並べ替える

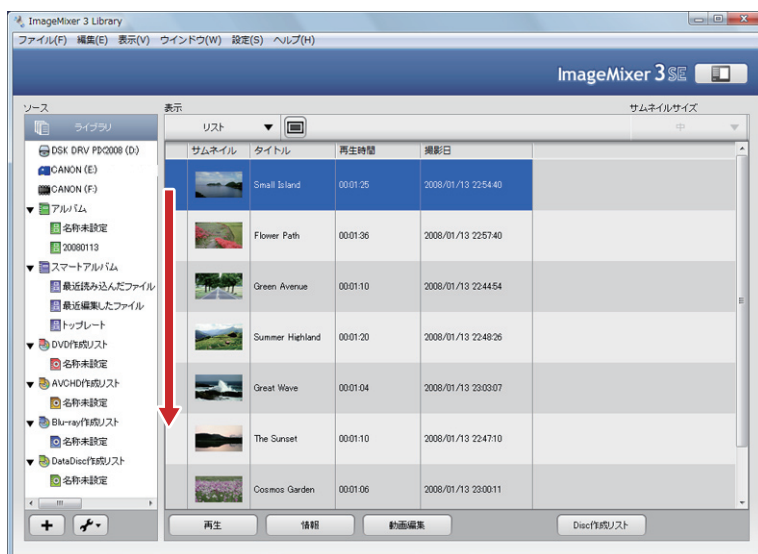
ブラウザー・ペインの項目名をクリックすると、選択した項目の昇順／降順に映像ファイルを並べ替えることができます。



ドラッグ&ドロップで並べ替える

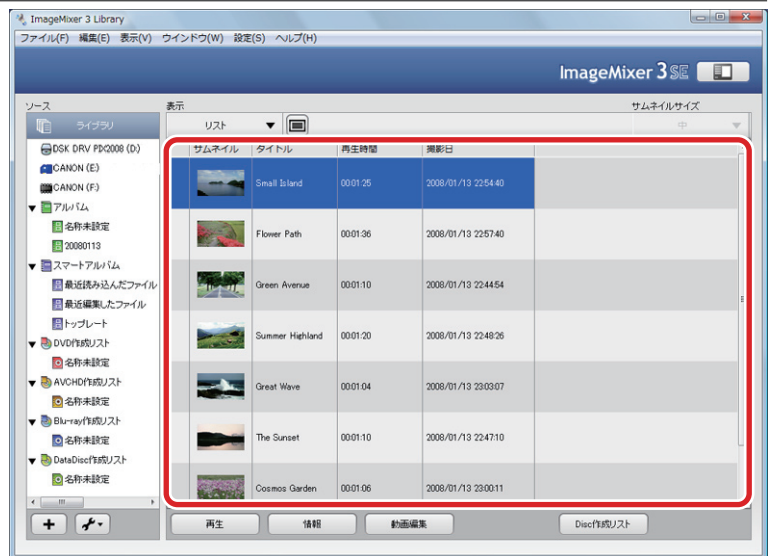
映像ファイルを選択し、移動させたい場所までドラッグします。

※ スマートアルバムではドラッグ&ドロップでの並べ替えはできません。



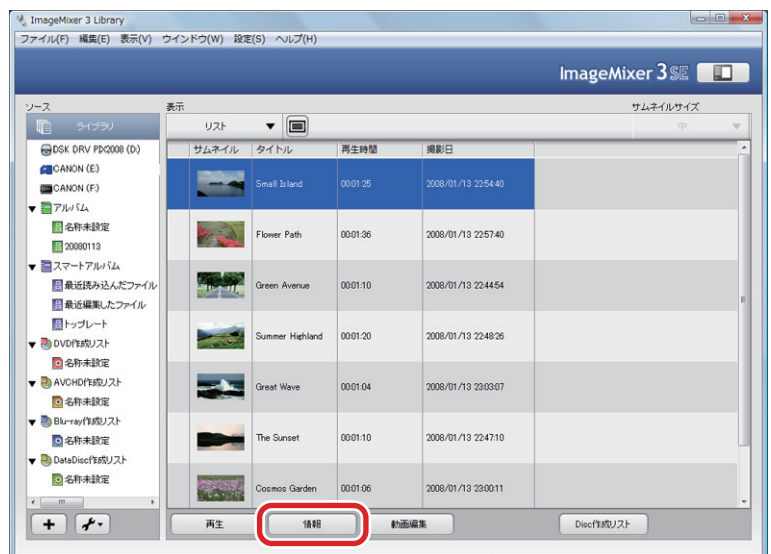
タイトル名を変更する

1. 映像ファイルを選択する



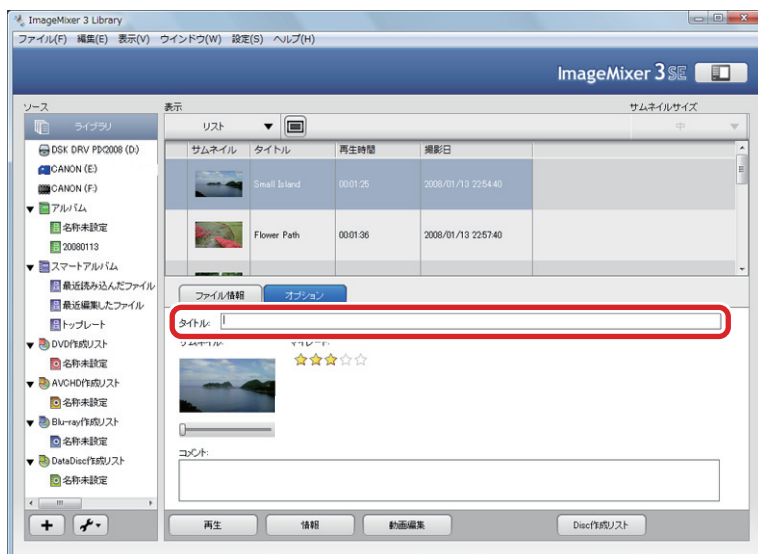
2. [情報] ボタンをクリックする

➡ 情報パネルが表示されます。



3. [オプション] タブをクリックして、[タイトル] に新しい名称を入力する

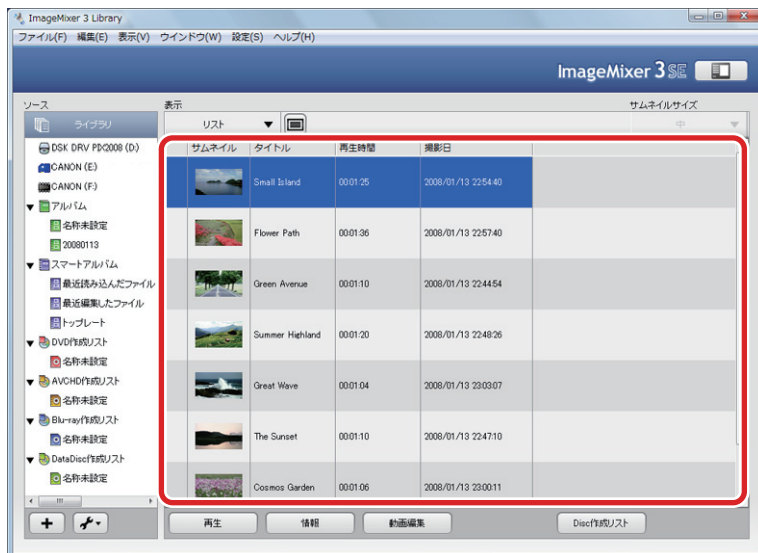
※ もう一度、[情報] ボタンをクリックすると情報パネルを閉じます。



映像の一場面を静止画として保存する

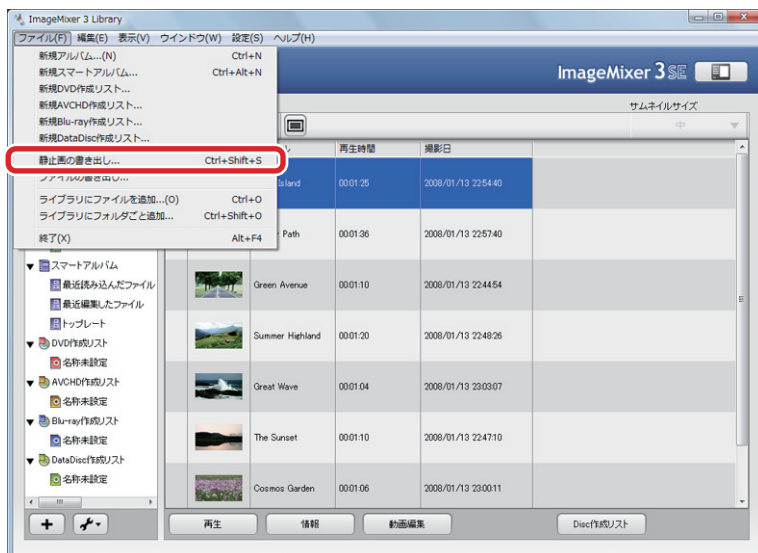
1. 映像ファイルを選択する

ライブラリ、アルバム、スマートアルバム、各リストのいずれかから映像ファイルを 1 つ選択します。



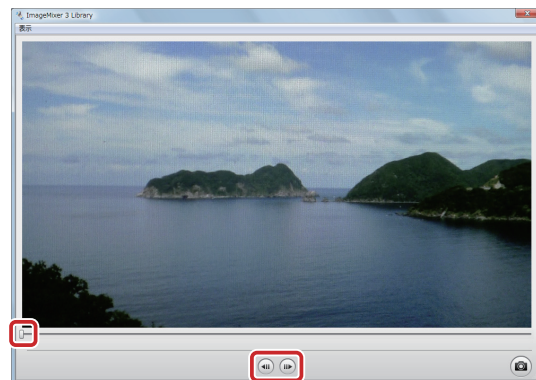
2. [ファイル] メニューから [静止画の書き出し...] を選択する

➡ プレビュー画面に選択した映像が表示されます。



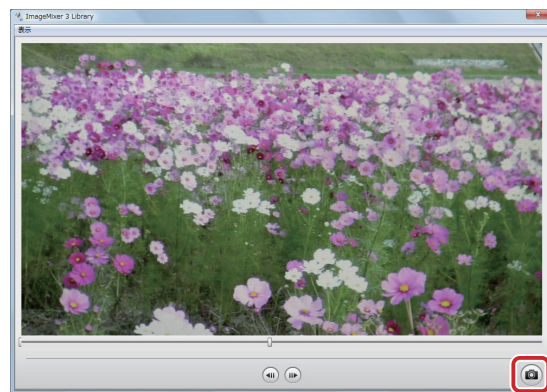
3. 保存したい場面を表示する

スライダーやコマ送りボタンで保存したい場面を表示させます。



4. [] ボタンをクリックする

➡ 静止画ファイルが保存されます。



静止画の保存先

「映像タイトル名_Capture.jpg」というファイル名で、下記に保存されます。

- Windows XP

C:\Documents and Settings\ (ユーザーアカウント名) \My Documents\My Pictures\ImageMixer 3 SE

- Windows Vista

C:\Users\ (ユーザーアカウント名) \Pictures\ImageMixer 3 SE

映像ファイルを別のフォーマットで保存する

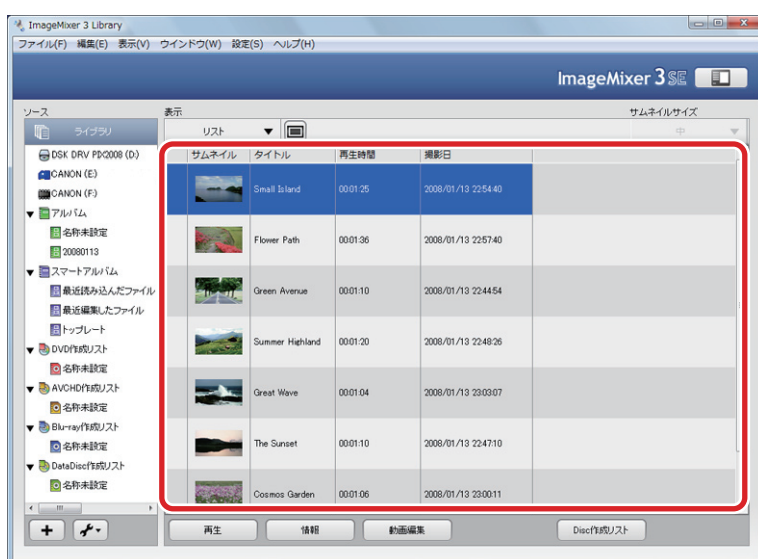
「ImageMixer 3」のライブラリに登録されている映像を目的に応じて別ファイルとして保存することができます。

別フォーマットで保存する目的

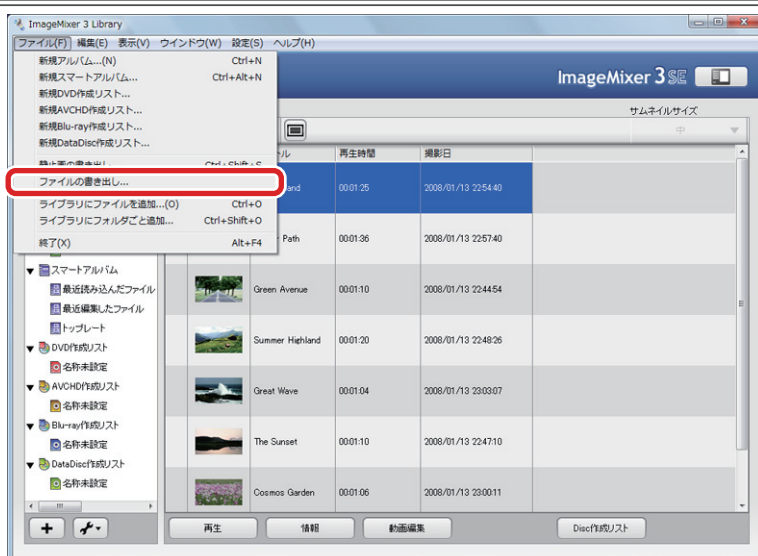
映像ファイルのサイズ、圧縮方式、解像度を変更することで、動画共有サイトへのアップロードや iPod で再生をするためのファイルを生成します。書き出したファイルは、再度、アップロードサイトや「iTunes」での変換が必要です。

1. 映像ファイルを選択する

ライブラリ、アルバム、スマートアルバムのいずれかから映像ファイルを 1 つ選択します。

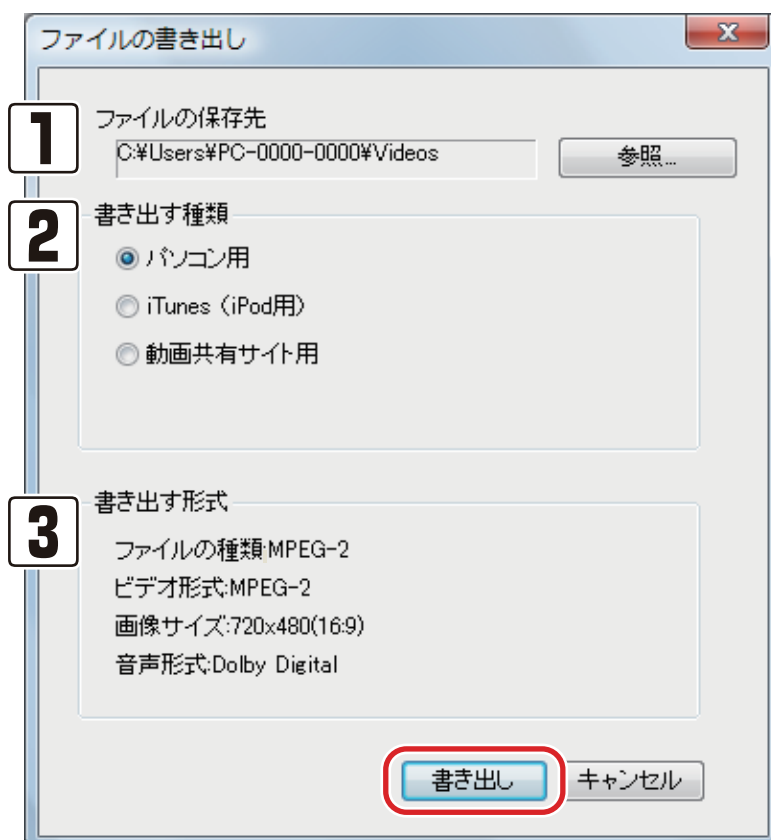


2. [ファイル] メニューから [ファイルの書き出し ...] を選択する



3. 各設定項目を選んで、[書き出し] ボタンをクリックする

➡ 指定の保存先に書き出したファイルが保存されます。



1 ファイルの保存先

[参照] ボタンをクリックして、書き出したファイルの保存先を設定します。

2 書き出す種類

書き出すファイルフォーマットを選択します。

- パソコン用
MPEG-2 ファイルを作成します。
- iTunes (iPod 用)
iTunes 経由で iPod へ転送するためのファイルを作成します。
- 動画共有サイト用
ウェブサイト上の動画共有サイトへのアップロード用にファイルを作成します。

! iTunes (iPod 用) で書き出す場合

書き出したファイルは、「iTunes」で iPod 用に変換する必要があります。

3 書き出す形式

「書き出す種類」で選択したファイルフォーマットの詳細情報が表示されます。

初期設定での保存先

初期設定では下記の場所に保存されます。

- Windows XP

C:\Documents and Settings\（ユーザーアカウント名）\ビデオ

※ [ビデオ] がない場合は、[My Documents] 直下に保存されます。

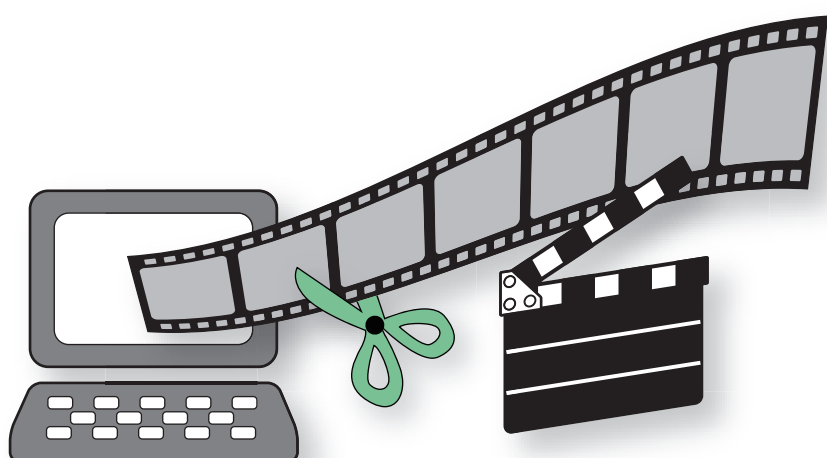
- Windows Vista

C:\Users\（ユーザーアカウント名）\Video

※ [ビデオ] がない場合は、[Documents] 直下に保存されます。

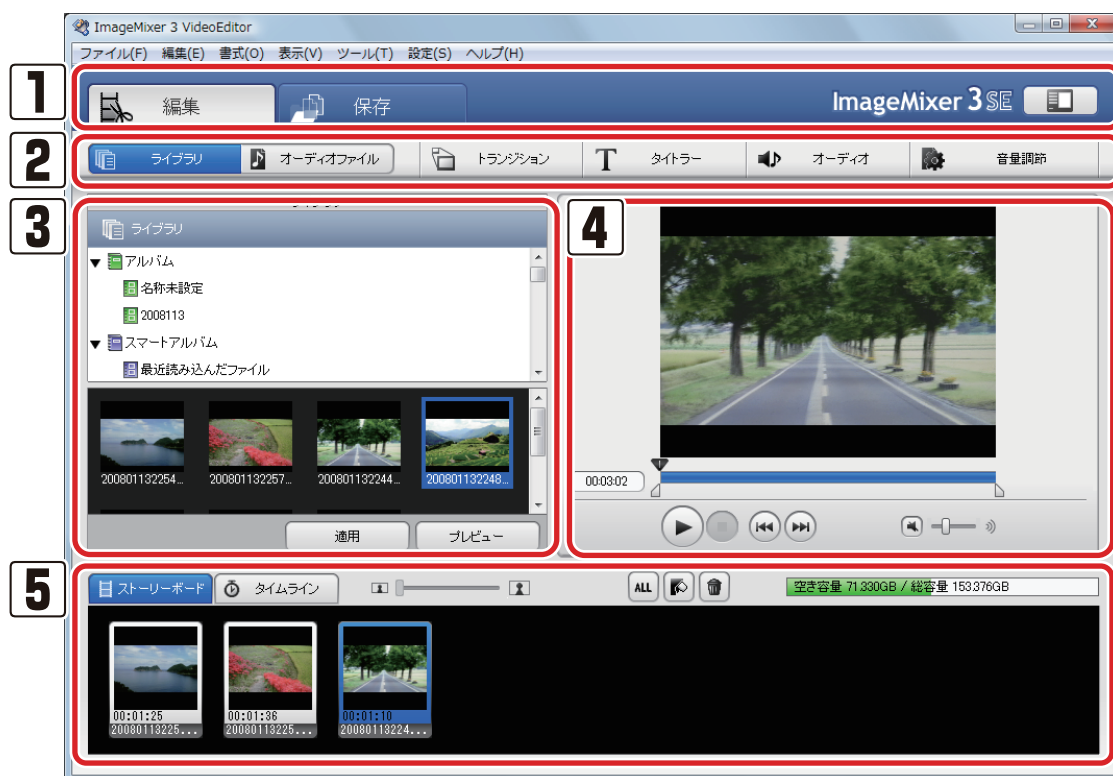
映像を編集する

この章では、複数の映像ファイルを組み合わせたり、映像さまざまな効果をつける動画編集について説明します。



基本画面

動画編集画面は以下の5つの部分から構成されています。詳細については、各部の画面説明をご参照ください。



1 モードバー

動画編集や編集した内容を保存するモードの切り換えをします。

2 機能バー

動画編集するファイルの読み込みや動画編集の種類を選択します。

3 設定パネル

機能バーで選択した設定内容が表示されます。

4 プレビューパネル

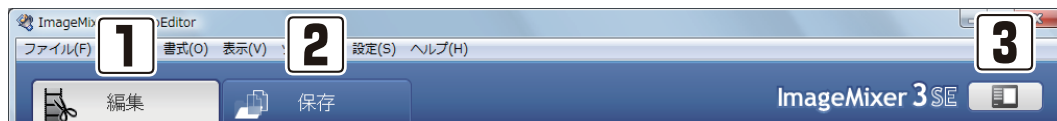
選択しているファイルの映像を確認します。

5 作業エリア

映像ファイルを配置して、再生する順番や効果の始点と終点を設定します。

画面各部

◇ モードバー ◇



1 [編集] タブ

動画編集画面を開きます。

2 [保存] タブ

編集した内容（プロジェクト）を保存する画面を開きます。

3 ImageMixer 3 ランチャーボタン

クリックすると、ライブラリ画面に戻ります。

◇ 機能バー ◇



1 [ライブラリ] ボタン

ライブラリの映像を表示します。

2 [オーディオファイル] ボタン

パソコンの中にある音声ファイルを表示します。

3 [トランジション] ボタン

場面の切り替えに効果を付けます。

4 [タイトラー] ボタン

映像に文字を加えます。

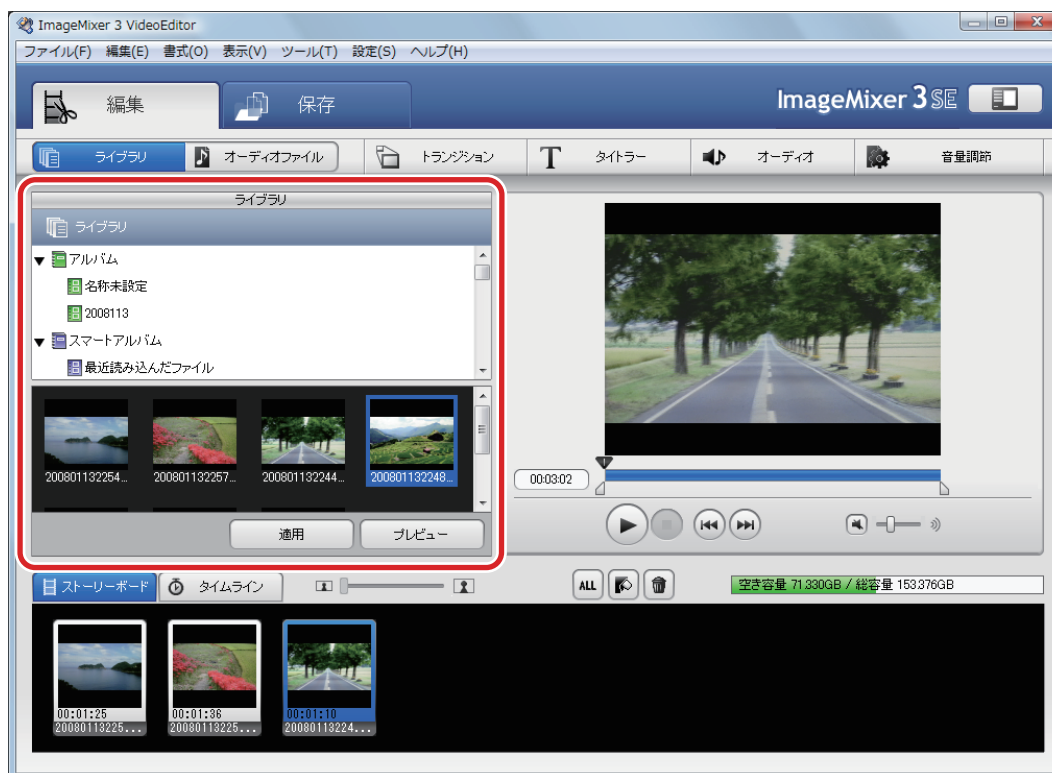
5 [オーディオ] ボタン

映像に音声を加えます。

6 [音量調節] ボタン

クリップの音声を調節します。

◇ 設定パネル ◇



※ 機能バーでクリックしたボタンによって表示が異なります。詳細については、動画編集の各設定の説明をご参照ください。

◇ プレビュー パネル ◇



1 映像ビュー

選択したファイル映像が表示されます。

2 経過時間

再生位置の時間です。

3 再生スライダー

ドラッグすることで、任意の再生位置に移動します。

4 イン点スライダー

ドラッグすることで、映像の必要な部分だけを残すときの始点を設定します。

5 アウト点スライダー

ドラッグすることで、映像の必要な部分だけを残すときの終点を設定します。

6 再生ボタン

再生／再生一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。

7 停止ボタン

再生を停止します。

8 前にスキップボタン

選択中の映像ファイルの先頭にジャンプします。

9 次にスキップボタン

選択中の映像ファイルの最後にジャンプします。

10 消音ボタン

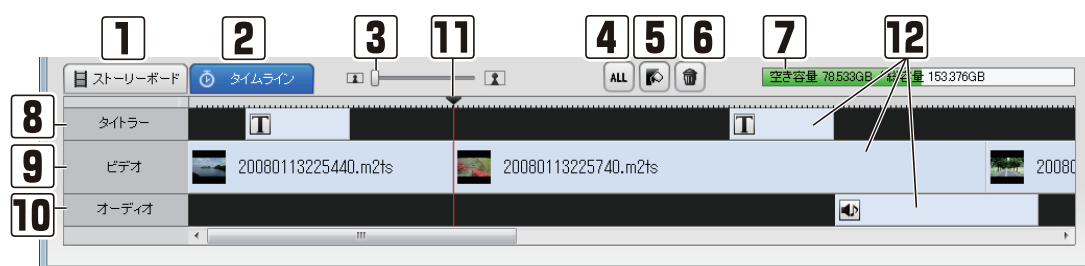
消音／消音解除します。

11 音量レベル

音量を調節します。

◇ 作業エリア ◇

下図はタイムライン表示です。



1 [ストーリーボード] タブ

動画編集において、映像ファイルの並び順を視覚的に確認するためのパネルを表示します。

2 [タイムライン] タブ

動画編集において、映像ファイルの並び順と同時に、文字の表示や BGM の開始 / 終了位置なども確認するためのパネルを表示します。

3 スケーリングスライダー

[タイムライン] タブを選択しているときに、時間経過の尺度を変更します。

4 全選択ボタン

作業エリアに配置されているすべてのファイルを選択します。

5 黒画面挿入ボタン

黒い画面を作業エリアに配置します。動画編集の最初と最後にマージンとして配置する場合などに使用します。

6 削除ボタン

選択したファイルを削除します。

7 容量表示バー

作業ディスクの空き容量を表示します。

8 タイトラー

タイトル（文字）が配置される行です。[タイムライン] タブを選択しているときに表示されます。

9 ビデオ

映像が配置される行です。[タイムライン] タブを選択しているときに表示されます。

10 オーディオ

音声配置される行です。[タイムライン]タブを選択しているときに表示されます。

11 スライダー

任意の再生位置に移動します。移動した場所の映像が映像ビューに表示されます。

12 クリップ

作業エリアに配置された映像、文字、音声はクリップと呼ばれます。



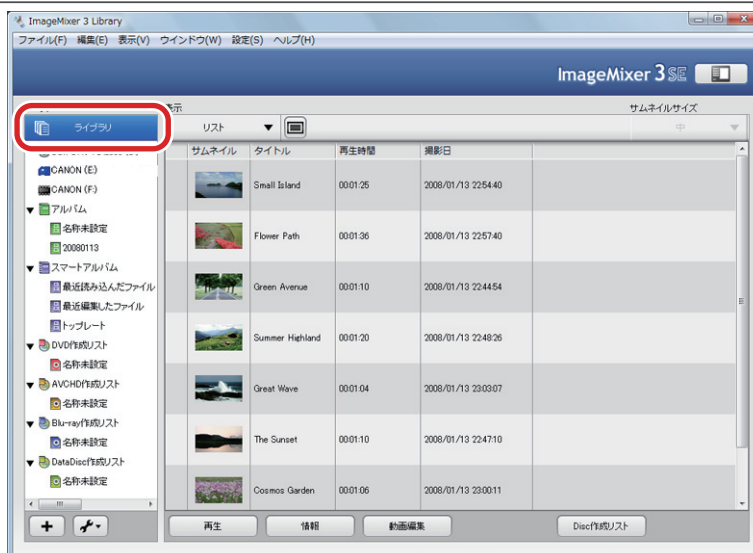
ストーリーボードとタイムラインの使い分け

ストーリーボード表示では、配置した映像がサムネイルで再生される順番に表示されるので、動画編集の最初の段階で、映像の並び順を決めるときに便利です。一方、タイムライン表示では、1つの映像ファイルが1本の線で表示されます。同時にタイトル（文字）や音声の配置も表示されますので、細かい編集をする場合に便利です。

動画編集の準備をする

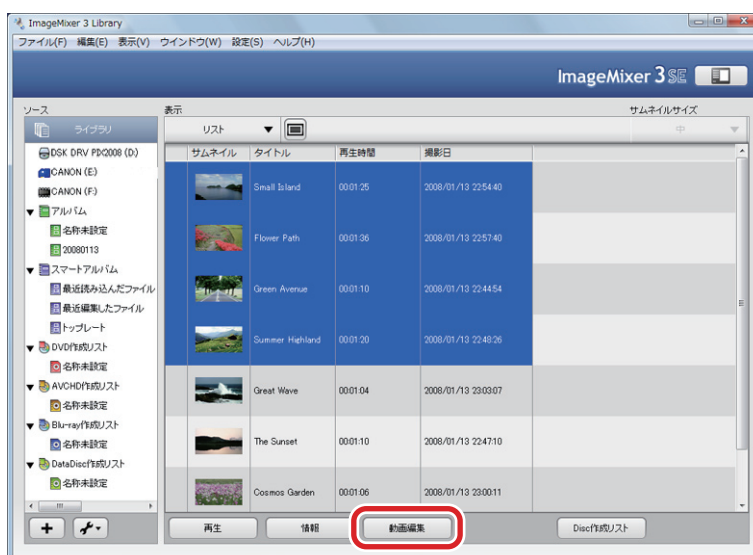
ライブラリで編集したい映像を選んで動画編集画面に移行します。

1. [ライブラリ] をクリックする



2. 編集する映像を選択して、[動画編集] をクリックする

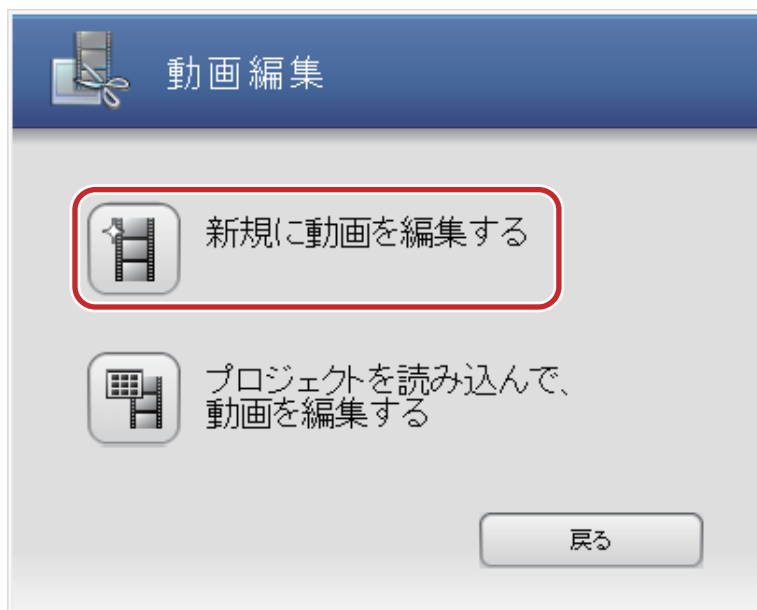
➡ 確認ダイアログが表示されます。



3. [新規に動画を編集する] をクリックする

※ 作業途中で保存した編集を再開するには、[プロジェクトを読み込んで、動画を編集する] をクリックします。

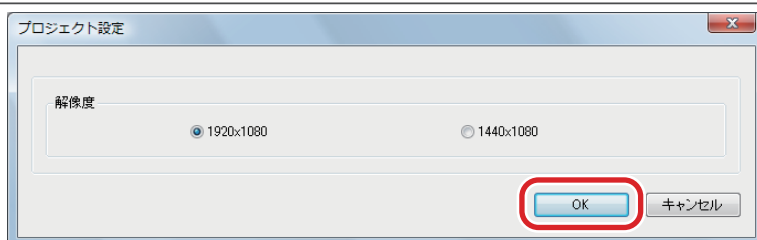
➡ プロジェクト設定画面が表示されます。



プロジェクトとは

プロジェクトとは動画編集の際に用いる用語で、動画編集の作業全体を意味します。プロジェクトを保存することで、一度作業を中断して再開することもできます。








4. 解像度を選択して、[OK] ボタンをクリックする



解像度とは

動画編集の結果を 1 つのファイルに書き出したときの画面サイズです。

以降は必要に応じて、以下の編集を行います。

-  再生の順番を並べ替える P95
-  不要な場면을カットする（トリミング） P96
-  場面の切り替えに効果をつける（トランジション） P102
-  映像に文字を加える（タイトラー） P106
-  映像に音楽を加える（BGM） P112
-  映像に音声を加える（アフレコ） P114
-  映像の音量を調節する（フェードイン／フェードアウト） P117

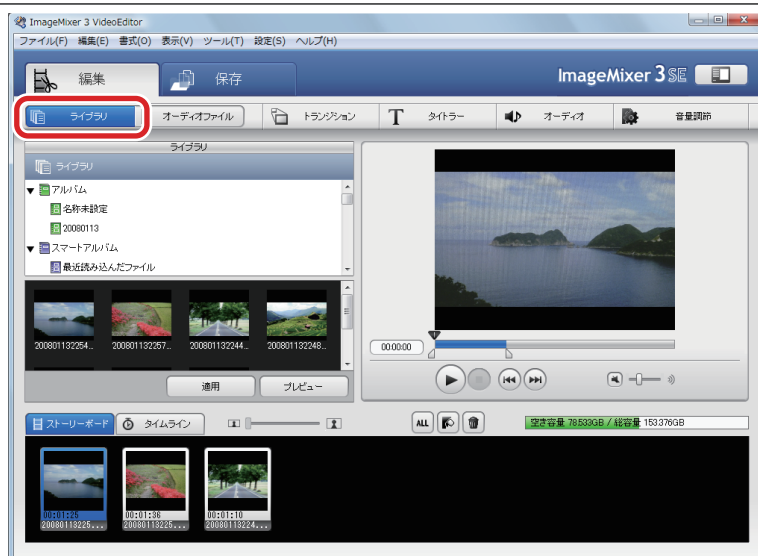
クリップを追加／削除する

クリップとは、動画編集に用いる映像および音声ファイルを指します。ライブラリ画面で、映像ファイル選択して動画編集に移行すると、クリップが配置されます（P90）。ここでは、動画編集画面に移行した後からクリップを追加／削除する場合について説明します。

※ この操作はストーリーボード表示、タイムライン表示のどちらでも行えます。

クリップを追加する

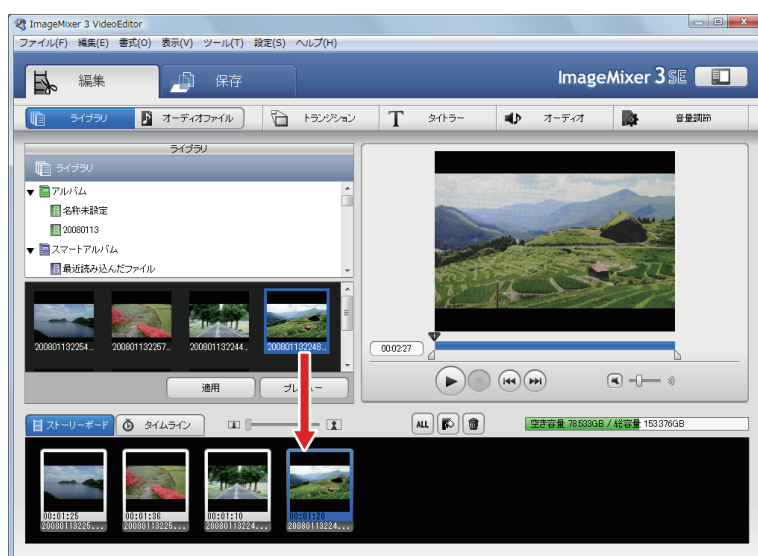
1. [ライブラリ] ボタンをクリックする



2. 使いたいクリップを配置する

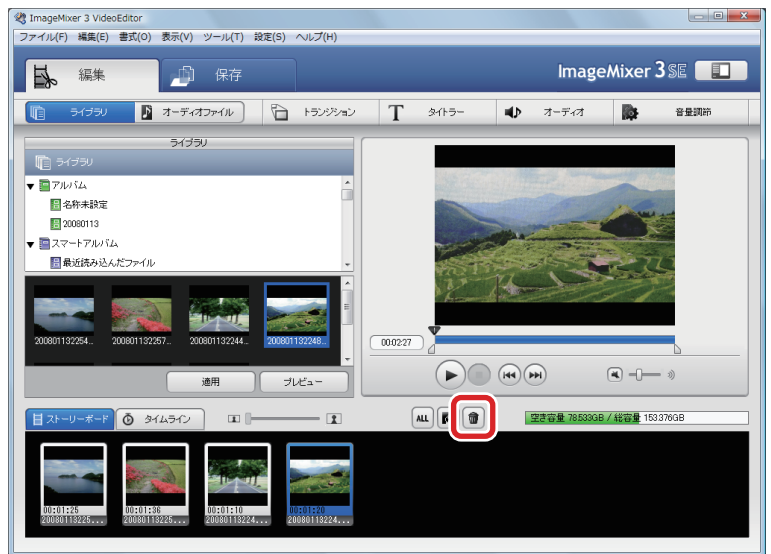
設定パネルの上段でフォルダを選択し、下段から動画編集に使うファイルを作業エリアにドラッグ＆ドロップします。

※ Windows のエクスプローラーからのドラッグ＆ドロップでは配置できません。



クリップを削除する

削除したいクリップを選択して、[] ボタンをクリックします。



再生の順番を並べ替える

クリップの順番を並べ替えることで、再生する順番を入れ替えることができます。

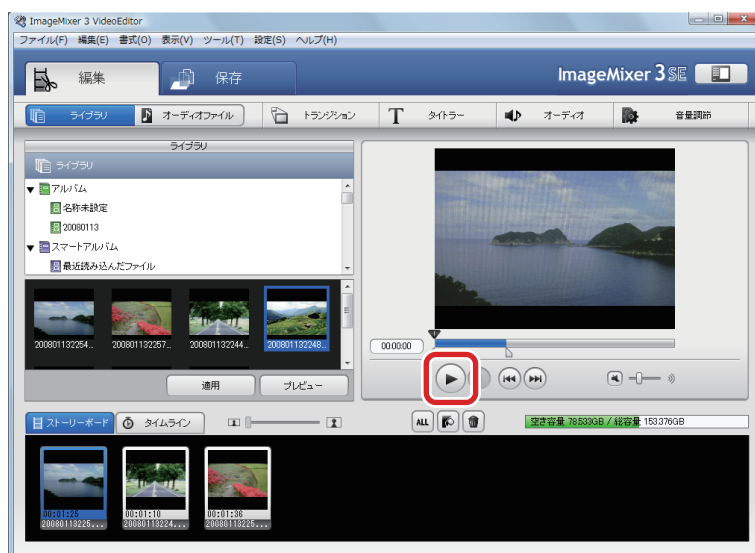
※ この操作はストーリーボード表示、タイムライン表示のどちらでも行えます。

※ クリップをドラッグしながらスクロールすることはできません。

1. ドラッグ&ドロップしてクリップを並べ替える



2. [▶] ボタンで結果を確認する



 編集した結果を 1 つの映像ファイルに書き出す場合は、P122 をご参照ください。

不要な場面をカットする（トリミング）

映像ファイルの不要な場面をカットして必要な部分だけを残すことができます。

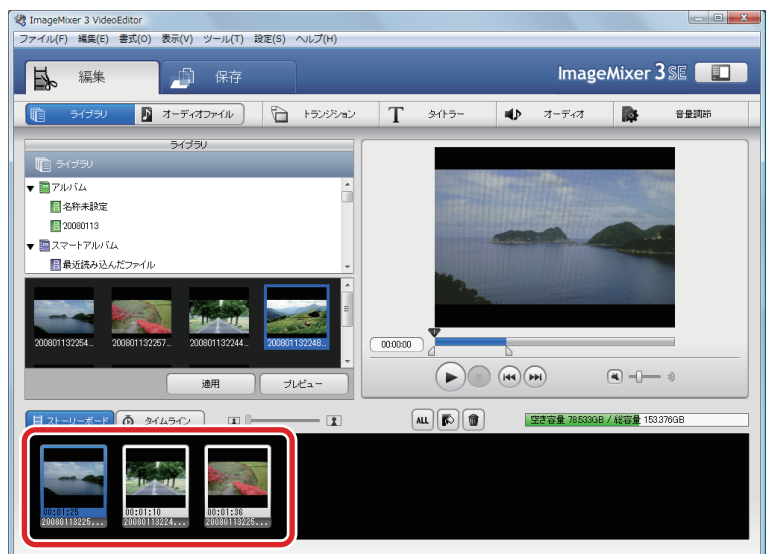
※ この操作はストーリーボード表示、タイムライン表示のどちらでも行えます。

編集された映像ファイルについて

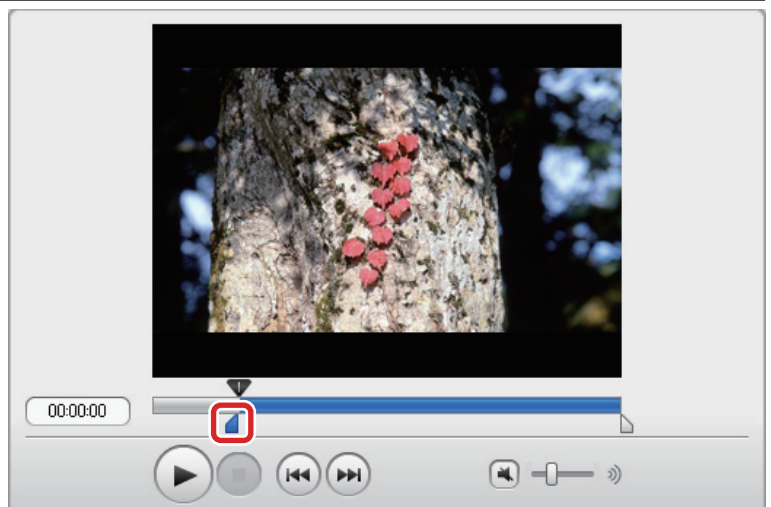
編集後の映像は別ファイルとして保存されるため、元の映像はそのままライブラリに残ります。

1 つのファイルから 1 シーンだけを抜き出す

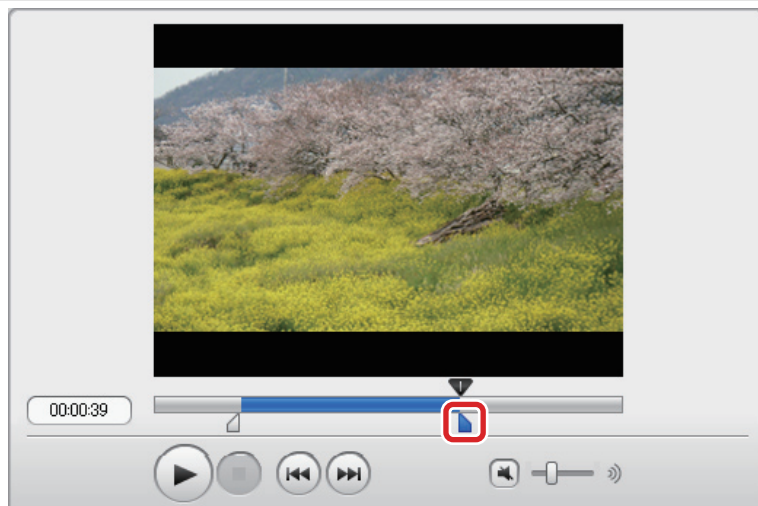
1. トリミングしたいクリップをクリックする



2. イン点スライダーで残したい場面の始点を調節する

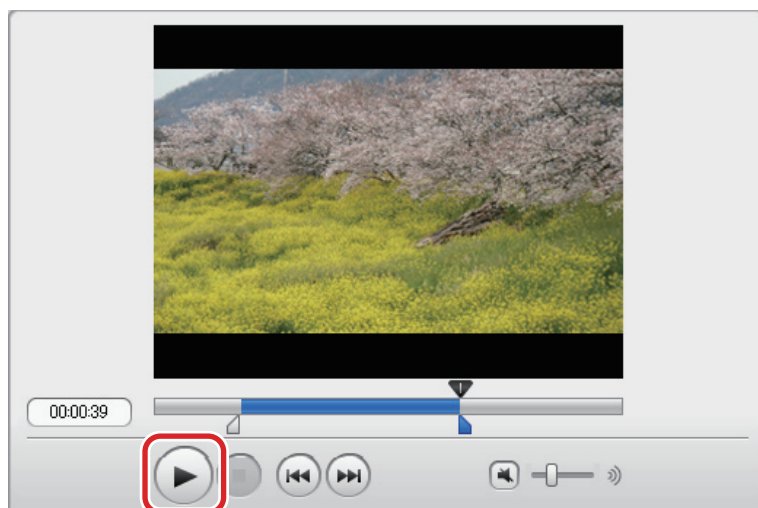


3. アウト点スライダーで残したい場面の終点を調節する



4. トリミング後の内容を確認する

[] ボタンをクリックして、内容を確認します。



 編集した結果を 1 つの映像ファイルに書き出す場合は、P122 をご参照ください。

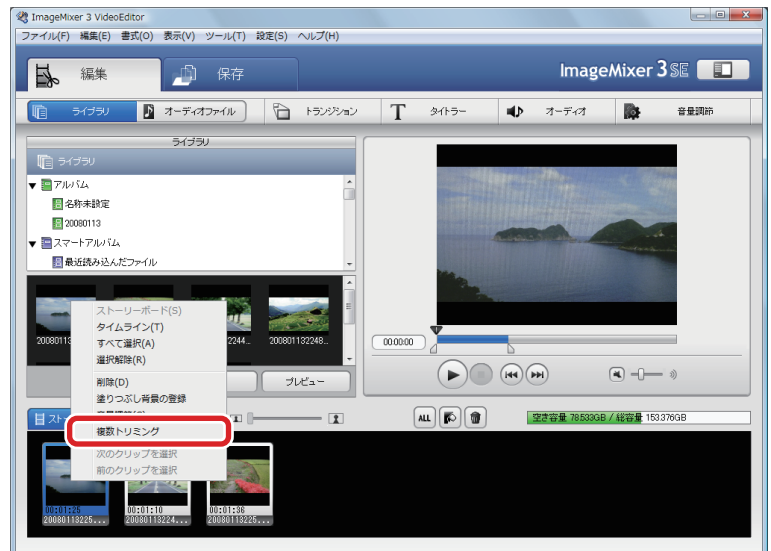
タイムライン表示でのトリミング

タイムライン表示の場合は、作業エリアにあるクリップの前端／後端をドラッグすることでもトリミングができます。前端と後端の間が狭くなり、クリップを選択しにくい場合は、手前のクリップを右クリックして、[次のクリップを選択] を選び、イン点／アウト点スライダーで調整してください。

1 つのファイルから複数のシーンを抜き出す

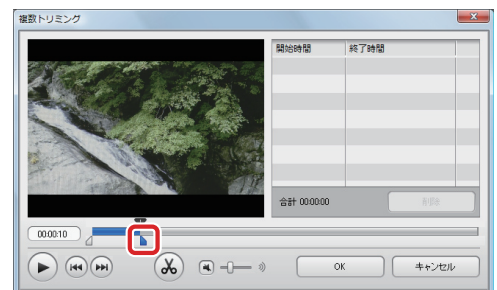
1. トリミングしたいクリップを右クリックして、[複数トリミング] を選択する

➡ 複数トリミング画面が表示されます。

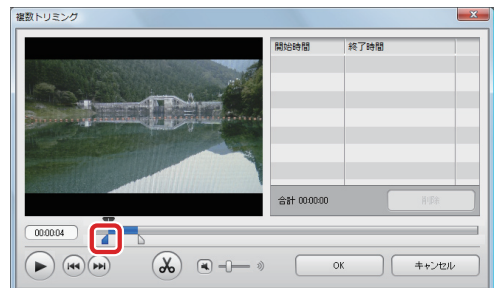


2. アウト点スライダーで残したい場面の終点を調節する

※ 終点側から設定するのでご注意ください。



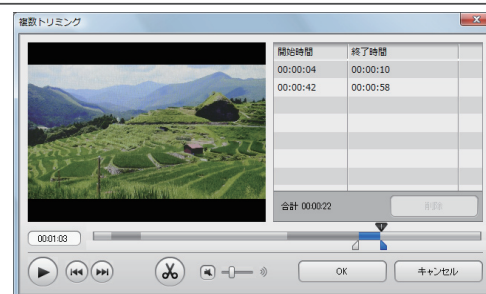
3. イン点スライダーで残したい場面の始点を調節する



4. [✂] ボタンをクリックする

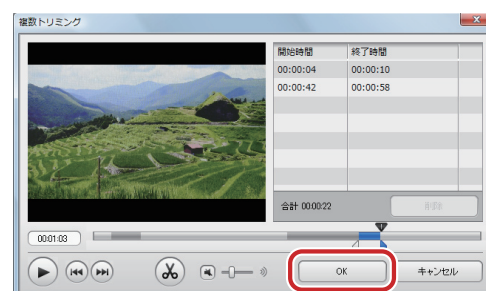


5. 手順 2 ～ 4 を必要に応じて繰り返す



6. [OK] ボタンをクリックする

➡ トリミング箇所のクリップが作業エリアに配置されます。



 編集した結果を 1 つの映像ファイルに書き出す場合は、P122 をご参照ください。

◇ 複数トリミング画面 ◇



1 映像ビュー

選択したファイル映像が表示されます。

2 経過時間

再生位置の時間です。

3 再生スライダー

ドラッグすることで、任意の再生位置に移動します。

4 イン点スライダー

ドラッグすることで、映像の必要な部分だけを残すときの始点を設定します。

5 アウト点スライダー

ドラッグすることで、映像の必要な部分だけを残すときの終点を設定します。

6 リスト

トリミング箇所の開始時間と終了時間が表示されます。

7 [削除] ボタン

リスト内で選択されているトリミング箇所を削除します。

8 再生ボタン

再生／再生一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。

9 前にスキップボタン

一つ前のトリミング箇所の先頭にジャンプします。前にトリミング箇所がない場合は、映像ファイルの先頭にジャンプします。

10 次にスキップボタン

一つ後のトリミング箇所の先頭にジャンプします。後にトリミング箇所がない場合は、映像ファイルの最後にジャンプします。

11 カットボタン

イン点、アウト点で指定されたトリミング箇所を決定します。

12 消音ボタン

消音／消音解除します。

13 音量レベル

音量を調節します。

14 [OK] ボタン

リスト上のトリミング箇所のクリップを作業エリアに配置します。

15 [キャンセル] ボタン

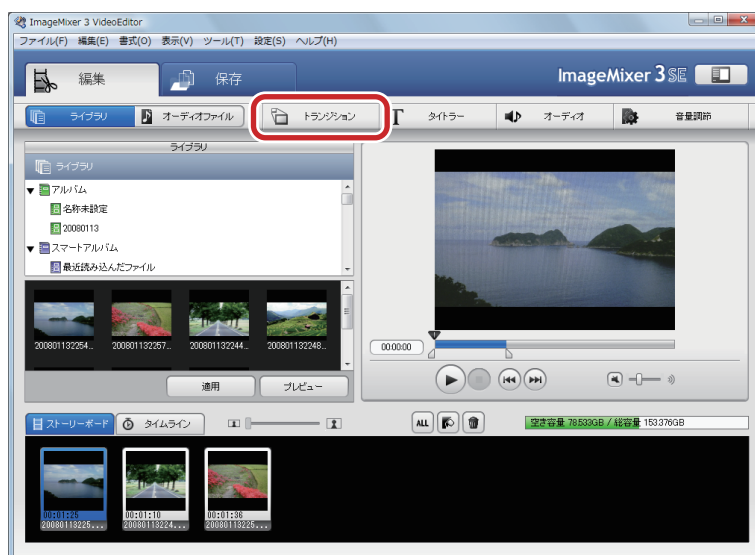
トリミング箇所のクリップを配置しないで動画編集画面に戻ります。

場面の切り替えに効果をつける（トランジション）

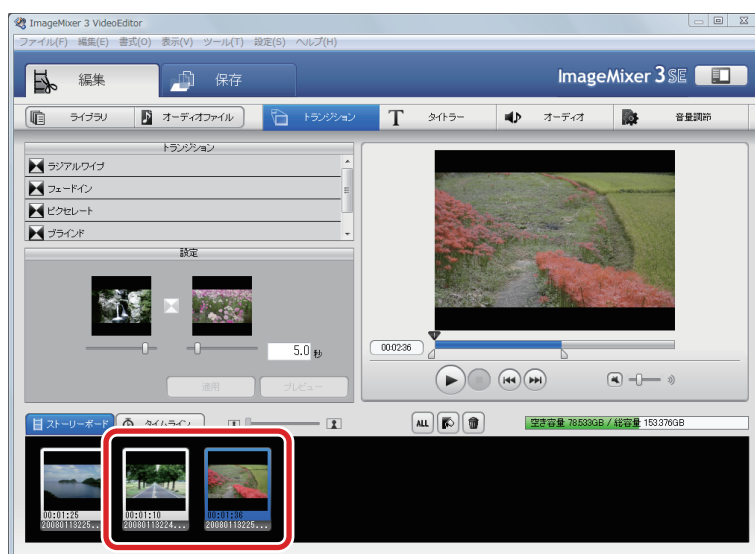
場面が切り替わるときの効果（トランジション）を付けることができます。トランジションは、連続する2つのクリップにまたがって設定されます。設定することで、前のクリップの最後の部分と後ろのクリップの最初の部分に視覚的な効果が入ります。

※ この操作はストーリーボード表示、タイムライン表示のどちらでも行えます。

1. [トランジション] ボタンをクリックする

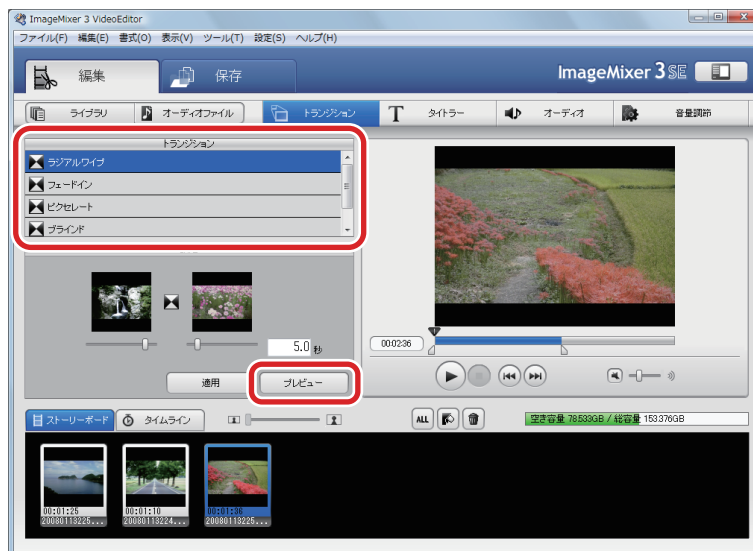


2. トランジションを付けたい2つのクリップのうち、後ろのクリップを選択する

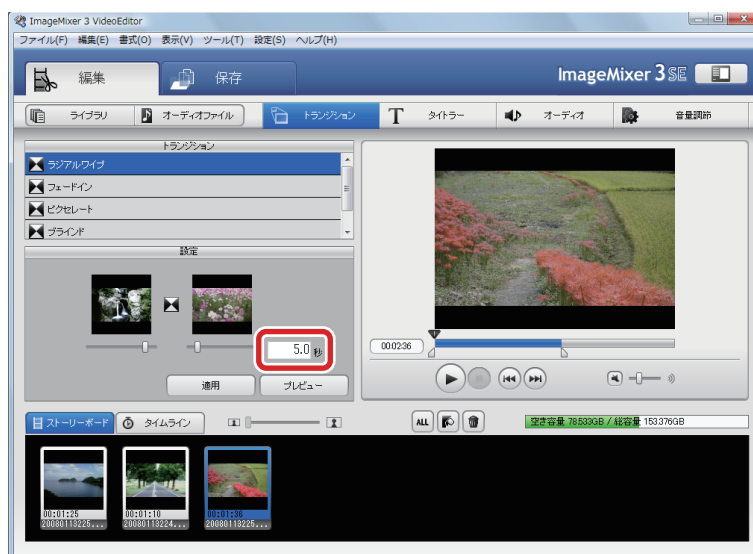


3. トランジションの種類を選択する

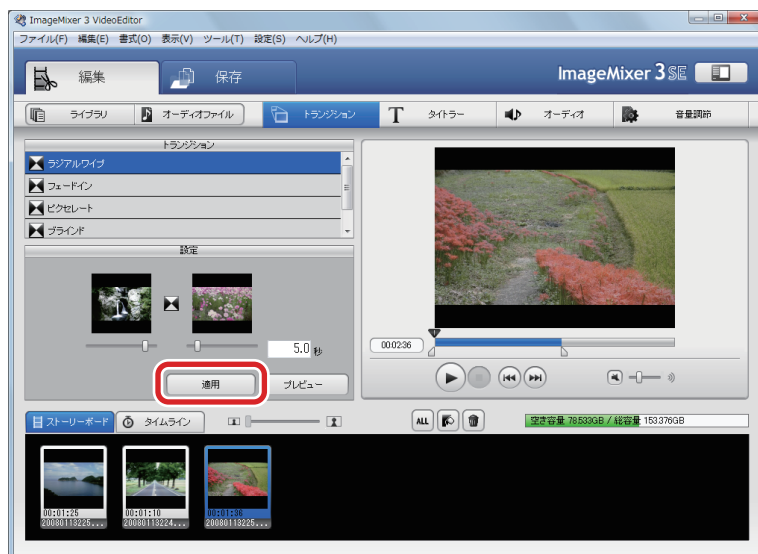
トランジションを選択して[プレビュー]をクリックすることで、場面の切り替わり方を確認できます。



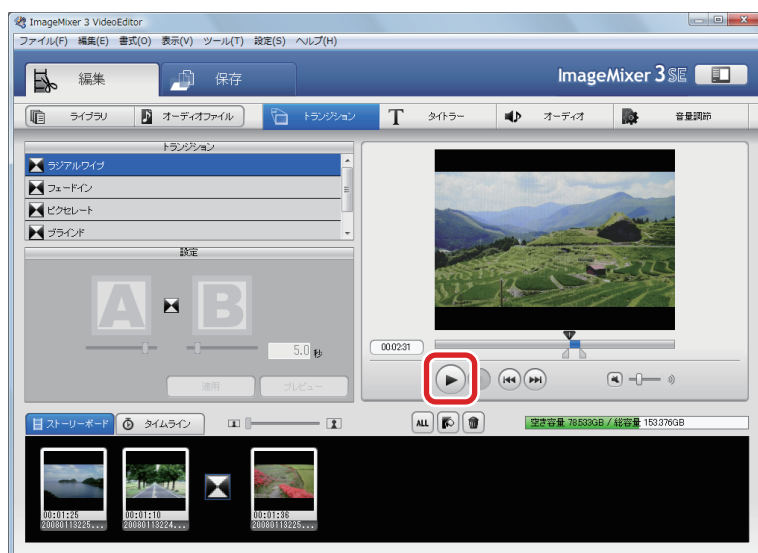
4. トランジションの表示時間を入力する



5. [適用] ボタンをクリックする



6. [▶] ボタンで結果を確認する



 編集した結果を1つの映像ファイルに書き出す場合は、P122をご参照ください。

! トランジションが適用されているクリップについて

トランジションが適用されているクリップを移動したり、2つのクリップの間に別のクリップを挿入すると、トランジションはキャンセルされます。トランジションが適用されているクリップをトリミングする場合には、トランジションを削除してから行ってください。

設定したトランジションを変更するには

トランジションの後ろのクリップを選択することで、トランジションを再設定できます。

◇ トランジションパネル ◇



1 トランジションリスト

トランジションの種類を選択します。

2 トランジション始点

トランジションの始点の映像が表示されます。

3 トランジション終点

トランジションの終点の映像が表示されます。

4 トランジション時間バー

ドラッグすることで、トランジションの始点 / 終点を映像を見ながら変更できます。同時にトランジション時間も自動的に変更されます。

5 トランジション時間

トランジションの時間を入力します。

6 [適用] ボタン

トランジションを適用します。

7 [プレビュー] ボタン

トランジションの結果が映像ビューに表示されます。

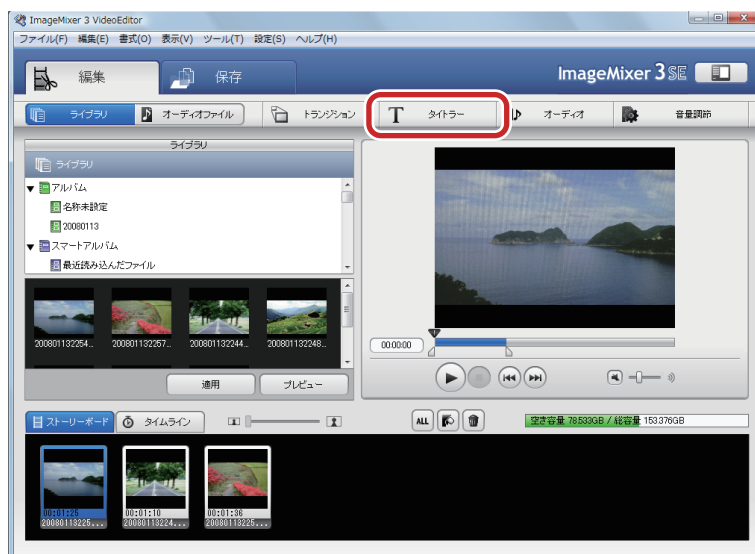
映像に文字を加える（タイトラー）

映像の任意の場所に文字を表示することができます。編集した映像のタイトルや日付、テロップなどとして利用できます。

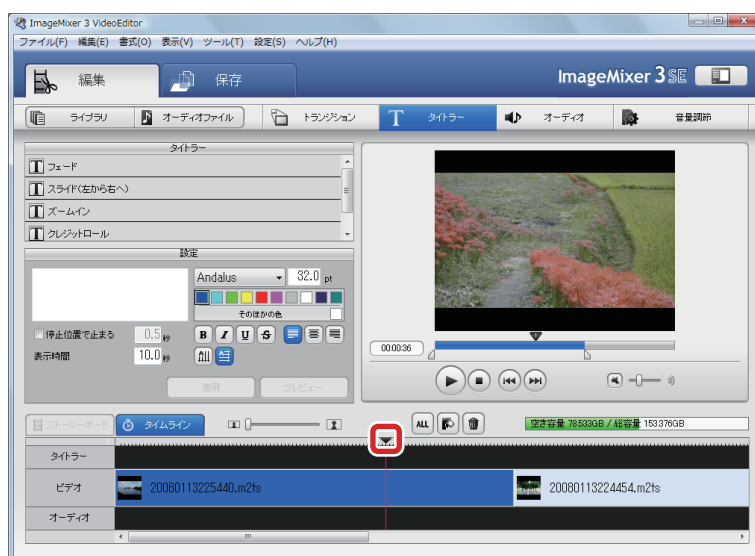
※ この操作はタイムライン表示で行います。

1. [タイトラー] ボタンをクリックする

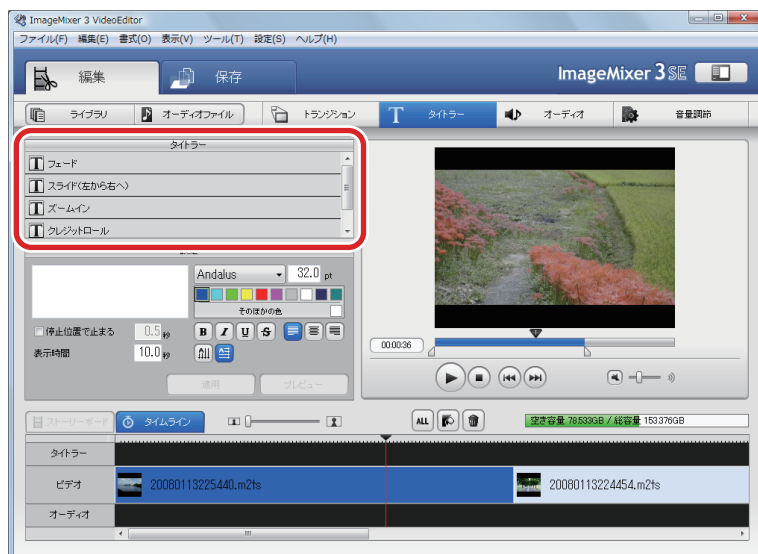
※ ストーリーボード表示の場合は、タイムライン表示に切り換わります。ストーリーボード表示に戻る場合は、[ライブラリ]をクリックしてください。



2. 文字の表示を開始したい位置にスライダーを移動する



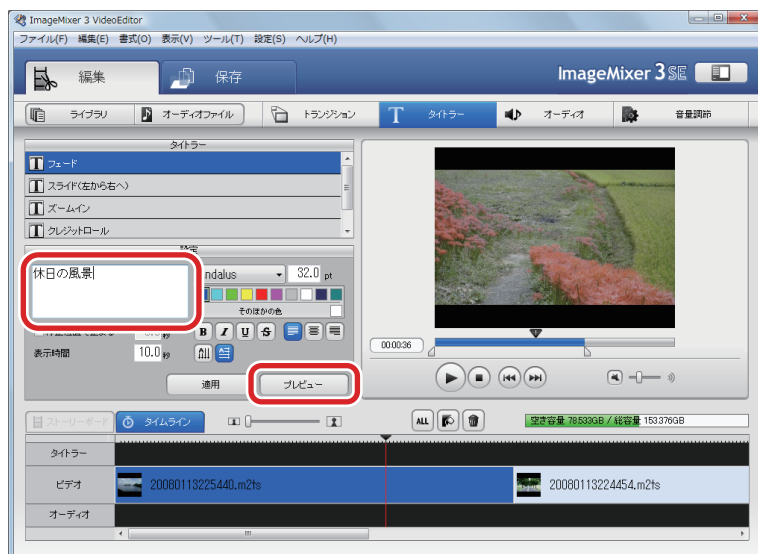
3. タイトラーの種類を選択する



4. 文字を入力する

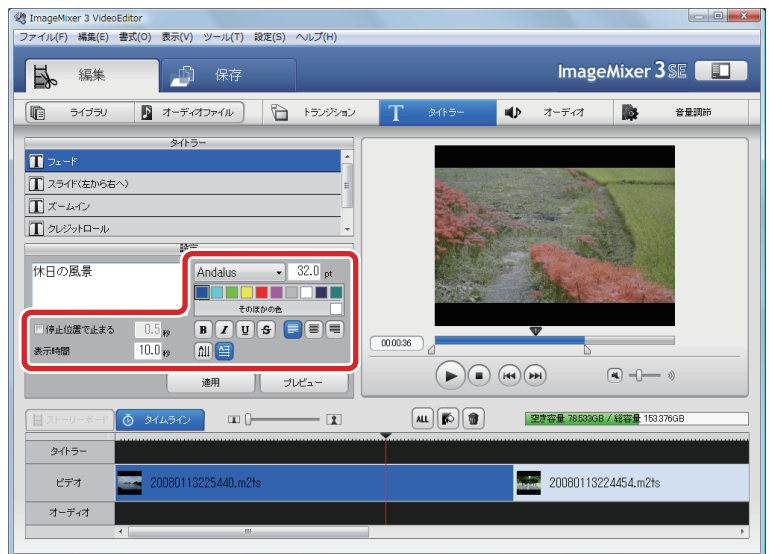
最大 64 文字まで入力できます。また、タイトラーを選択して[プレビュー]をクリックすることで、文字の表示のされ方を確認できます。

※ 文字数が多い場合は、適宜改行してください。

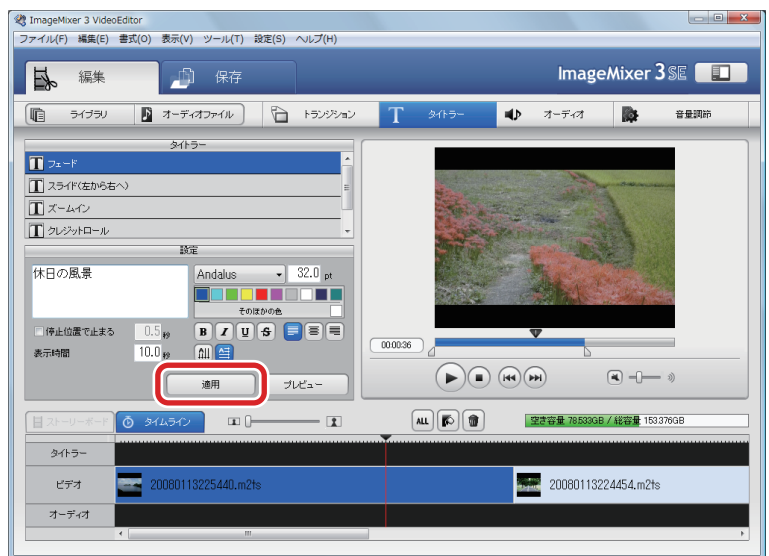


5. 文字の設定をする

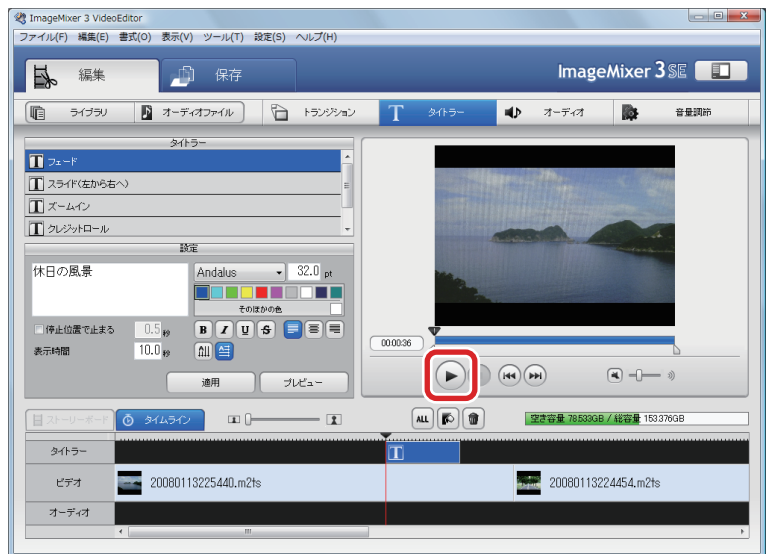
フォント、文字サイズ、色、表示時間などを設定します。



6. [適用] ボタンをクリックする



7. [▶] ボタンで結果を確認する



 編集した結果を 1 つの映像ファイルに書き出す場合は、P122 をご参照ください。

◇ タイトラーパネル ◇



1 タイトラーリスト

文字の動きを選択します。

2 テキストボックス

映像に表示する文字を入力します。

3 フォントメニュー

文字のフォントを選択します。

4 文字サイズ

文字サイズを入力します。

5 カラーパレット

文字色を選択します。

6 [停止位置で止まる] チェックボックス / 指定時間

タイトラーの途中で文字を停止させるかを設定します。設定する場合は、0.5 秒から設定した表示時間の間で停止時間を入力します。

7 表示時間

文字の表示時間を入力します。0.5 秒～ 10 秒の間で表示時間を入力します。

8 文字スタイル

文字のスタイル（太字、斜体、下線、取消線）を設定します。

9 行揃え

文字の行揃え（左揃え、中央揃え、右揃え）を設定します。

10 文字方向

縦書きと横書きの設定をします。

11 [適用] ボタン

タイトラーを適用します。

12 [プレビュー] ボタン

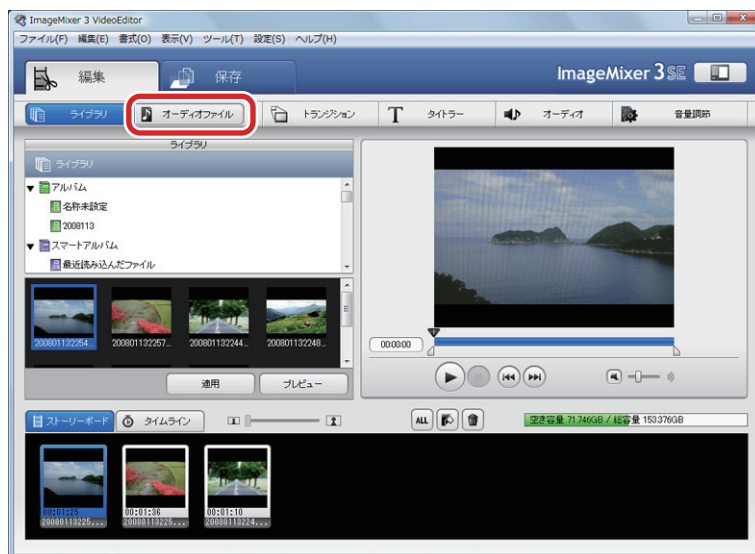
タイトラーの結果が映像ビューに表示されます。

映像に音楽を加える (BGM)

※ この操作はタイムライン表示で行います。

1. [オーディオファイル] ボタンをクリックする

※ ストーリーボード表示の場合は、タイムライン表示に切り換わります。ストーリーボード表示に戻る場合は、[ライブラリ]をクリックしてください

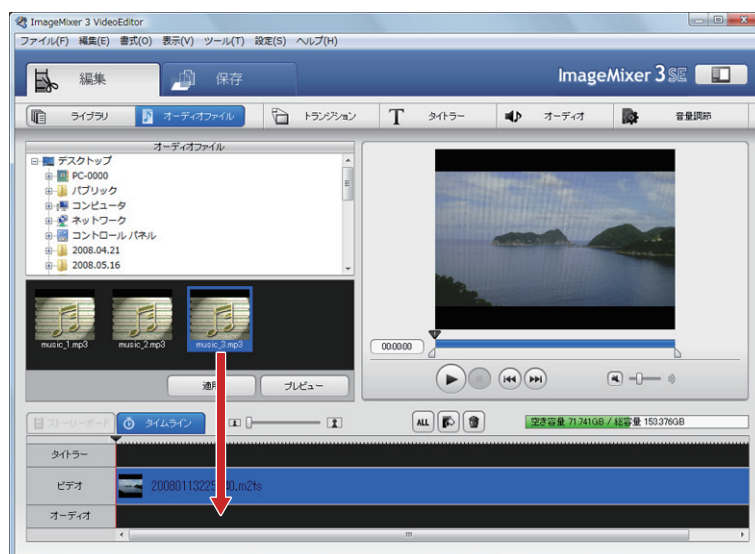


2. 使いたい音楽を配置する

設定パネルの上段でフォルダを選択し、下段から動画編集に使う音楽ファイルを作業エリアにドラッグ&ドロップします。

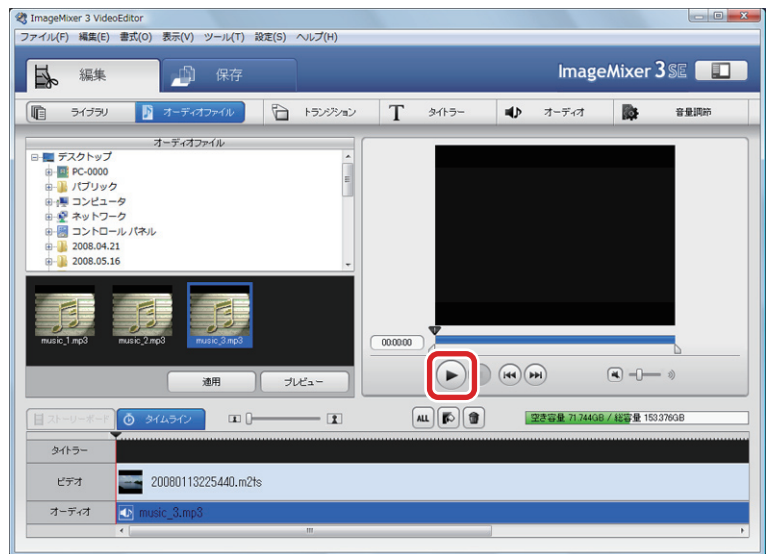
配置できる音楽クリップの種類

拡張子が .wav または .mp3 のファイルを配置できます。



3. [▶] ボタンで結果を確認する

音楽のクリップを左右にドラッグすることで、開始位置を変更できます。



 編集した結果を 1 つの映像ファイルに書き出す場合は、P122 をご参照ください。

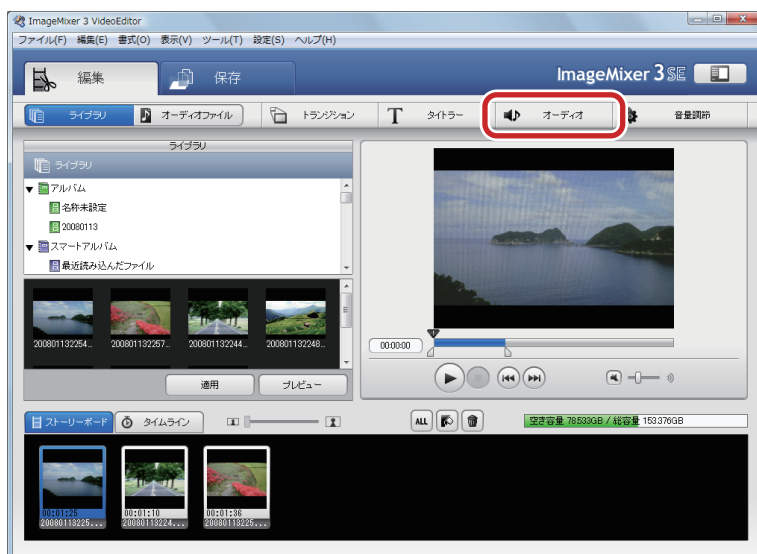
映像に音声を加える（アフレコ）

外部機器を接続して録音することで、後からナレーションなどを付け加えること（アフレコ）ができます。

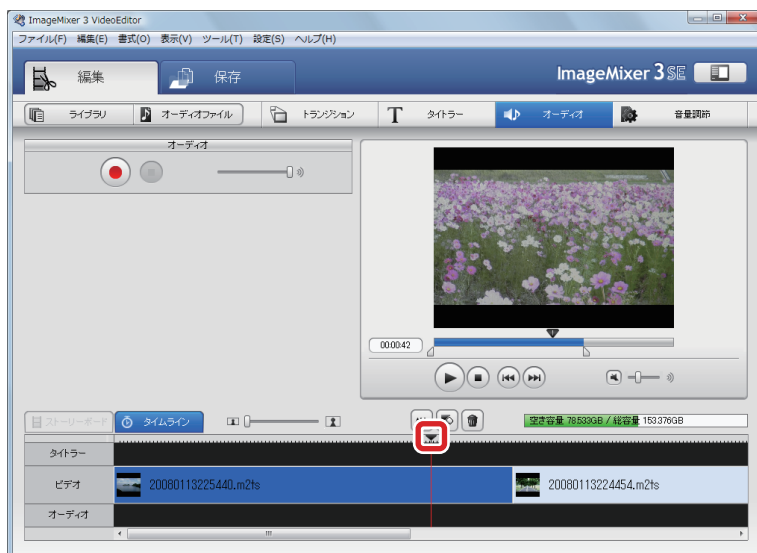
- ※ マイクなどのオーディオ機器の接続方法については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ※ この操作はタイムライン表示で行います。

1. [オーディオ] ボタンをクリックする


- ※ ストーリーボード表示の場合は、タイムライン表示に切り換わります。ストーリーボード表示に戻ると、[ライブラリ]をクリックしてください。



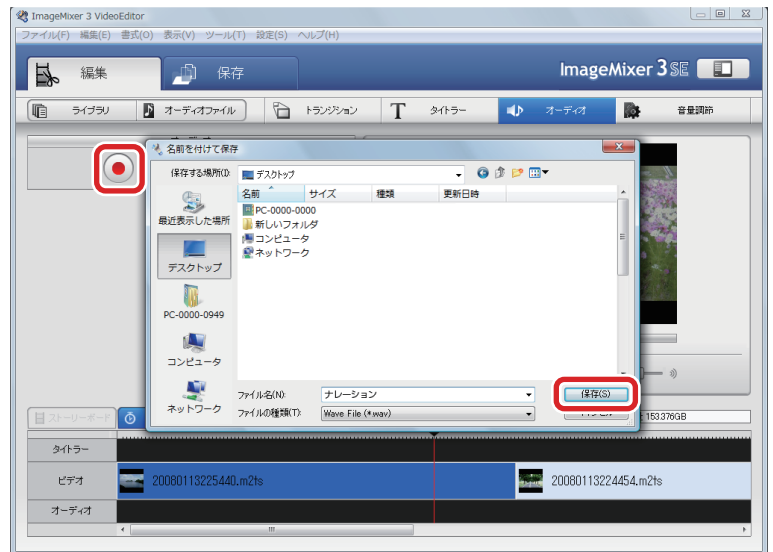
2. 音声を加えたい先頭の位置にスライダーを移動する




3. 録音を開始する

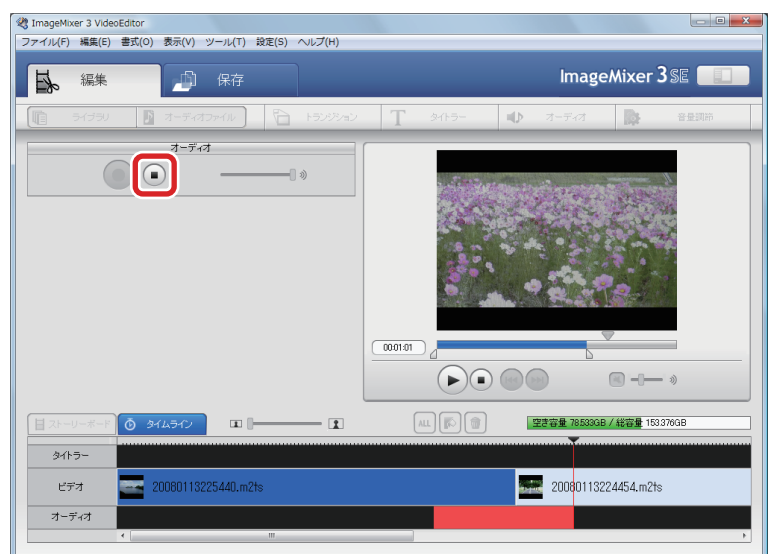
- ① [] ボタンをクリックします。
- ② 確認ダイアログで [はい] をクリックします。
- ③ 録音した音声の保存先を指定します。
- ④ [保存] ボタンをクリックします。

➡ 録音が始まります。

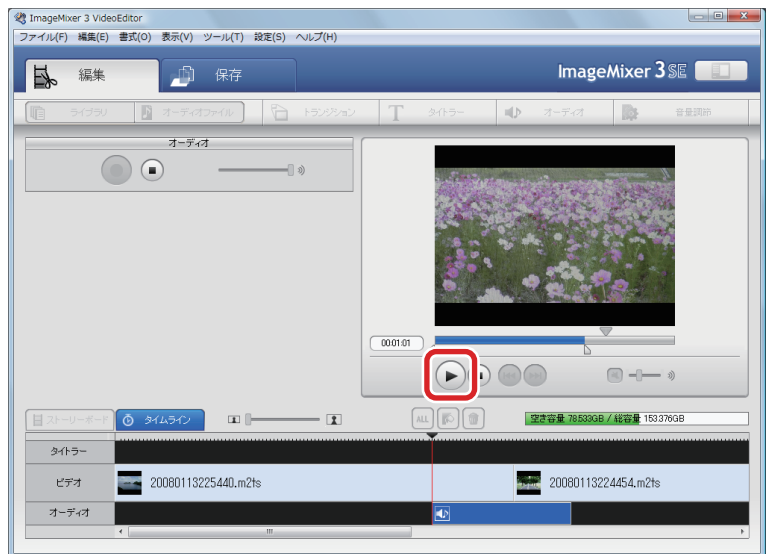


4. 録音を停止する

- ① [] ボタンをクリックします。
- ➡ 録音した音声のクリップが追加されます。

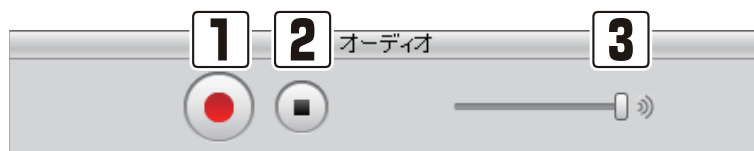


5. [▶] ボタンで結果を確認する



 編集した結果を 1 つの映像ファイルに書き出す場合は、P122 をご参照ください。

◇ オーディオパネル ◇



1 録音ボタン

録音を開始します。

2 停止ボタン

録音を停止します。

3 録音レベルスライダー

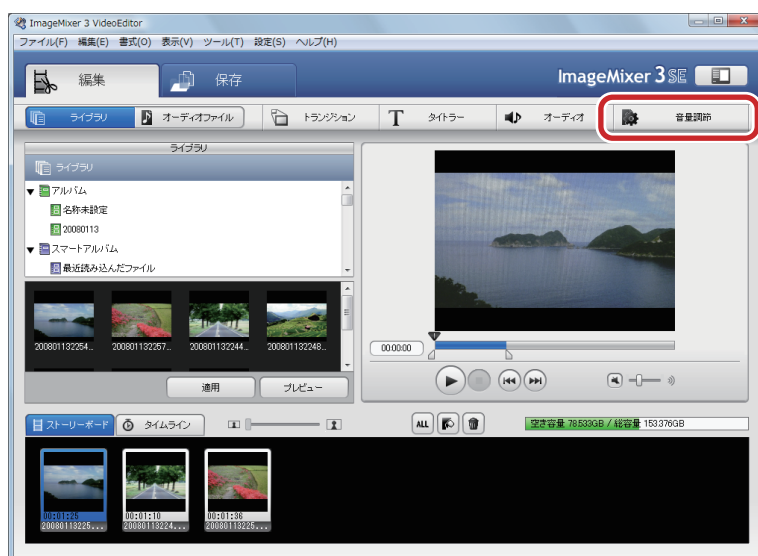
録音する音声のボリュームを設定します。

映像の音量を調節する（フェードイン／フェードアウト）

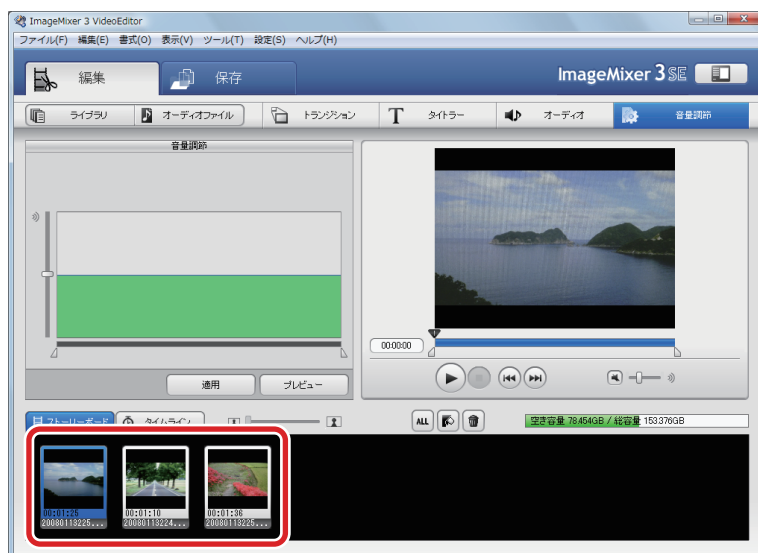
映像の中で流れている音声の音量を調節することができます。音声徐徐に聞こえてくる効果（フェードイン）や、音声徐徐に消えていく効果（フェードアウト）が利用できます。

※ 映像の中で流れている音声の音量調節はストーリーボード表示、タイムライン表示のどちらでも行えます。追加した音楽（BGM）の音量調節はタイムライン表示で行います。

1. [音量調節] ボタンをクリックする

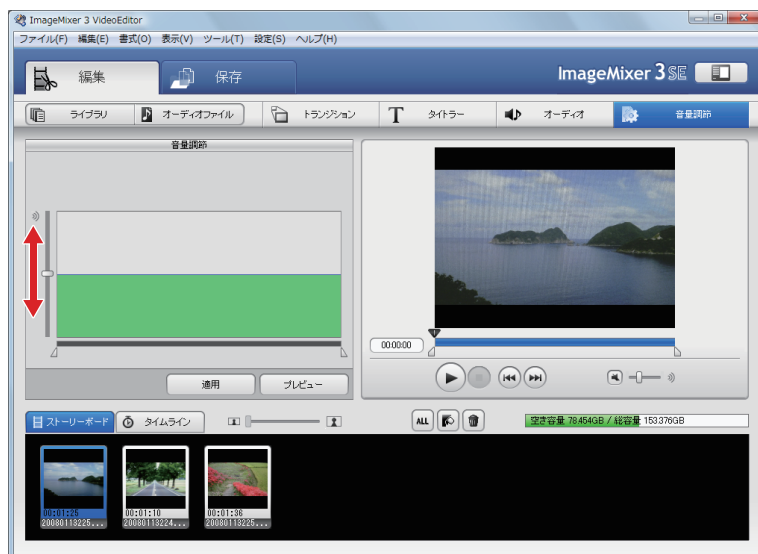


2. 音量調節をしたいクリップを選択する



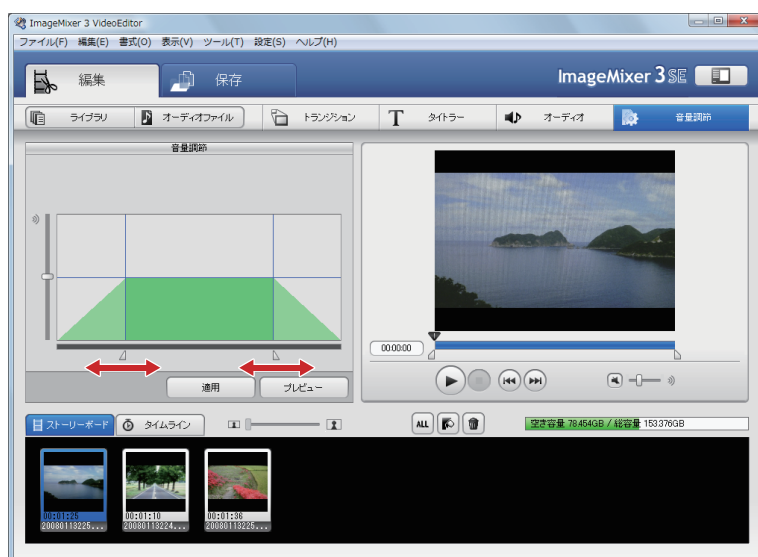
3. 音量を調節する

上下のスライダーで調節します。

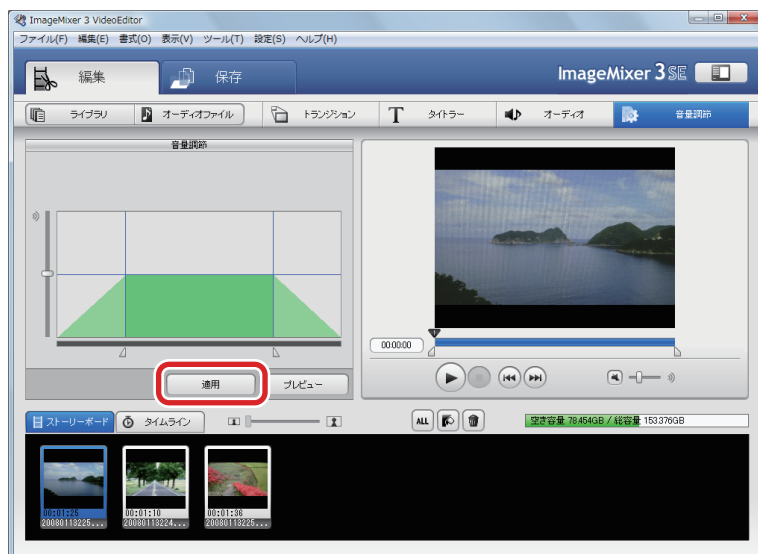


4. フェードイン、フェードアウトの間隔を調節する

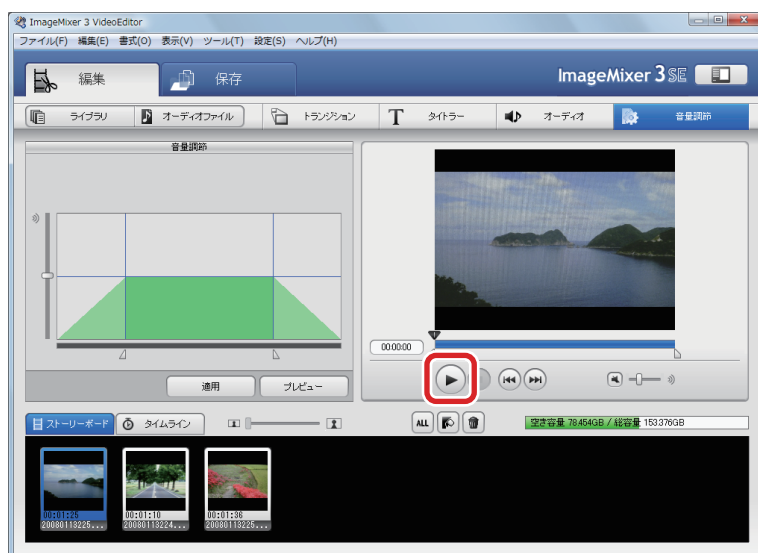
左右のスライダーで調節します。



5. [適用] ボタンをクリックする



6. [▶] ボタンで結果を確認する



 編集した結果を1つの映像ファイルに書き出す場合は、P122をご参照ください。

◇ 音量調節パネル ◇



1 音量スライダー

音量を調節します。緑色の部分が音量を表します。

2 フェードインスライダー

音声徐徐に大きくなる（フェードイン）間隔を設定します。

3 フェードアウトスライダー

音声徐徐に小さくなる（フェードアウト）間隔を設定します。

4 [適用] ボタン

音量調節を適用します。

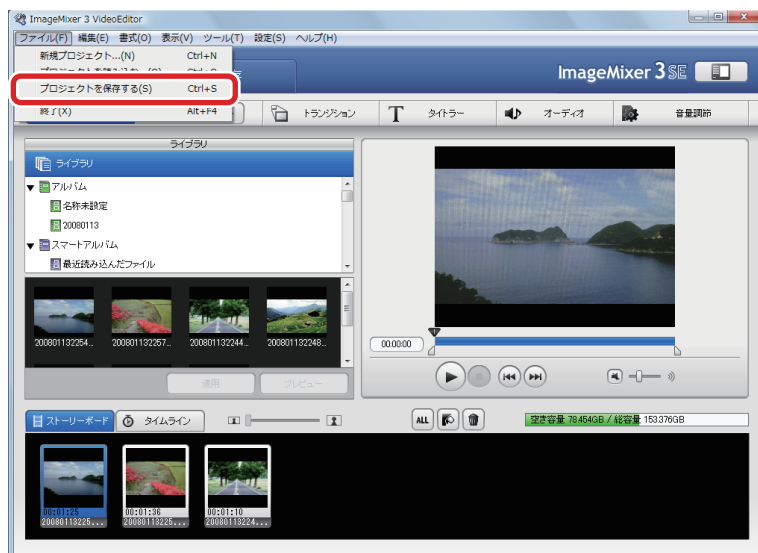
5 [プレビュー] ボタン

音量調節の結果が再生されます。

編集の途中で保存する

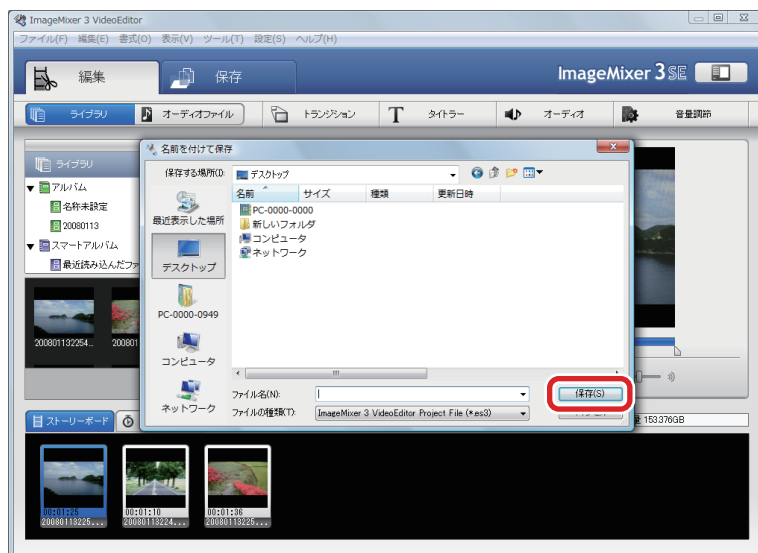
編集の途中でプロジェクトを保存することで、編集を中断／再開することができます。また、編集した映像を書き出す直前に保存しておく、編集結果を確認してから再度修正することができます。

1. [ファイル] メニューをクリックして、[プロジェクトを保存する] を選択する



2. 保存先を指定して、[保存] ボタンをクリックする

➡ プロジェクトが保存されます。

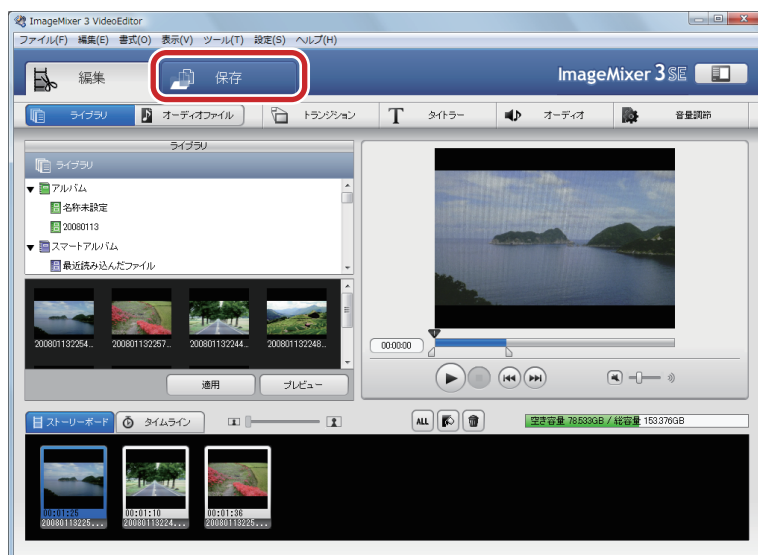


編集した映像を 1 つのファイルに書き出す

編集した映像を保存する

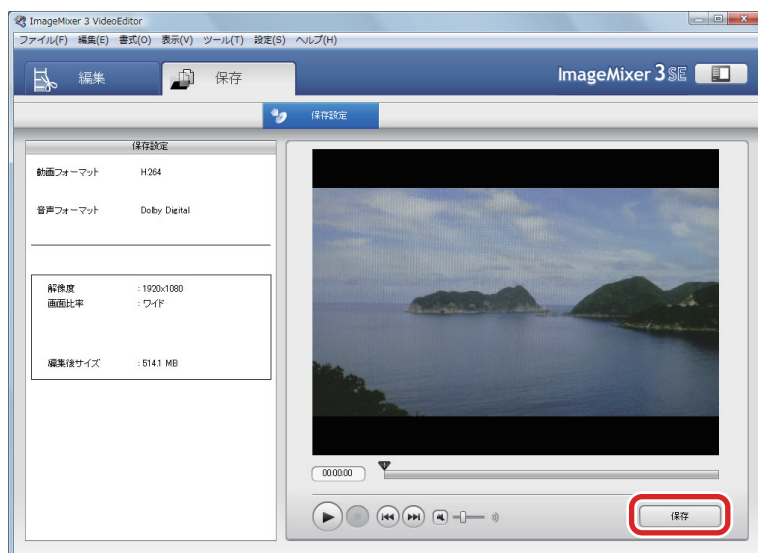
1. [保存] タブをクリックする

➡ 保存設定画面が表示されます。



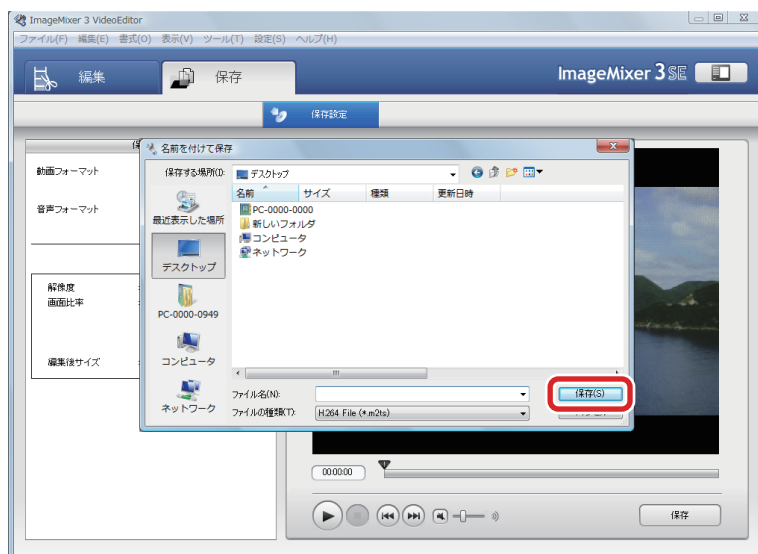
2. [保存] ボタンをクリックする

➡ 保存ダイアログが表示されます。



3. 保存先を指定して、[保存] ボタンをクリックする

➡ 編集結果を 1 つのファイルに書き出します。

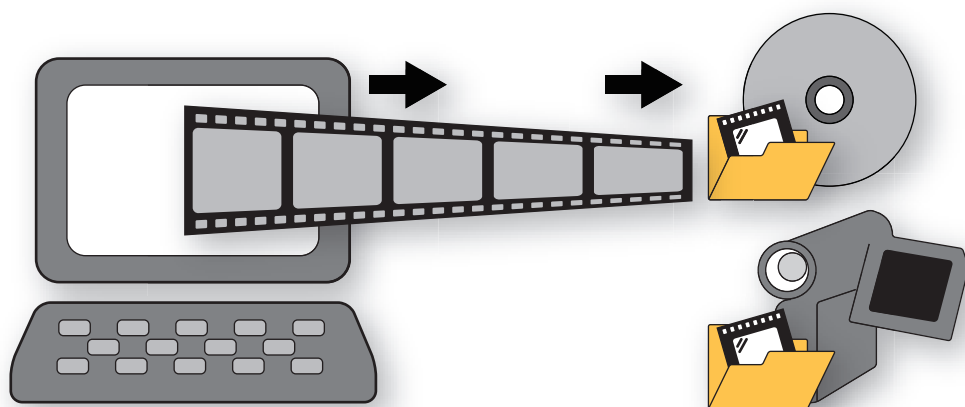


! 編集した映像ファイルについて

編集した映像ファイルを再びライブラリに追加した場合、ファイル情報パネルの [ビデオビットレート] の数値は表示されません。

映像を保存する

この章では、「ImageMixer 3」に読み込んだ映像をディスクやビデオカメラに書き出す操作について説明します。



映像をディスクに保存する（ディスクの作成）

使用できるディスクと再生機器

「ImageMixer 3」は4種類の方法（ディスク作成リスト）でディスクを作成することができます。ディスク作成リストの種類によって、書き込めるディスクの種類が異なります。また、完成したディスクを再生できる機器も異なるので、用途に応じてディスク作成リストを選択してください。

	DVD 作成リスト	AVCHD 作成リスト	Blu-ray 作成リスト	DataDisc 作成リスト
用途	ハイビジョン画質 を標準画質に変換 して保存する ※ 1	ハイビジョン画質 をそのままの画質 で保存する ※ 2	ハイビジョン画質 をそのままの画質 で保存する	ハイビジョン画質 をそのままの画質 で保存する
書き込み可能ディスク	DVD-R DVD-R DL DVD-RW	DVD-R DVD-R DL DVD-RW	BD-R BD-R DL BD-RE BD-RE DL	DVD-R DVD-R DL DVD-RW
"ImageMixer 3 SE Player" での再生	×	○	○	○
市販の DVD プレーヤー での再生	○	○	×	×
市販の BD プレーヤーで の再生	○	○	○	×

※ 8cm ディスクへの書き込みには対応しておりません。

※ 市販の DVD プレーヤーまたは BD プレーヤーでの再生には、再生するディスクの種類にプレーヤーが対応している必要があります。

※ 1 DVD 作成リストでディスクを作成する場合、変換のため、時間がかかる場合があります。

※ 2 AVCHD 作成リストでディスクを作成する場合、MXP モードで撮影された映像は、FXP モードの画質に変換されます。また、変換に時間がかかる場合があります。

ビデオカメラから直接ディスクを作成する

DVD ディスクを使用する場合、ビデオカメラから直接ディスクに保存できます。

 BD ディスクを使用する場合は、P131 の手順でディスクに保存してください。

1. ビデオカメラの電源を入れ、動画再生モードにする

2. ビデオカメラとパソコンを接続する

 接続方法については、P30 をご参照ください。

➡ [ImageMixer 3 ランチャー] 画面がパソコンに表示されます。

! ビデオカメラの接続について

ビデオカメラの接続時は以下の点にご注意ください。

- ビデオカメラの電源にはコンパクトパワーアダプターを使用してください。
- ビデオカメラは USB ケーブルで直接パソコンに接続してください。USB ハブを経由した接続では正常に動作しない場合があります。
- ビデオカメラの接続中はパソコンをスタンバイ状態にしないでください。

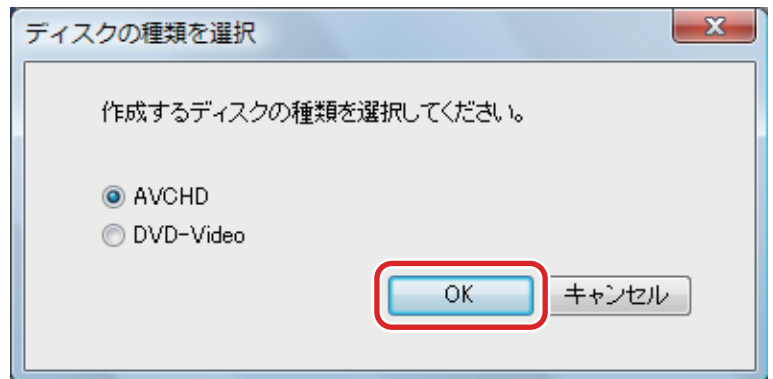
3. [ImageMixer 3 ランチャー] 画面の [ディスクの作成] をクリックする

➡ 確認ダイアログが表示されます。



4. 作成するディスクの規格を選択して、[OK] をクリックする

➡ ディスク作成画面が表示されます。



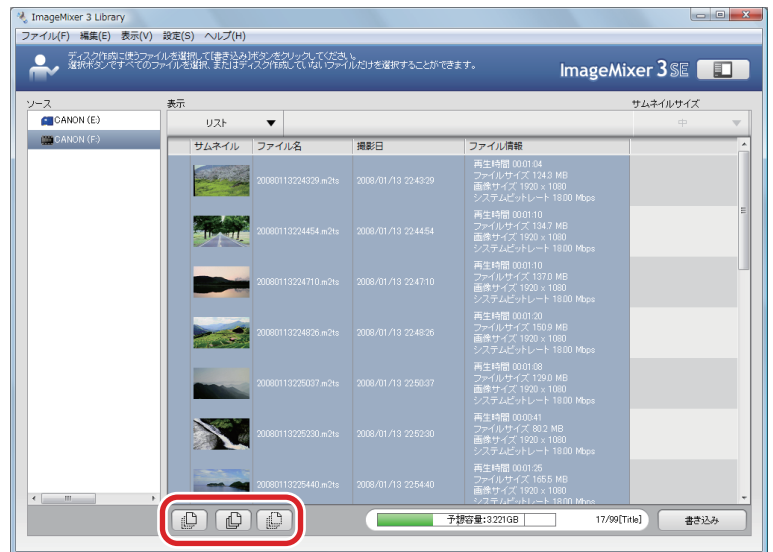
! DVD-Video 規格のディスクを作成する場合

以下の点にご注意ください。

- ハイビジョン画質の映像が標準画質に変換されるため、画質が低下します。
- 変換のため、ディスクの作成に時間がかかる場合があります。

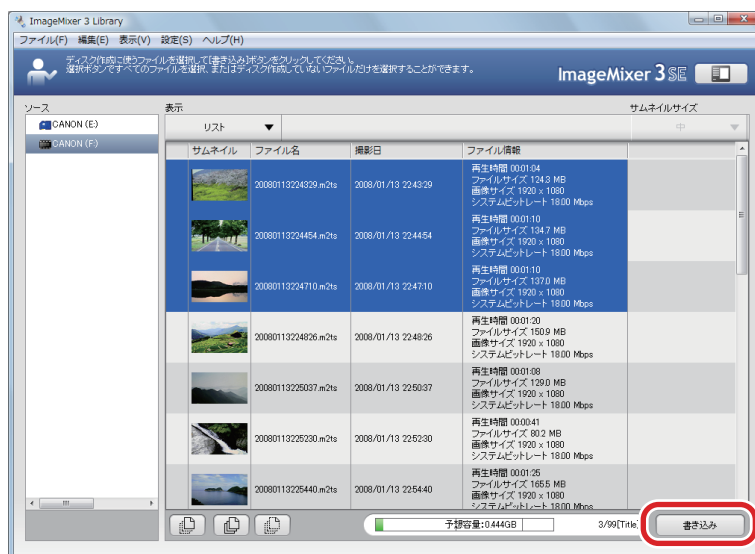
5. ディスクに書き込む映像を選択する

[] (差分選択) ボタンや [] (全選択) ボタンを使うか、個別に映像を選択します。

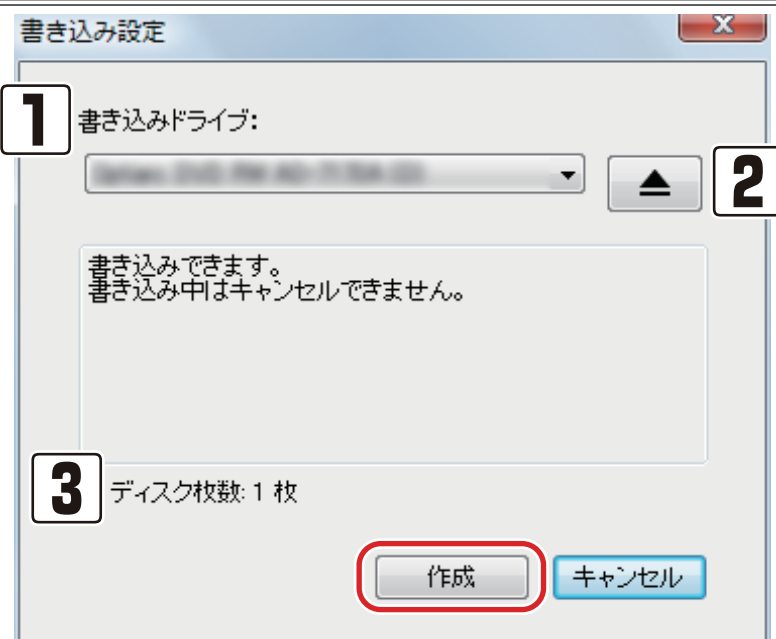


6. ディスクを挿入して[書き込み]ボタンをクリックする

➡ 確認ダイアログが表示されます。



7. 書き込みの設定をして、[作成]ボタンをクリックする



1 書き込みドライブ

書き込むドライブを選択します。

2 取り出しボタン

ドライブのトレイを開きます。ドライブを選択してからディスクをセットしてください。

※ ディスクを挿入すると、下段に書き込みできるディスクかどうかのメッセージが表示されます。

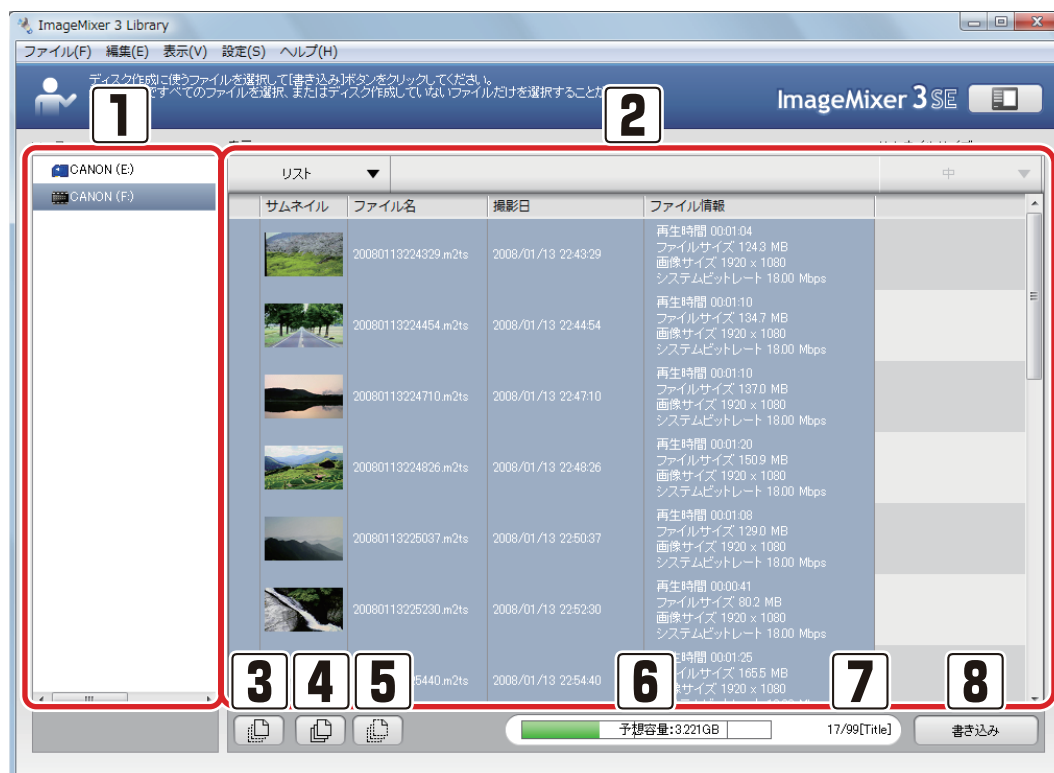
3 ディスク枚数

書き込みに必要なディスク枚数が表示されます。

! 1 枚のディスクに収録できない場合

1 枚のディスクに収録できない場合は、複数枚のディスクに分割されます。前のディスクの書き込みが完了したら、新しいディスクに入れ換えて [作成] ボタンをクリックしてください。

◇ ディスク作成時の画面 ◇



1 ソース・ペイン

パソコンに接続されているビデオカメラが表示されます。

2 ブラウザー・ペイン

ソース・ペインで選択しているビデオカメラの内容が一覧で表示されます。

3 差分選択ボタン

パソコンに取り込まれてないビデオカメラ内の映像を選択します。

4 全選択ボタン

ブラウザー・ペインに表示されているすべての映像を選択します。

5 選択解除ボタン

映像の選択を解除します。

6 容量バー

ディスクの容量に対する選択したファイルの合計容量を示します。ディスクに対して超過した場合は、数値が赤く表示されます。

7 タイトル数

選択したファイルに含まれるタイトルの数が表示されます。

8 [書き込み] ボタン

ディスクの書き込みを開始します。

ライブラリから映像を選んでディスクを作成する

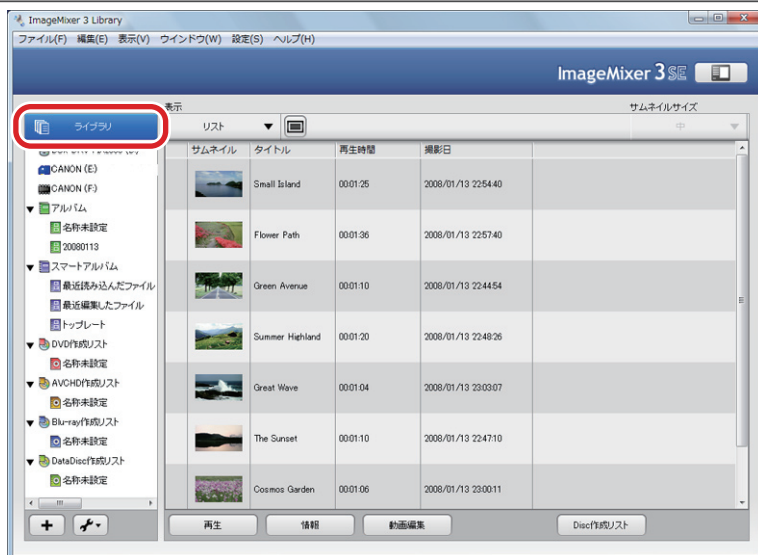
ライブラリ画面で映像を選択して、用途に応じたディスクに保存することができます。

1. [ImageMixer 3 ランチャー] 画面の [ブラウジング&オーサリング] をクリックする

➡ ライブラリ画面が表示されます。



2. [ライブラリ] をクリックする



3. ディスク作成リストを作成する

① [Disc 作成リスト] ボタンをクリックします。

② ディスク作成リストの種類を選択します。

- [新規 DVD 作成リスト] : DVD-Video 規格の DVD ディスクを作成します。
- [新規 AVCHD 作成リスト] : AVCHD 規格の DVD ディスクを作成します。
- [新規 Blu-ray 作成リスト] : BD ディスクを作成します。
- [新規 DataDisc 作成リスト] : 「ImageMixer 3」専用の DVD ディスクを作成します。



ディスク作成リストによって使用するディスクの種類や完成後の再生対応機器が異なります。詳細については、P125 をご参照ください。



DVD 作成リストからディスクを作成する場合

以下の点にご注意ください。

- ハイビジョン画質の映像が標準画質に変換されるため、画質が低下します。
- 変換のため、ディスクの作成に時間がかかる場合があります。



DataDisc 作成リストの使用目的

ビデオカメラで撮影した映像をそのままの画質で保存することができます。たとえば、Blu-ray ディスクドライブがない場合などに、MXP モード（録画モード）で撮影された映像を画質を劣化させることなく、そのままの品質で DVD ディスクに記録することができます。記録容量は DVD ディスクの容量が上限です。DataDisc リストから書き込んだディスクの映像は、「ImageMixer 3」でのみ使用できます。

③ リスト名を入力して [OK] ボタンをクリックします。

➡ 新しいリストが作成されます。



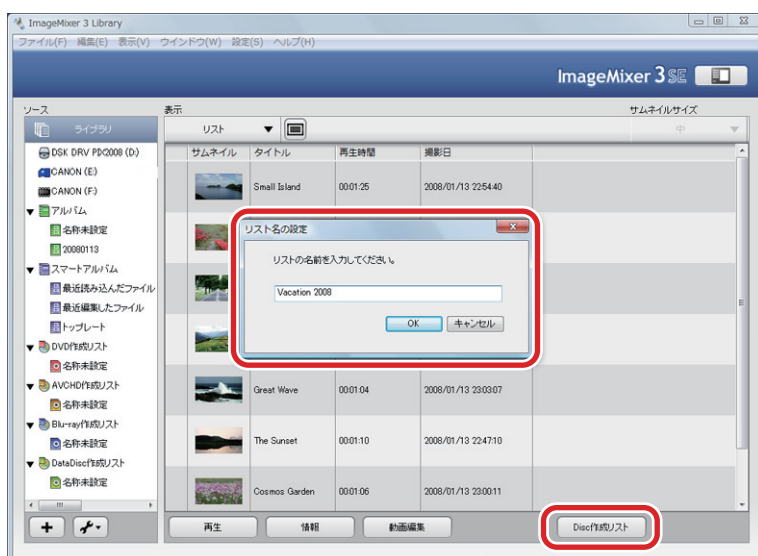
リスト名について

ここで入力したリスト名が完成したディスクのメニュー画面（P138）上のメニュータイトルになります。リスト名を入力していない場合、メニュータイトルが「名称未設定」になりますのでご注意ください。

メニュー画面上で表示できる文字数は以下の通りです。

- DVD 作成リスト：全角約 15 文字、半角約 20 文字
- AVCHD / Blu-ray / DataDisc 作成リスト：全角約 20 文字、半角約 30 文字

※ 上記は目安です。表示される文字数は、使用する文字によって前後します。



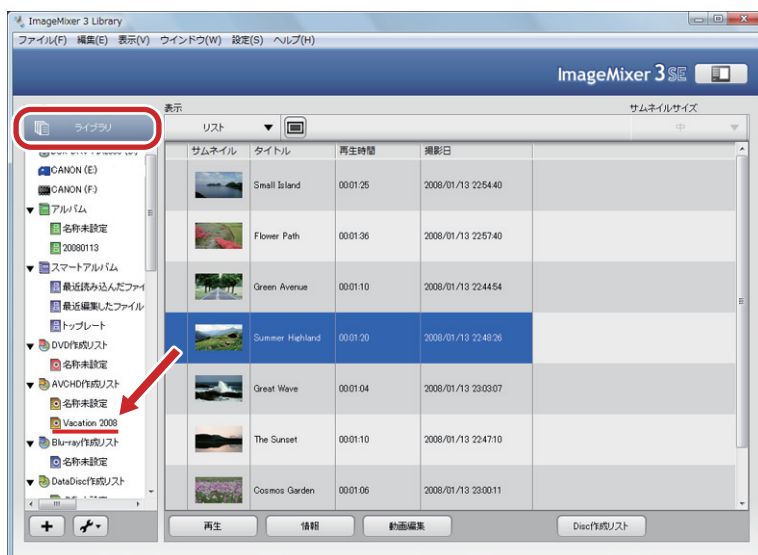
4. ディスクに書き込む映像をリストに追加する


- ① [ライブラリ] をクリックします。
- ② 書き込みたい映像ファイルを手順 3 で作成したリストにドラッグ&ドロップします。

※ 最大 99 ファイルまで追加できます。

複数ファイルの選択

連続したファイルを選択するときは [Shift] キー、非連続のファイルを選択するときは [Ctrl] キーを押しながら選択できます。



 ファイルごとにチャプターの設定をする場合は、P139 の手順 3 からをご参照ください。

容量バーについて

ブラウザペインの下部にディスクに書き込むファイルの予想容量が表示されます。バーの表示が赤くなっている場合は、書き込むファイルを減らしてください。また、バーの表示は予想容量です。バーの表示が赤くなっていない場合でも書き込みできない場合があります。

5. タイトル名を編集する

完成したディスクのメニュー画面のタイトル名には、ライブラリで表示されているファイル名が使用されます。タイトル名（ライブラリ上のファイル名）を変更しない場合は、次の手順に進みます。

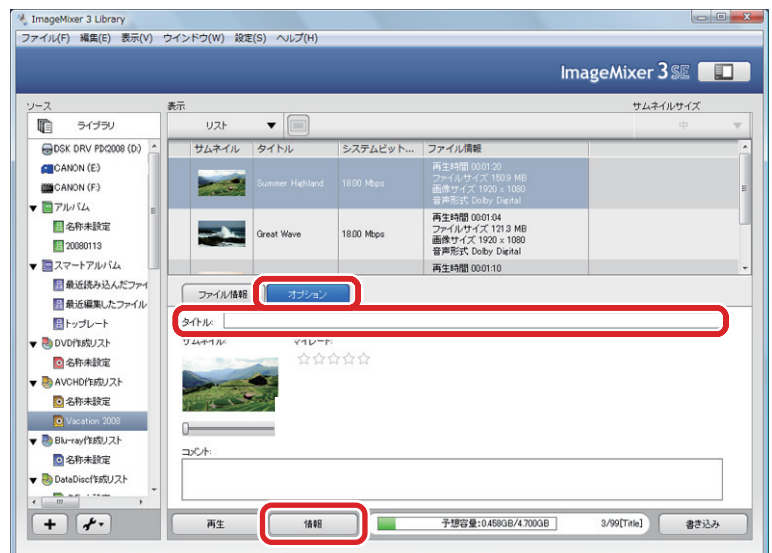
- ① 手順 3 で作成したリストをクリックします。
- ② 変更するファイルを選択して、[情報] ボタンをクリックします。
- ③ [オプション] タブをクリックして、[タイトル] のテキストボックスに名称を入力します。

! タイトル名の文字数について

メニュー画面上で表示できる文字数は以下の通りです。

- DVD 作成リスト：全角約 6 文字、半角約 8 文字
- AVCHD / Blu-ray / DataDisc 作成リスト：全角約 8 文字、半角約 12 文字

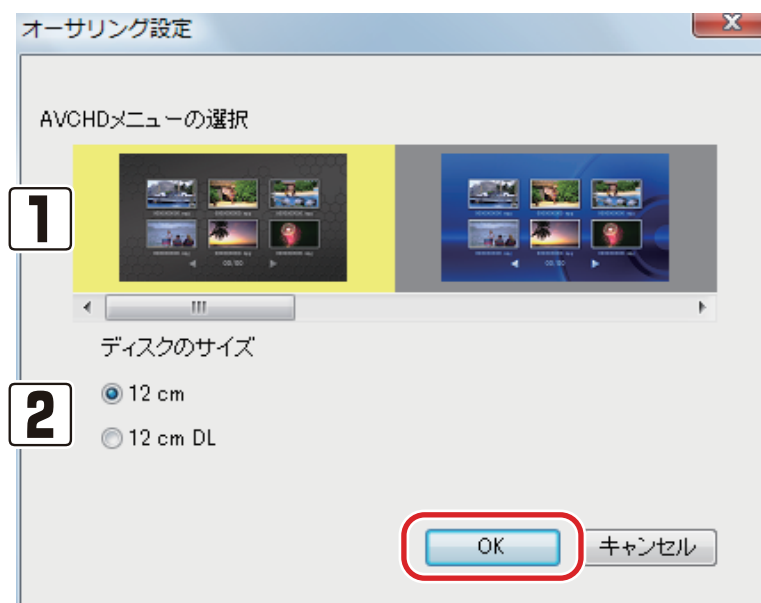
※ 上記は目安です。表示される文字数は、使用する文字によって前後します。



6. メニュー画面を設定する

完成したディスクを再生したときに表示されるメニュー画面の設定をします。

- ① 手順 3 で作成したリストを右クリックします。
- ② [(作成したリストの名称) を編集 ...] をクリックします。
➡ 設定画面が表示されます。
- ③ メニュー画面の設定をして、[OK] をクリックします。




① メニューの選択

メニュー画面を選択します。

② ディスクのサイズ

書き込もうとしているディスクの種類を選択します。

-  完成したディスクのメニュー画面については、P138 をご参照ください。

7. 書き込みの設定をする

- ① ディスクをセットします。



使用するディスクはディスク作成リストによって異なります。対応ディスクについては P125 をご参照ください。

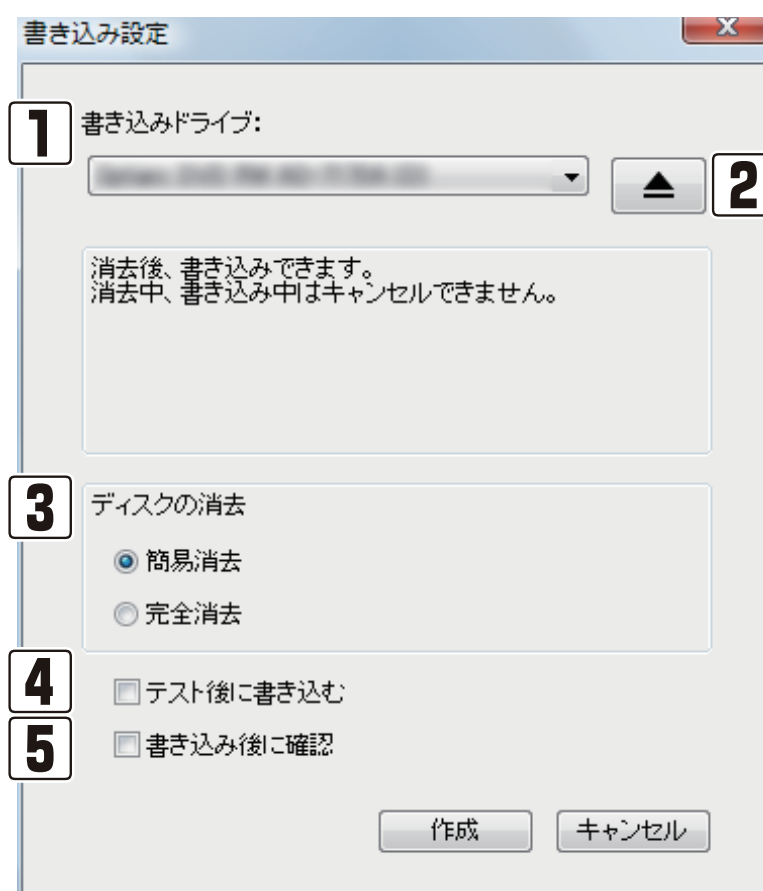
- ② [書き込み] ボタンをクリックします。

➡ 設定画面が表示されます。

- ③ 書き込みの設定をして、[作成] ボタンをクリックします。

➡ 書き込みが開始されます。

※ 下図は説明用の画面です。書き込むディスクの種類によっては表示されない項目があります。



① 書き込みドライブ

書き込むドライブを選択します。

② 取り出しボタン

ドライブのトレイを開きます。ドライブを選択してからディスクをセットしてください。

※ ディスクを挿入すると、下段に書き込みできるディスクかどうかのメッセージが表示されます。

3 ディスクの消去

記録済みの DVD-RW をセットした場合に表示されます。ディスクの消去方法を選択します。

簡易消去

高速に消去できます。消去する内容によってはエラーになる場合もありますが、通常はこちらの方法で消去できます。

完全消去

比較的エラーになりにくいですが、60 分以上の時間がかかる場合があります。簡易消去に失敗した場合などはこちらの方法を選択します。

4 テスト後に書き込む

DVD-R ディスクをセットした場合に表示されます。チェックを入れると、ディスクに書き込む前にテスト書き込みを行います。時間はかかりますが、ディスク作成に失敗してディスクを無駄にすることを防ぐことができます。

5 書き込み後に確認

書き込み後にディスクのデータが正常に書き込まれているかを確認します。

◇ 作成したディスクのメニュー画面 ◇

ライブラリのディスク作成リストで作成したディスクを再生すると、以下のメニュー画面が表示されます。



1 メニュータイトル

ディスク作成に用いたリストの名前が表示されます。

2 タイトルサムネイル

タイトルの先頭画像が表示されます。

3 タイトル名

タイトルの名称です。

4 ページ数

メニュー画面の「現在のページ数 / 全体ページ数」が表示されます。

5 ページ移動

ページ数が複数ある場合、ページの移動をします。

映像ファイルのチャプターを設定する

チャプターとは、1つの映像ファイルの中での区切りを指します。映像をスキップするときは、チャプターごとにスキップされます。特にお気に入りのシーンなどにチャプターを設定することで、すぐにそのシーンにスキップさせることができます。チャプターは、ディスク作成リスト内のファイルに対して設定できます。

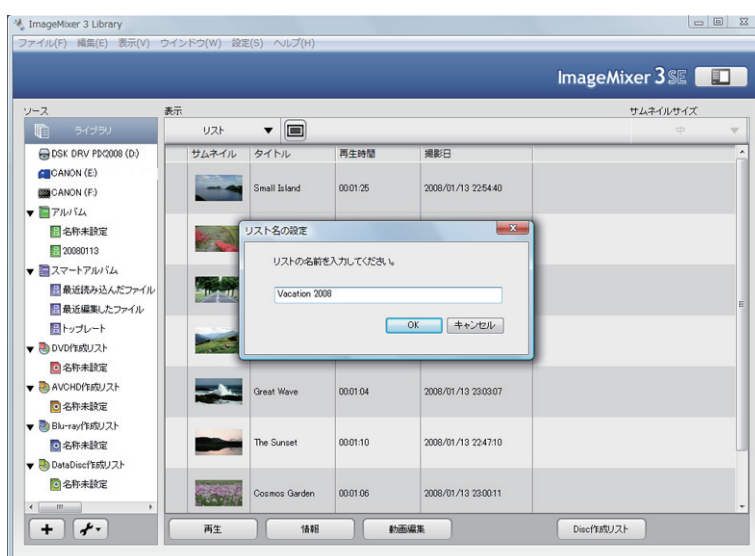
1. [ImageMixer 3 ランチャー] 画面の [ブラウジング&オーサリング] をクリックする

➡ ライブラリ画面が表示されます。



2. ディスク作成リストを作成する

➡ ディスク作成リストの作成については、P131 をご参照ください。



3. チャプター設定画面を開く

- ① チャプター設定をしたいファイルが含まれているディスク作成リストをクリックします。

※ 同一のファイルが複数のリストに登録されている場合は、登録されているすべてのファイルにチャプターが反映されます。個別にチャプター設定をしたい場合は、ビデオカメラから同じファイルをもう一度取り込んでください。

- ② チャプターを設定したいファイルを選択します。

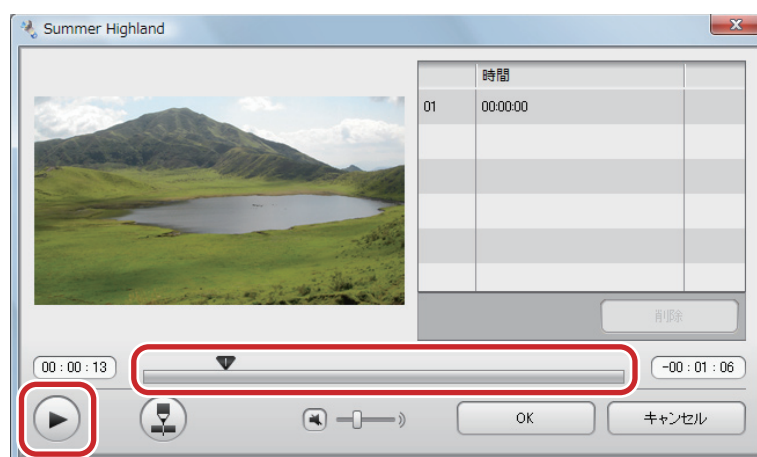
- ③ [編集]メニューから[チャプターの設定]を選択します。

➡ チャプター設定画面が表示されます。



4. チャプターを設定したい場面を表示する

[▶]/[⏸] ボタンまたは再生スライダーで表示します。

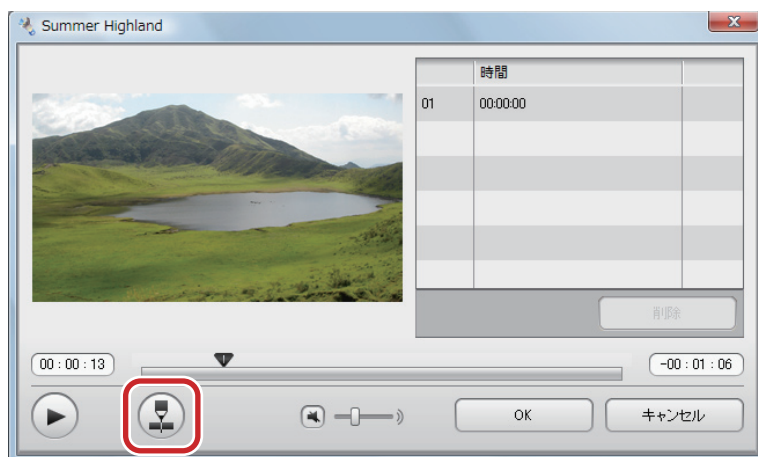


5. [] ボタンをクリックする

複数のチャプターを設定する場合は、チャプターの間隔が 3 秒以上空くように設定します。

※ 3 秒未満の場合、チャプターを設定できません。

➡ 設定がチャプターリストに追加されます。

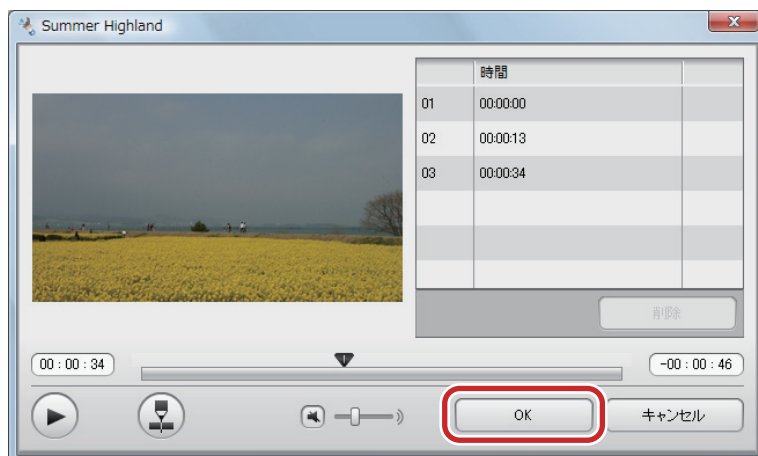


6. 4～5 の手順を必要なだけ繰り返す

※ チャプターは最大 20 個まで作成できます。

7. [OK] ボタンをクリックする

➡ チャプターが設定されます。



◇ チャプター設定画面 ◇



1 映像ビュー

選択したファイルの映像が表示されます。

2 チャプターリスト

設定したチャプターが表示されます。1 つの映像ファイルについて、20 個までチャプターを作成できます。

3 [削除] ボタン

チャプターリストで選択したチャプター設定を解除します。

4 経過時間

再生位置の時間です。

5 再生スライダー

再生位置を表示します。また、スライダーをドラッグすることにより、再生開始位置を指定できます。

6 残り時間 / 全体時間

再生中に残り時間を表示します。クリックすることで、ファイルの全体時間に切り換わります。

7 再生ボタン

再生／再生一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。

8 チャプター設定ボタン

現在の再生位置にチャプターを設定します。

9 消音ボタン

消音／消音解除します。

10 音量レベル

音量を調節します。

11 [OK] ボタン

設定したチャプターを適用します。

12 [キャンセル] ボタン

設定したチャプターを適用しないでライブラリ画面に戻ります。

ビデオカメラに書き戻す

書き戻す前に

- ビデオカメラの映像フォーマットやビデオ形式と異なる映像は書き戻せません。ビデオカメラの故障の原因になります。
- 書き戻し中にビデオカメラとパソコンの接続が切れると、ビデオカメラに保存されている映像ファイルが破損するおそれがあります。ビデオカメラの電源にはコンパクトパワーアダプターを使用し、パソコンとの接続は USB ケーブルが外れないように注意してください。
- 「ImageMixer 3」が付属しているキヤノン製ビデオカメラ以外で撮影した映像は書き戻せません。
- 書き戻しには、パソコンの作業ディスクに書き戻す映像の 2 倍大きさの空き容量が必要です。
- 書き戻すことで、ビデオカメラに保存できる最大シーン数を超える場合は、保存可能なシーン数まで書き戻せます。

※ 保存できる最大シーン数はビデオカメラによって異なります。

- 1 回につき 100 シーンまでビデオカメラに書き戻せます。
- SD スピードクラスに対応していない SD メモリカードには書き戻しできません。
- 使用する SD メモリーカードの SD スピードクラスが撮影時と異なる場合、書き戻される映像のサイズなどが変更されることがあります。
- ビデオカメラの初期化は、パソコン上など、ビデオカメラ以外の方法で行わないでください。
- SD メモリーカードの容量いっぱいまで撮影した映像をパソコンに保存して、そのままビデオカメラに書き戻す場合は、撮影に使用したカードまたは同一メーカーの同一型番のカードに書き戻すことを推奨します。また、書き戻す前にビデオカメラでカードを完全初期化してください。

※ 容量いっぱいまで撮影した場合、容量の計算上、ビデオカメラに書き戻せない場合がありますのでご注意ください。

- ビデオカメラ内蔵のメモリ（またはハードディスク）容量いっぱいまで撮影した映像をパソコンに保存して、そのままビデオカメラに書き戻す場合は、書き戻す前にビデオカメラの内蔵メモリ（またはハードディスク）を完全初期化してください。

※ 容量いっぱいまで撮影した場合、容量の計算上、ビデオカメラに書き戻せない場合がありますのでご注意ください。

- データ保護のため、書き戻す前にビデオカメラのすべての映像をパソコンに保存しておくことをおすすめします。

ビデオカメラへの書き戻し

1. [ImageMixer 3 ランチャー] 画面の [ビデオカメラに書き戻し] をクリックする

➡ ビデオカメラへの書き戻し画面が表示されます。



2. 書き戻し先を選択する

ビデオカメラかビデオカメラに挿入されている SD メモリーカードを選択します。

※ SD メモリーカードに書き戻す場合は、カードのロックが解除されていることを確認してください。



3. 書き戻すファイルまたはアルバムを選択する

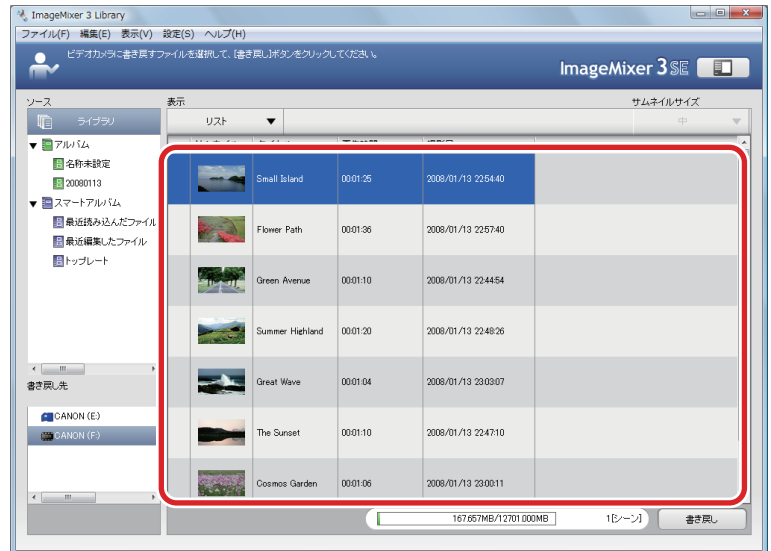
! 書き戻せる映像について

書き戻しは、ビデオカメラの映像フォーマットとビデオ方式が同一の以下の条件の映像に限り行えます。

- 「ImageMixer 3」が付属しているビデオカメラからパソコンへ保存した映像
- 上記の映像を「ImageMixer 3」で編集した映像

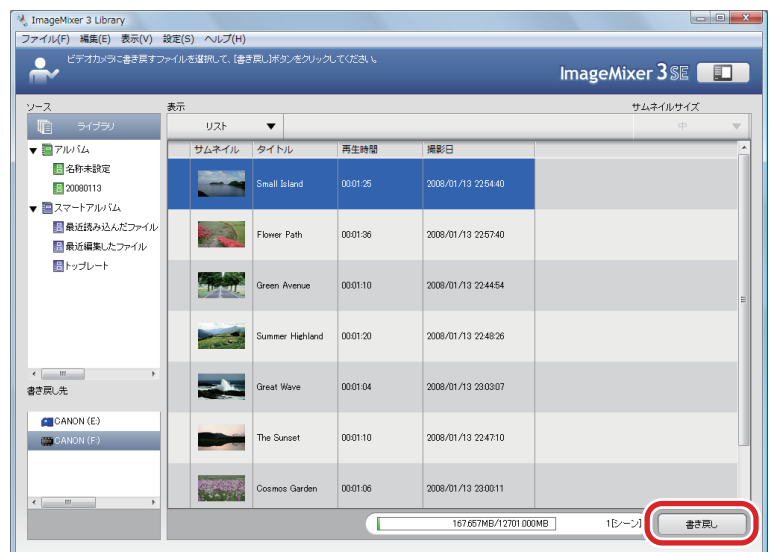


アルバムの作成方法については、P65、P67 をご参照ください。



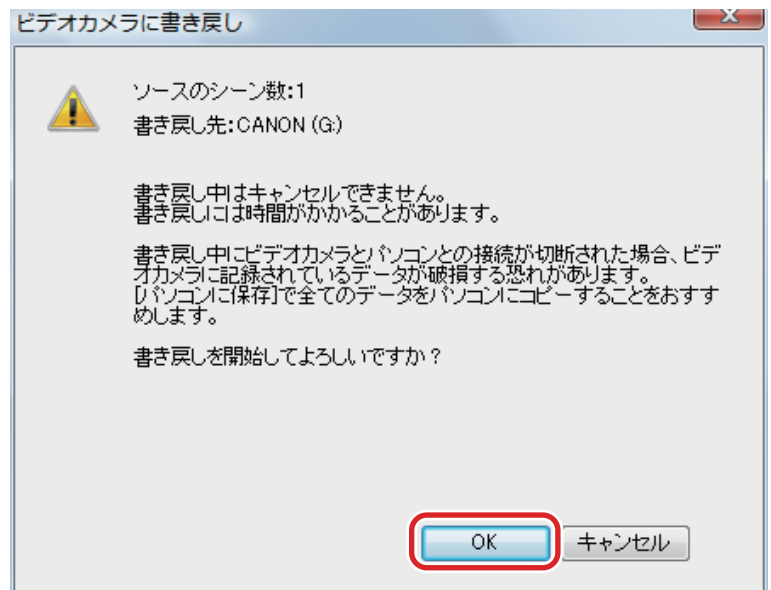
4. [書き戻し] ボタンをクリックする

➡ 確認ダイアログが表示されます。

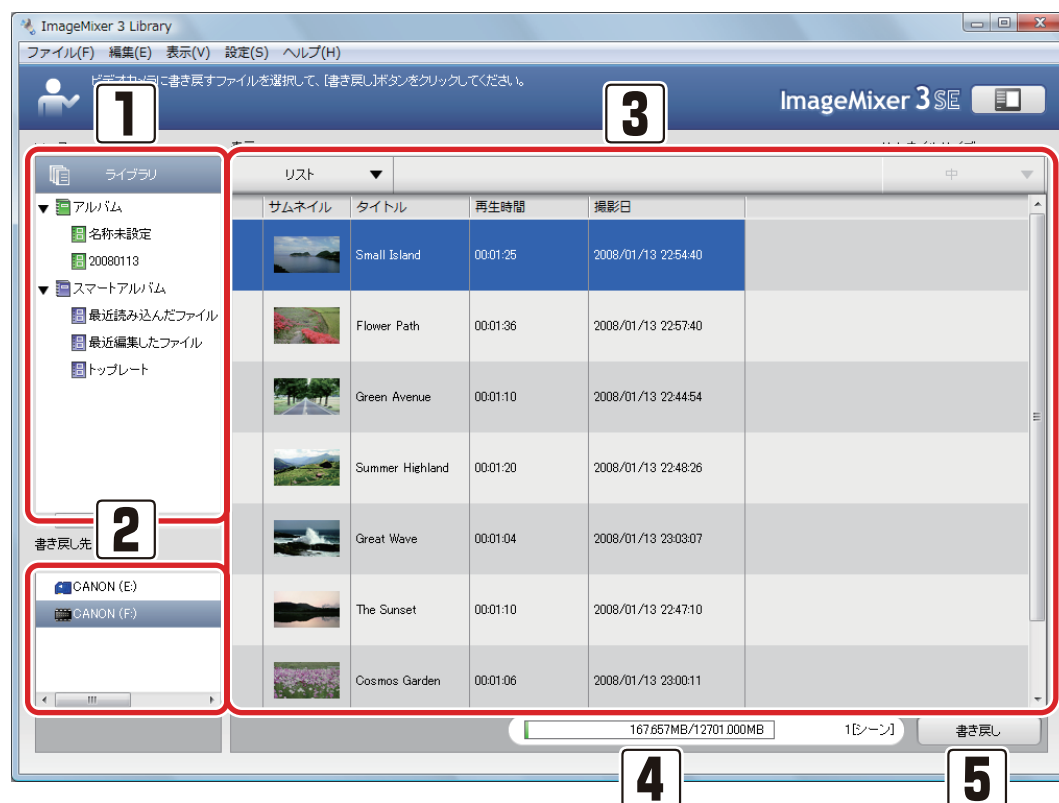


5. [OK] ボタンをクリックする

➡ ビデオカメラへの書き戻しが始まります。



◇ ビデオカメラへ書き戻し時の画面 ◇



1 ソース・ペイン

ライブラリとライブラリ上で作成されたアルバムおよびスマートアルバムが表示されます。

2 書き戻し先

パソコンに接続されているビデオカメラやビデオカメラに挿入されている SD メモリーカードが表示されます。

3 ブラウザー・ペイン

ソース・ペインで選択しているライブラリ、アルバムおよびスマートアルバムの内容が一覧で表示されます。

4 容量バー

書き戻し先の空き容量、選択したファイルの合計容量が表示されます。空き容量に対して超過した場合は、数値が赤く表示されます。バーの右側には「選択中のファイル数／全体ファイル数」が表示されます。

5 [書き戻し] ボタン

ビデオカメラへの書き戻しを開始します。

困ったときは

この章では、「ImageMixer 3」の操作上でよくある質問や「ImageMixer 3」についてのお問い合わせ先について説明しています。



準備する

? インストールできない

➡ 「ImageMixer 3」は以下の OS に対応しております。インストールしようとしているパソコンの OS をご確認ください。

- Windows XP Service Pack 2
- Windows XP Service Pack 3
- Windows Vista
- Windows Vista Service Pack 1

? 認証コードとは何ですか？

➡ 「ImageMixer 3」のインストールでは、インターネット経由によるソフトウェアの認証が行われます。インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合、手動で認証手続き（認証コードの入力）を行う必要があります。

? 認証コードはどこで入手できますか？

➡ 認証コードはユーザーサポートセンター（P159）にお電話して取得してください。

? 「ImageMixer 3」が起動しない

➡ 「ImageMixer 3」を使用するには管理者権限 (Administrator) でログインしている必要があります。

? 「ImageMixer 3」をインストールしたら、パソコンに内蔵されているディスクドライブが使えなくなった

➡ お使いのパソコンの編集・オーサリングソフトウェアをバージョンアップすることで解決する場合があります。

? 「ImageMixer 3」が正しく動作しない

➡ 「ImageMixer 3」を終了し、パソコンを再起動してください。

? ビデオカメラがパソコンに認識されない

➡ 以下の点を確認してください。

- 「ImageMixer 3」はインストールされていますか？
- ビデオカメラの電源は入っていますか？
- 電源はコンパクトパワーアダプターを使用していますか？
- USB ケーブルは正しく接続されていますか？

※ 正しく接続しても認識されない場合は、パソコンの別の USB 端子をお試しください

➡ USB ケーブルを抜いて、パソコンを再起動させてから、正しい手順でビデオカメラとパソコンを接続しなおしてください。

➡ カメラ、キーボード、マウス以外で USB 接続の機器を使用している場合は、それらの接続を解除してください。

➡ USB ハブを経由している場合は、直接パソコンに接続してください。

➡ 常駐ソフトウェアがインストールされている場合は、それらを停止してから、ビデオカメラを接続してください。

? [ImageMixer 3 ランチャー] 画面で選べない項目がある

➡ パソコンにビデオカメラが接続されていないときは、[ディスクの作成]、[パソコンに保存]、[ビデオカメラに書き戻し] の選択はできません。これらのメニューを実行するときは、ビデオカメラをパソコンに接続してください。(P30)

? [インフォメーション読み込み中…] ダイアログが表示されて、読み込みに時間がかかる

➡ [インフォメーション読み込み中…] ダイアログは、ビデオカメラ内のファイル情報を読み込んでいるときに表示されます。ビデオカメラ内のファイル数が多い場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。すでにパソコンに取り込んでいるファイルを使用する場合など、ビデオカメラ内のファイルを使用しないときは、[キャンセル] で読み込みをスキップさせることができます。

パソコンに保存する

? 映像を転送していると停止してしまう

- ➡ パソコンの別の USB 端子に接続しなおしてください。デスクトップパソコンの場合、背面の USB 端子をおすすめします。

? 映像の取り込みに時間がかかる

- ➡ 一度にたくさんのファイル数を取り込もうとしたり、容量の大きなファイルを取り込もうとする場合は処理に時間がかかります。
- ➡ 取り込むときは、「ImageMixer 3」以外のソフトウェアを終了させてください。
- ➡ CPU の性能やメモリ容量などのパソコン環境、使用する映像の内容によって処理速度が変化するため、時間がかかる場合があります。

? 「書き込みデータが大きいため、書き込みできません。」というメッセージが表示される

- ➡ ディスクに書き込む映像ファイルの総容量を減らしてください。ディスク 1 枚に収まる容量は、ディスクの種類によって異なります。また、書き込むファイルの総容量がディスクの最大容量に近い場合は、書き込みできない場合があります。
 - DVD-R、DVD-RW : 4.7GB
 - DVD-R DL : 8.5GB
 - BD-R、BD-RE : 25GB
 - BD-R DL、BD-RW DL : 50GB

? 「作業ディスクの容量が足りません。」というメッセージが表示される

- ➡ ディスク作成には、パソコンの作業ディスクに作成するディスクの 2 倍以上の空き容量が必要です。パソコンの作業ディスクの空き容量を増やすか、環境設定画面（P58）で作業ディスクを変更してください。

? 映像の取り込みに時間がかかる

- ➡ 常駐ソフトウェアがインストールされている場合は、それらを停止してから取り込んでください。

映像を見る

? 画面のサイズを変更したい

➡ [表示]メニューからサイズを選択するか、ウィンドウの端をドラッグします。

? ビデオカメラの映像がスムーズに再生されない

- ➡ 映像によっては USB の転送速度の関係上、スムーズに再生できない場合があります。一度、ライブラリに追加してから再生することをおすすめします。
- ➡ CPU の性能やメモリ容量などのパソコン環境、使用する映像の内容によって処理速度が変化するため、スムーズに再生されない場合があります。

? 「ImageMixer 3 SE Player」で再生できない

- ➡ 「ImageMixer 3 SE Player」では以下が再生できます。
 - H.264 ファイル
 - 「ImageMixer 3」の「AVCHD 作成リスト」から作成されたディスク
 - 「ImageMixer 3」の「Blu-ray 作成リスト」から作成されたディスク
 - 「ImageMixer 3」の「DataDisc 作成リスト」から作成されたディスク
- ➡ 再生用フリーソフトや再生コーデックなどがインストールされている場合、正常に再生できない場合があります。

? ディスクの再生がスムーズにされない

- ➡ 「ImageMixer 3」で作成したディスクを再生する時にチャプターのつなぎ目などがスムーズに再生できない場合があります。動画編集で作業エリアにクリップを並べて、1 つの映像ファイルとして書き出した映像をディスクに保存することで、スムーズに再生できるようになります。なお、動画編集で書き出したファイルは、編集前のファイルとは別のファイルになります。編集前のファイルは削除せずに残しておくことをおすすめします。

映像を取り込んで管理する（ライブラリ）

? ! (ファイルが見つからない) マークが表示される

- ➡ パソコン内から映像ファイルをライブラリへ追加した後に、エクスプローラでファイルを削除した場合などは、「ImageMixer 3」がファイルを見つけられなくなります。「ImageMixer 3」で使用する映像ファイルは、移動や削除を行わないようにしてください。USB メモリなどのリムーバブルメディアをご使用の場合は、一度パソコン内に保存してから、ライブラリに追加してください。

? ✓ (取り込み済みマーク) を消したい

- ➡ ライブラリ画面の [設定] メニューから環境設定画面を開いて設定をします。

? スマートアルバム内の映像を並べ替えられない

- ➡ スマートアルバムでのファイルの並べ替えは項目名をクリックすることでのみ行えます。

? 情報パネルを閉じたい

- ➡ 情報パネルを閉じるときは、もう一度 [情報] ボタンをクリックします。

? iTunes 用に書き出したファイルが iPod に転送できない

- ➡ iPod への転送には「iTunes」が必要です。「iTunes」は Apple 社のホームページからダウンロードできます。書き出したファイルは「iTunes」を使って iPod へ転送してください。

映像を編集する

? 「ImageMixer 3」で編集した映像の保存に時間がかかる

- ➡ 動画編集のプロジェクト設定で、[映像フォーマット]（ビデオ形式 / 解像度）が元のファイルと異なる場合は、変換のため時間がかかります。
- ➡ 上記以外でも、CPU の性能やメモリ容量などのパソコン環境、使用する映像の内容によって処理速度が変化するため、時間がかかる場合があります。

? 編集するとファイルのサイズが大きくなる

- ➡ 編集によって映像が再変換されるため、編集内容によってファイルのサイズが大きくなる場合があります。

? 編集した映像の画質は変化しますか？

- ➡ 映像の継ぎ目や編集された部分などは再変換されるため、元の映像より低下する場合があります。編集されていない部分は元の映像のままの画質が保たれます。

映像を保存する

? ドライブが検出されない

- ➡ 「ImageMixer 3」のインストール後、再起動しないで使用するとドライブが検出されない場合があります。
- ➡ すでにライティングソフトウェア（パケットライティング）がインストールされている場合、ドライブが検出されない場合があります。

? ディスク作成リストにファイルを追加できない

- ➡ 以下の場合、ディスク作成リストにファイルを追加することはできません。
 - すでに 99 個のファイルが追加されている場合
 - ファイルのビデオ方式がすでに登録されているビデオ方式と異なる場合

? ディスクへの書き込みに時間がかかる

- ➡ CPU の性能やメモリ容量などのパソコン環境、使用する映像の内容によって処理速度が変化するため、時間がかかる場合があります。

? 8cm ディスクへの書き込みができない

- ➡ 8cm ディスクには対応しておりません。

? ディスクへの書き込みができない

- ➡ 書き込みに対応しているディスク（P125）を使用していますか？
- ➡ 書き込もうとしているディスクにパソコンのドライブは対応していますか？パソコンのドライブの対応ディスクをご確認ください。
- ➡ パソコンの作業場所の空き容量は足りていますか？ディスクの作成には作成するディスクの 2 倍以上の空き容量が必要です。
- ➡ 書き込もうとする映像ファイルのサイズがディスクの容量を超えていませんか？ファイル数を減らして 1 枚のディスク容量内に収めてください。

? 記録済みのデータを消去した書き換え可能ディスクを使用した場合、ディスクの作成に失敗することがある

- ➡ 「ImageMixer 3」以外のソフトウェアでデータを消去したディスクを使用した場合、ディスクを作成できない場合があります。記録済みの書き換え可能ディスクは、そのまま挿入して「ImageMixer 3」での書き込み時に消去してください。(P137)

? メニュー画面のメニュータイトルやタイトル名を変更したい

- ➡ 作成したディスクのメニュー画面に表示されるメニュータイトルやタイトル名は、ディスクへの書き込み前に設定します。
- メニュータイトルを変更する場合：
ディスク書き込み時に作成するリストの名称がメニュータイトルとして表示されます。
 - タイトル名を変更する場合：
ライブラリ画面で変更するファイルを選択して、[情報] ボタンの [オプション] タブを開きます。[タイトル] のテキストボックスに名前を入力することで変更できます。

? メニュー画面のメニュータイトルやタイトル名がすべて表示されない

- ➡ メニュー画面上で表示できる文字数は限られています。

メニュータイトル

- DVD 作成リスト：全角約 15 文字、半角約 20 文字
- AVCHD / Blu-ray / DataDisc 作成リスト：全角約 20 文字、半角約 30 文字

タイトル名

- DVD 作成リスト：全角約 6 文字、半角約 8 文字
- AVCHD / Blu-ray / DataDisc 作成リスト：全角約 8 文字、半角約 12 文字

※ 使用する文字によって前後します。

? 書き戻しができない

- ➡ 書き戻しは、ビデオカメラの映像フォーマットとビデオ方式が同一の以下の条件の映像の場合に行えます。
- 「ImageMixer 3」が付属しているビデオカメラからパソコンへ保存した映像
 - 上記の映像を「ImageMixer 3」で編集した映像

? 「ImageMixer 3」を終了できない

➡ ダイアログや設定画面が表示されている場合は、それらを閉じてから終了してください。

? パソコンでファイルの拡張子が表示されない

➡ 次の手順で表示させてください。

Windows XP の場合：

- (1) 任意のフォルダを開く
- (2) [ツール]メニュー - [フォルダオプション] - [表示]タブをクリックする
- (3) [登録されている拡張子は表示しない]のチェックを外して、[OK]をクリックする

Windows Vista の場合：

- (1) 任意のフォルダを開く
- (2) [整理]ボタン - [フォルダと検索のオプション] - [表示]タブをクリックする
- (3) [登録されている拡張子は表示しない]のチェックを外して、[OK]をクリックする

ImageMixer 3 についてのお問い合わせ先

ご登録ユーザー様に各種のサービスおよびサポートを提供させていただきます。「ImageMixer 3」についてのご質問・ご相談は、ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

- ナビダイヤル



0570-02-3500

携帯電話からもご利用いただけます。

一般電話からおかけの場合は、市内通話料金でご利用できます。

- PHS からおかけの場合やナビダイヤルをご利用できない場合

TEL : 06-6633-2990

FAX : 06-6633-2992

受付時間：月曜日～日曜日 10：00 ～ 18：00

（年末年始、祝日、弊社所定休日は除く）

ホームページ

製品の最新情報やダウンロードなどは、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/>